

令和4年度における
主要な施策の成果を説明する書類

付表1 施策評価編

施策評価シート
(評価対象：令和4年度)
【一般会計】

横 手 市

1. 主要な施策の成果を説明する書類の構成

第2次横手市総合計画 後期基本計画の体系		主要な施策の成果を説明する書類のページ
	<p>将来像</p> <p>基本構想で定めたまちの将来像 「みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて」</p>	
	<p>政策</p> <p>目的 「将来像」を実現するため、行政分野ごとに細分化したもの (基本構想において政策を7つに細分化)</p>	
	<p>施策</p> <p>目的 7つに細分化した上位「政策」の政策目的を達成するための手段として実施するもの (基本構想において施策を34に細分化)</p>	<p>本編 施策別成果指標一覧 (一般会計)</p> <p>付表1 施策評価編 <施策評価シート (評価対象: 令和4年度) 【一般会計】></p>
	<p>実施計画事業</p> <p>手段 上位「施策」の施策目的(成果指標)を達成するための具体的な手段として実施する事務事業 (計画期間: 3か年 ※毎年度ローリングを実施)</p>	<p>本編 主要事業の実施状況</p> <p>付表2 実施計画事業評価編 <実施計画事業評価シート (評価対象: 令和4年度) 【一般会計】></p>
	<p>実施計画事業</p> <p>手段 「実施計画事業」を効果的に実施するため、予算執行レベルで細分化した事業</p>	

7つの政策

- 政策1 伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
- 政策2 学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
- 政策3 豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
- 政策4 魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
- 政策5 暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
- 政策6 やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
- 政策7 横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます

※付表1 施策評価シート内の元号表記について、「令和元年度」と表記すべきところが「平成31年度」と表記されている箇所があります。また、施策内事業費の職員数及び人件費については、参考値となります。
 ※本編は令和3年度時点での施策ごとに事業を記載しているため、令和4年度に施策の変更があった事業については、付表1とは記載が異なります。

2. 施策別成果指標一覧

施策	施策名	施策担当課名	指標名	指標種別	単位	決算			施策評価編ページ
						令和3年度	令和4年度		
						実績値	目標値	実績値	
1-1	子育て支援の充実	市民福祉部・子育て支援課	「児童福祉（子育て支援）の充実」に対する市民満足度	成果	点	67.2	73.6	64.1	6
			保育所充足率	成果	%	100	100	100	
			放課後児童クラブ利用定員	成果	人	1,323	1,429	1,364	
			子育て支援拠点施設の年間利用回数（利用対象年齢児童一人当たり）	成果	回	4.9	6.2	4.2	
			乳幼児健康診査受診率	成果	%	96.8	100	97	
1-2	健康な心と体づくりの推進	市民福祉部・健康推進課	「保健活動・健康づくりの推進」に対する市民満足度	成果	点	68	73.6	66.7	12
			特定健康診査受診率	成果	%	42	48.4	40.6	
			各種がん検診受診率	成果	%	14.9	36	17	
			健康の駅 利用者数	成果	人	3,053	7,900	3,347	
1-3	健康でいきいきとした高齢社会の推進	市民福祉部・高齢ふれあい課	「高齢者福祉の充実」に対する市民満足度	成果	点	64.3	73.6	60.9	17
			在宅での生活が可能な高齢者の割合	成果	%	91.3	90.2	91.5	
			認知症サポーター養成講座受講者数（累計）（地域で支える人材の育成）	成果	人	11,825	12,200	12,280	
1-4	障がい者（児）福祉の充実	市民福祉部・社会福祉課	「障がい者（児）福祉の充実」に対する市民満足度	成果	点	66.8	72	63	22
			地域生活へ移行することに伴う福祉施設の入所者数	成果	人	218	222	216	
			日常生活用具給付等事業の利用件数	成果	件	2,359	2,445	2,269	
			一般就労移行者数	成果	人	11	10	2	
1-5	低所得者福祉の充実	市民福祉部・社会福祉課	「低所得者福祉の充実」に対する市民満足度	成果	点	64.3	69.5	60.1	26
			生活保護から就労により自立した世帯数	成果	世帯	17	15	23	
			就労相談・援助による就労達成者数	成果	人	27	25	23	
1-6	福祉を支える人材の確保と育成	市民福祉部・社会福祉課	「地域福祉の向上」に対する市民満足度	成果	点	66.5	71.1	63.1	29
			ボランティア団体への登録団体数（社協登録）（66累計）	成果	団体	51	62	48	
			避難者要支援者の登録者名簿への登録率	成果	%	47	100	51.9	
2-1	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実	教育指導部・教育指導課	学校が楽しいと思う児童生徒	成果	%	93.3	98	94.1	32
			「学校教育の充実」に対する市民満足度	成果	点	66.2	72.2	61.9	
			不登校児童生徒の出現率	成果	%	1.9	0.75	2.4	
			ICTを使った授業が、よく分かって楽しいと思う児童生徒の割合	成果	%	80	65	80	
			授業においてソフトを活用した指導ができる教員	活動	%	67	57	78	
			学校給食食材の横手市産使用率（主要15品目）（5年平均）	活動	%	42.7	42	32.5	
2-2	安全で安心して学べる教育環境の整備	教育総務部・教育総務課	「教育環境の整備」に対する市民満足度	成果	点	67.7	73.4	63.5	37
			長寿命化対策事業を実施した小中学校数	活動	校	12	13	13	

施策	施策名	施策担当課名	指標名	指標種別	単位	決算			施策評価編ページ
						令和3年度	令和4年度		
						実績値	目標値	実績値	
2-3	元気なまちを築く生涯スポーツの促進	教育総務部・スポーツ振興課	「スポーツ・レクリエーションの振興」に対する市民満足度	成果	点	65	70.7	61.4	41
			週1回以上スポーツをする成人の割合	成果	%	53.3	46	49.2	
			スポーツイベントへの協力団体数	成果	件	25	42	20	
2-4	心を豊かにする生涯学習の推進	教育総務部・生涯学習課	「生涯学習の推進」に対する市民満足度	成果	点	65.7	71.5	61.8	44
			生涯学習講座・教室の参加者数	成果	人	17,739	34,500	22,848	
			社会教育施設の利用人数（市民会館含む）	成果	人	448,880	450,000	515,924	
			図書館入館者数	成果	人	171,096	176,000	167,627	
			人口に占める図書館利用カード登録者数割合	成果	%	18.1	19	17.8	
			マンガを生かした特別授業参加者の満足度	成果	%	100	90	100	
2-5	よこての伝統文化の継承と再発見	教育総務部・文化財保護課	「地域文化の振興」に対する市民満足度	成果	点	66.8	72.4	64	48
			資料館施設等の年間利用者数	成果	人	3,119	10,000	5,203	
			シンポジウム・公開講座等の年間参加者数	成果	人	350	500	260	
			国・県・市による指定等文化財の数（累計）	成果	件	271	269	270	
3-1	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進	まちづくり推進部・地域づくり支援課	「交通安全・防犯対策の推進」に対する市民満足度	成果	点	68.7	73.3	66	51
			よこて安全・安心メール登録者	成果	人	7,041	6,927	7,419	
			空家等の苦情・相談等に対する対応割合	成果	%	—	100	100	
			老朽危険空き家数	成果	戸	28	24		
3-2	美しい自然環境と快適な生活環境の保全	市民福祉部・生活環境課	「自然・歴史的環境の保全と活用」に対する市民満足度	成果	点	65.8	70.5	62.2	54
			市内河川3地点のBOD環境基準値の達成率	成果	%	100	100	100	
			自動車騒音の環境基準達成率	成果	%	95.4	97	95.4	
			墓地整備率	成果	%	86.62	86.7	86.62	
3-3	災害に強いまちづくりの推進	総務企画部・危機対策課	「消防・防災体制の充実」に対する市民満足度	成果	点	69.8	75.2	67.8	58
			耐震性貯水槽の設置数（累計）	活動	基	98	102	102	
			普通救命講習の修了者養成数（累計）	成果	人	46,307	52,000	47,041	
			消防団協力事業所数	成果	か所	62	61	62	
3-4	循環型社会の一層の推進	市民福祉部・生活環境課	「環境保全政策の充実」に対する市民満足度	成果	点	71	76.1	70.1	62
			ごみの総排出量	成果	t	29,744	29,233	28,422	
			市民1人/1日当たりのごみの排出量	成果	g	951	929	929	
			ごみの資源化率	成果	%	19.9	22.2	19.5	
3-5	地球温暖化対策の推進	市民福祉部・生活環境課	「地球温暖化防止活動の推進」に対する市民満足度	成果	点	67	72.2	63.8	65
			市公共施設の再生可能エネルギー（地中熱利用）設備導入箇所数	成果	箇所	1	4	—	
			市公共施設の温室効果ガス排出量	成果	tCO2	—	16,300	16,557	
			電力の地産地消率（クリーンプラザよこて）	成果	%	77.2	63.4	77.4	

施策	施策名	施策担当課名	指標名	指標種別	単位	決算			施策評価編ページ
						令和3年度	令和4年度		
						実績値	目標値	実績値	
4-1	魅力ある農林業の振興	農林部・農業振興課	「農林業の振興」に対する市民満足度	成果	点	64	68.9	60.3	68
			新規就農者数（年間）	成果	人	43	30	45	
			農業産出額	成果	億円	294	308	262	
			農業法人数	成果	法人	127	124	128	
			担い手への農地集積率	成果	%	84.78	78	85.04	
			ほ場整備率（30a以上）	成果	%	96.8	96.5	97.3	
4-2	活気ある商業の振興	商工観光部・商工労働課	「商業の振興」に対する市民満足度	成果	点	61.2	66	55.1	76
			市内事業所数（卸業・小売業）	成果	所	1,325	1,273	1,325	
			起業・創業支援事業等活用による起業家数	成果	人	6	15	13	
			商い賑わい創出事業・空き店舗利活用事業の年間活用数	活動	件	11	25	8	
4-3	活力ある工業の振興	商工観光部・商工労働課	「工業の振興」に対する市民満足度	成果	点	63.2	66.9	57.7	79
			市内事業所数（製造業）（単位：事業所）	成果	所	—	184	—	
			製造品出荷額等	成果	億円	—	1,615	—	
4-4	観光・物産資源の発掘と発信	商工観光部・観光おもてなし課	「観光の振興」に対する市民満足度	成果	点	62.2	66.7	58.6	82
			市内年間のべ宿泊者数	成果	千人	193	253	202	
			市内年間の観光入込客数	成果	千人	2,131	3,630	2,563	
			よこて f u n 通信読者数	成果	人	10,561	11,500	11,043	
4-5	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策	商工観光部・商工労働課	「企業誘致の推進と雇用対策」に対する市民満足度	成果	点	58.5	62.5	54.5	86
			操業中の誘致企業数	成果	社	58	60	57	
			横手管内新卒者（高卒者）の県内就職希望者率	成果	%	76.6	65	69.5	
			横手管内新卒者（高卒者）の県内就職内定率	成果	%	99.4	100	100	
5-1	雪国の快適な暮らしの実現	建設部・建設課	市の雪対策（道路除排雪事業）への満足度	成果	点	56.8	65.3	54.1	89
			道路除雪に関する早朝出勤日あたりの苦情件数	成果	件	5.59	0	5.59	
			除雪活動団体数（補助金交付団体数）	活動	団体	303	300	302	
5-2	快適な移動空間の実現	建設部・建設課	「道路網の整備」に対する市民満足度	成果	点	61.8	65.5	58	92
			道路維持管理の瑕疵により発生した事故に関する損害賠償件数	成果	件	7	0	1	
			横手 I C 及び横手北 I C の 1 日あたりの平均利用台数	成果	台	5136	6,470	5,611	
			幹線市道路面状況調査の実施率	活動	%	40.02	60	59.95	
5-3	市民が利用しやすい公共交通の充実	総務企画部・経営企画課	「公共交通機関の利便性の向上」に対する市民満足度	成果	点	59.3	64.5	53	95
			民間路線バス年間利用者数	成果	人	375,894	463,400	347,443	
			循環バス 年間利用者人数	成果	人	36,367	43,700	41,505	
			デマンド交通 年間利用人数	成果	人	36,150	39,700	34,874	

施策	施策名	施策担当課名	指標名	指標種別	単位	決算			施策評価編ページ
						令和3年度	令和4年度		
						実績値	目標値	実績値	
5-4	地域拠点整備による市街地の活性化	建設部・都市計画課	「各拠点地区の整備」に対する市民満足度	成果	点	64.7	69.2	61.7	98
			横手駅東口周辺における、賑わい再生を見据えた歩行者の増加率	成果	%	—	9	—	
			三枚橋地区土地区画整理事業の進捗率	活動	%	99.2	100	99.9	
5-5	安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理	上下水道部・経営管理課	「上水道の整備」に対する市民満足度	成果	点	67.2	72.8	65.8	101
			「下水道等の整備」に対する市民満足度	成果	点	65.5	70.4	64.5	
			水道水がおいしく飲める水質の達成率	成果	%	98.8	92	99.2	
			下水道水洗化率	成果	%	82.8	84	83.5	
			水洗化人口	成果	人	56,539	58,250	56,184	
5-6	市民がくつろげる公共空間の整備	建設部・都市計画課	「公園・緑地の整備」に対する市民満足度	成果	点	63.3	66	59.7	104
			都市公園・遊具の維持管理に関する苦情への対応率	成果	%	100	100	100	
			市民協働により管理する公園数（公園101箇所中の協働管理数）	成果	か所	49	53	49	
6-1	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実	まちづくり推進部・地域づくり支援課	「市民との協働・活動支援」に対する市民満足度	成果	点	64.8	69.2	61	107
			自主運営組織数	成果	団体	20	22	22	
			Y2ぷらざ 年間来訪者数	成果	人	183,840	300,000	186,152	
6-2	男女が尊重し合う社会づくり	まちづくり推進部・地域づくり支援課	「男女共同参画社会づくりの推進」に対する市民満足度	成果	点	63.8	68.6	60.8	112
			社会全体として男女共同参画社会になってきていると感じている市民の割合	成果	%	56.5	65	61.5	
			家族経営協定を締結した農家世帯	成果	組	125	124	128	
6-3	情報を共有する環境の整備	総務企画部・秘書広報課	「広報・広聴の推進」に対する市民満足度	成果	点	66	70.5	62.7	115
			横手市公式SNSの登録者数	成果	件	20,388	18,000	22,335	
			増田・山内地区ブロードバンド加入率	成果	%	32	41	45	
6-4	市内外との交流連携の推進	まちづくり推進部・地域づくり支援課	「他の自治体との連携・交流の推進」に対する市民満足度	成果	点	64.7	69.6	61.5	118
			移住イベント等の参加・出展回数	活動	件	1	5	5	
			各ふるさと会会員数に対する総会出席者の割合	成果	%	0	37	0	
7-1	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進	総務企画部・経営企画課	「横手市の取り組み全体」に対する市民満足度	成果	点	63.7	68.6	61.4	121
			施策の成果指標の達成率	成果	%	30.7	100	30.2	
7-2	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進	財務部・財政課	横手市財産経営推進計画の達成率	成果	%	100	100	100	128
			将来負担比率	成果	%	13.5	100%未満	13.8	
			実質公債費比率	成果	%	7.2	10	7.6	
			市税収納率	成果	%	94.67	95.03	95.01	
7-3	戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実	総務企画部・人事課	「市職員の資質向上に関する取り組み」に対する市民満足度	成果	点	59	65.1	57.1	133
			職員研修実施のための内部講師数	成果	人	50	52	52	
			女性の管理職級昇任昇格試験の受験率	成果	%	29.4	40	33.3	
			年次休暇の平均取得日数の増加	成果	日	12.7	12.5	12.1	

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成（評価対象：令和 4年度）

施策名	0101	子育て支援の充実
------------	------	----------

施策担当課	市民福祉部・子育て支援課	
担当部長職・氏名	市民福祉部長 竹原信寿	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0101	子育て支援の充実
	⑤目指す将来の姿	-	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。

2. 取り組み方針

人口減少と少子高齢化が同時に進行する中、市民が安心して子どもを産み育てられる環境の整備を図り、家庭はもとより地域など社会全体が幅広い視野に立った子育て支援を推進します。

3. 主要事業の取り組み内容

市民が伸び伸び子育てできる環境をつくるため
 ①多様な保育ニーズへの対応 ②児童の健全育成 ③子育てに関する交流や相談の場づくり ④経済的な支援の充実
 ⑤ひとり親家庭等への支援 ⑥母子保健の充実 ⑦子育てしやすい社会環境づくり ⑧結婚を希望する若い世代への後押し
 を実践します。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「児童福祉（子育て支援）の充実」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	73.6	73.6	73.6	73.6
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）後期計画変更			実績値	65.1	67.2	64.1		
2	保育所充足率	成果	%	目標値	100	100	100	100	100
	※入所児童数/入所申込者数			実績値	100	100	100		
3	放課後児童クラブ利用定員	成果	人	目標値	1,215	1,429	1,429	1,429	1,429
	※利用児童数（年間の最大）			実績値	1,211	1,323	1,364		
4	子育て支援拠点施設の年間利用回数（利用対象年齢児童一人当たり）	成果	回	目標値	-	6.2	6.2	6.2	6.2
	※利用対象年齢児童一人当たりの年間利用回数			実績値		4.9	4.2		
5	乳幼児健康診査受診率	成果	%	目標値	100	100	100	100	100
	※年間の検診受診者数/年間の検診対象者数			実績値	92.3	96.8	97		
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	2,516,074	3,536,426	2,572,039	2,481,724	2,547,669
	(b) 県支出金	1,474,866	1,274,684	1,234,941	1,328,420	1,342,068
	(c) 地方債	55,000	8,800	233,500	19,400	207,800
	(d) 使用料・手数料	14	9	6	12	25
	(e) その他特定財源	186,893	167,307	149,244	149,819	150,653
	(f) 一般財源	2,128,673	2,094,140	2,043,915	2,297,808	2,304,011
事業費の小計		6,361,520	7,081,366	6,233,645	6,277,183	6,552,226

6. 施策の達成状況

①成果の分析	指標の実績では目標に届かないものもあるが、当該施策により着実に成果が出ていると考えている。指標の一部の項目については、施策の効果や取組状況が反映できるものに見直す必要がある。
②施策の有効性	施策の認知度は高く、安心して子どもを産み育てられる環境を充実させる有効な施策である。必要な世代には有効である。
③施策内事業の妥当性	施策内の事業が豊富で必要な事業であり、妥当である。
④実施可能な改善内容	公立保育所民営化計画に基づき、今後も計画的に公立保育所の民営化に取り組んでいく。県南愛児園の建て替えにR5年R6年に協力連携していく。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	現行の施策を維持するが、事業の中身については見直しや変更もあると考えている。
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	02	01	07	04	18,073	11,711	21,021	10,700	0	→	↑	74
	若者出会い・結婚生活応援事業 経営企画課											
2	03	01	06	01	726,296	725,896	684,442	763,284	769,614	→	→	90
	福祉医療費 国保市民課											
3	03	01	07	03	0	0	0	336	336	-	-	-
	国民健康保険出産貸付事業 国保市民課											
4	03	02	01	01	36,347	46,110	81,566	34,137	61,079	→	→	81
	児童福祉総務費 子育て支援課											
5	03	02	01	02	174	162	181	6,369	4,678	-	-	-
	子ども・子育て会議費 子育て支援課											
6	03	02	01	03	460	358	442	721	805	→	→	90
	児童虐待防止ネットワーク事業 子育て支援課											
7	03	02	01	04	11,460	10,770	9,870	12,000	13,500	→	→	78
	出産祝金支給事業 子育て支援課											
8	03	02	01	05	9,158	8,118	6,069	10,333	10,036	→	→	84
	ひとり親家庭支援事業 子育て支援課											
9	03	02	01	06	358,146	345,252	326,152	356,121	359,001	-	-	-
	児童扶養手当給付費 子育て支援課											
10	03	02	01	07	320	350	350	350	350	-	-	-
	特別児童扶養手当事務費 子育て支援課											
11	03	02	01	08	3,814	4,037	4,078	4,338	4,310	→	→	77
	ファミリー・サポート・センター事業 子育て支援課											
12	03	02	01	09	13,049	13,446	13,600	14,047	13,723	→	→	91
	家庭児童相談事業 子育て支援課											

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
13	03	02	01	10	4,186	5,018	6,166	5,153	4,970	→	→	90
	利用者支援事業											
14	03	02	01	11	1,987	2,013	1,121	1,395	1,660	→	→	83
	保育所地域活動事業											
15	03	02	01	12	35,688	30,470	31,635	33,433	32,745	→	→	70
	地域子育て支援拠点事業											
16	03	02	01	13	248,149	260,387	286,507	342,592	340,664	-	-	-
	放課後児童健全育成事業											
17	03	02	01	15	97,868	104,974	106,774	152,260	172,710	→	↑	97
	保育支援事業											
18	03	02	01	16	9,176	9,036	5,098	4,326	6,326	-	-	-
	児童福祉施設整備資金償還 支援事業											
19	03	02	01	18	7,379	22,133	378,772	29,588	280,891	→	→	89
	保育所整備助成事業											
20	03	02	01	96	0	0	20,000	0	20,000	-	-	-
	保育所整備貸付事業											
21	03	02	02	01	1,026,040	983,510	930,090	934,355	897,624	-	-	-
	児童手当給付費											
22	03	02	03	01	2,828,041	2,932,252	2,805,420	3,080,735	3,160,331	→	→	96
	子どものための教育・保育 給付費											
23	03	02	03	02	903	0	433	1,066	1,066	-	-	-
	助産施設入所措置費											
24	03	02	04	01	39,563	44,514	46,713	44,862	43,929	→	→	92
	母子生活支援施設サンハイ ム費											
					4,509	7,868	11,389	6,393	7,348			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
25	03	02	05	01	24,764	26,339	29,740	23,587	23,156	→	→	63
	児童館費											
子育て支援課					24,669	26,299	29,740	23,587	23,156			
26	03	02	06	01	125,356	23,790	18,018	495	14,600	↑	↑	84
	学童保育施設整備事業											
子育て支援課					14,608	8,302	82	495	4,902			
27	03	02	07	02	259,079	157,894	165,881	190,931	174,703	→	→	87
	保育所費											
子育て支援課					225,797	133,990	148,135	170,685	144,898			
28	04	01	01	06	3,929	6,006	4,265	11,140	5,597	↑	→	83
	不妊治療費助成事業											
健康推進課					3,929	6,006	4,265	11,140	5,597			
29	04	01	02	04	1,825	1,774	1,790	4,959	3,017	→	→	89
	歯科保健事業											
健康推進課					1,825	1,774	1,790	4,959	3,017			
30	04	01	02	02	22,307	18,622	16,984	22,537	23,380	→	→	90
	任意予防接種助成事業											
健康推進課					22,307	18,622	16,984	22,537	23,380			
31	04	01	04	01	42,768	39,680	37,313	48,323	58,431	→	→	90
	妊産婦保健事業											
健康推進課					42,314	37,584	34,705	45,827	55,871			
32	04	01	04	02	13,553	15,436	17,106	20,725	23,489	→	→	90
	乳幼児保健事業											
健康推進課					11,128	12,220	14,617	15,342	18,050			
33	03	02	04	02	4,869	7,076	5,783	5,555	5,499	-	-	-
	母子生活支援施設措置費(他市分)											
子育て支援課					1,218	1,768	1,447	1,390	1,376			
34	03	02	01	17	14,674	20,366	18,887	11,100	20,006	→	→	82
	保育対策総合支援事業											
子育て支援課					1,709	6,447	7,508	3,702	5,033			
35	xx	xx	xx	98	0	0	0	0	0	-	-	-
	児童福祉施設整備助成事業											
子育て支援課					0	0	0	0	0			
36	03	01	01	98	71,170	0	19,326	0	0	↓	↓	73
	地方創生臨時交付金事業											
子育て支援課					11,523	0	0	0	0			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
37	03	02	01	20	0	91,276	83,979	0	0	×	×	90
	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業											
	子育て支援課											
38	03	02	01	97	0	13,029	46,019	0	0	-	-	72
	保育士等処遇改善臨時特例事業											
	子育て支援課											
39	04	01	04	03	0	0	2,054	95,330	0	↑	→	90
	出産・子育て応援交付金事業											
	健康推進課											
					0	0	0	15,952	0			

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成 (評価対象: 令和 4年度)

施策名	0102	健康な心と体づくりの推進
------------	------	--------------

施策担当課	市民福祉部・健康推進課
担当部長職・氏名	市民福祉部長 竹原信寿

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康な心と体づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	-	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。

2. 取り組み方針

<ul style="list-style-type: none"> ・健康水準の向上と生活習慣病死亡率の改善をはかり、地域社会で相互に支え合いながら健康寿命を延伸し、市民一人ひとりの生活の質を高めることを目的とします。 ・市民が生き生きと過ごせるように、ライフステージに応じた健康づくりを示し、適切な健康づくりを推進します。

3. 主要事業の取り組み内容

<p>市民が生き生きと日々生活できるように、健康づくりを保健、栄養、運動が一体となって総合的かつ効果的に支援するため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①一次予防を重視した個人の健康づくりの把握と推進 ②生活習慣病予防の取り組み ③がん検診の検診率向上 ④食生活からの健康づくり ⑤健康の駅事業の充実 ⑥新型コロナワクチンの接種推進 <p style="text-align: right;">を実践します。</p>

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段: 指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「保健活動・健康づくりの推進」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	73.6	73.6	73.6	73.6
	※まちづくりアンケート(ウェイト平均の100点換算値) ※後期計画変更			実績値	67.3	68	66.7		
2	特定健康診査受診率	成果	%	目標値	43	46.8	48.4	50	50
	※年間検診受診者数/年間検診対象者			実績値	28.8	42	40.6		
3	各種がん検診受診率	成果	%	目標値	45	35.5	36	36.5	37
	※年間の検診受診者数/年間の検診対象者数			実績値	13.7	14.9	17		
4	健康の駅 利用者数	成果	人	目標値	7,000	7,450	7,900	8,350	8,800
	※年間利用実人数(大・中小駅ともに年200人増を目標)			実績値	2,959	3,053	3,347		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	144,158	899,710	786,099	102,497	106,622
	(b) 県支出金	564,932	555,232	571,498	581,705	581,197
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	10,985	9,768	9,747	10,320	10,386
	(e) その他特定財源	64,310	140,981	137,302	163,802	174,012
	(f) 一般財源	2,709,193	2,774,224	2,839,589	3,011,698	2,960,105
事業費の小計		3,493,578	4,379,915	4,344,235	3,870,022	3,832,322

6. 施策の達成状況

①成果の分析	コロナ禍の影響による事業休止・縮小などがあったものの、前年度と比較して全体的には改善傾向が見えた。今後は、これまでの事業を軸にコロナ禍後の新しい社会に対応した事業を進めていく。
②施策の有効性	誰もがいつまでも健康に暮らせるため、また、医療・介護などの社会負担を軽減できる有効な施策である。
③施策内事業の妥当性	事業内容や実施方法など、更に事業効果を上げるための検討は必要であるが、必要不可欠な事業であり妥当である。
④実施可能な改善内容	研究結果などを基にした医師の医学的知見やデータが示す根拠を活用し、直接的な成果だけではなく波及的な成果までも視野に事業の組み立てを行う。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	事業内容や実施方法など、更に事業効果を上げるための検討を行う。また、事業の効果や施策の成果はすぐに表れるものでなく、長期的・継続的取り組みが必要と考える。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	03	01	06	02	439	624	554	800	800	-	-	-
	高額介護合算療養費											
2	03	01	07	01	809,025	820,492	827,803	830,582	833,165	-	-	-
	国民健康保険特別会計繰出金											
3	03	01	07	02	0	0	0	125	125	-	-	-
	国民健康保険高額療養費貸付事業											
4	04	01	01	02	14,824	14,575	13,815	18,146	17,135	→	→	91
	保健衛生管理費											
5	04	01	01	04	52,459	60,459	53,930	53,288	53,438	→	→	90
	医療体制整備事業											
6	04	01	02	01	167,574	152,407	160,842	296,464	243,086	→	→	93
	予防接種事業											
7	04	01	02	03	1,673	10,425	11,207	11,961	13,132	→	→	90
	結核予防事業											
8	04	01	02	05	1,793	2,068	2,100	2,326	2,372	→	→	86
	生活習慣病予防健診事業											
9	04	01	03	10	0	0	0	1,829	5,500	-	-	-
	健康よこて21計画推進費											
10	04	01	03	03	23,311	23,661	18,237	20,558	19,399	→	→	75
	健康の駅推進事業											
11	04	01	03	07	1,299	1,302	3,465	3,501	3,557	→	↑	88
	栄養改善事業											
12	04	01	03	08	775	810	1,003	980	1,020	→	↑	94
	献血推進事業											

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
13	04	01	03	09	1,037	1,074	1,064	1,550	1,579	→	→	91
	心の健康づくり事業											
14	04	01	03	04	1,440	1,384	1,369	1,545	1,614	→	↑	84
	健康教育事業											
15	04	01	03	05	970	1,375	939	1,850	1,853	→	→	87
	健康相談事業											
16	04	01	03	01	5,184	7,124	5,847	6,919	6,273	→	→	80
	健康診査事業											
17	04	01	03	06	57	51	58	88	94	→	→	97
	訪問指導事業											
18	04	01	03	02	48,277	132,536	120,856	143,414	147,864	→	↑	87
	がん検診事業											
19	04	01	05	01	1,409,093	1,364,170	1,436,801	1,450,671	1,450,671	-	-	-
	後期高齢者医療制度費											
20	04	01	06	01	46,998	72,546	69,381	77,253	88,076	→	→	90
	特定健康診査事業											
21	04	01	06	02	316	2,159	2,060	2,602	2,646	→	→	78
	保健指導事業											
22	04	01	06	03	2,291	37,925	37,329	49,113	51,340	→	→	84
	後期高齢者健診事業											
23	04	01	09	01	5,948	5,919	482	834	881	-	-	-
	診療所費											
24	04	01	10	01	37,309	46,472	45,869	48,961	46,047	→	→	90
	保健センター費											

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
25	04	04	01	01	793,205	810,547	812,372	840,655	840,655	-	-	-					
	病院事業費																
	財政課				793,205	810,547	812,372	840,655	840,655								
26	04	01	12	01	47,205	803,592	669,877	4,007	0	×	×	90					
	緊急医療対策事業																
	健康推進課				6	535	25,103	4,007	0								
27	04	01	01	09	0	0	46,975	0	0	→	→	86					
	地方創生臨時交付金事業																
	健康推進課				0	0	0	0	0								

令和 5 年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成 (評価対象: 令和 4年度)

施策名	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
------------	------	-------------------

施策担当課	市民福祉部・まるごと福祉課	
担当部長職・氏名	市民福祉部長 竹原 信寿	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0103	健康でいきいきとした高齢社会の推進
	⑤目指す将来の姿	-	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。

2. 取り組み方針

高齢者が長寿を楽しみながら住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される『地域包括ケアシステム』を構築します。

3. 主要事業の取り組み内容

自立している高齢者の割合が高いほど、地域で自立した生活を営み、生きがいや幸福感を持って暮らすことができ、地域互助において支える側の増加にもつなげるため、地域支援事業等の取組を強化します。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段: 指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「高齢者福祉の充実」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	73.6	73.6	73.6	73.6
	※まちづくりアンケート(ウェイト平均の100点換算値) 後期計画変更			実績値	62.8	64.3	60.9		
2	在宅での生活が可能な高齢者の割合	成果	%	目標値	84.6	90.2	90.2	90.2	90.2
	※重度要介護(要介護3以上) 認定者			実績値	83	91.3	91.5		
3	認知症サポーター養成講座受講者数(累計)(地域で支える人材の育成)	成果	人	目標値	8,800	11,500	12,200	12,900	13,600
	※認知症サポーター養成研修受講者数			実績値	11,248	11,825	12,280		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	87,102	102,022	100,924	82,755	80,663
	(b) 県支出金	54,688	37,690	52,515	45,673	40,279
	(c) 地方債	0	0	179,500	0	0
	(d) 使用料・手数料	113	64	78	12	12
	(e) その他特定財源	103,463	90,152	56,178	62,512	57,775
	(f) 一般財源	2,349,332	2,383,388	2,402,902	2,561,181	2,545,542
事業費の小計		2,594,698	2,613,316	2,792,097	2,752,133	2,724,271

6. 施策の達成状況

①成果の分析	指標から見た実績は概ね目標を達成している。
②施策の有効性	高齢者が自立し生きがいを持って生活していくための施策であり、市民の認知度も高く有効な施策である。
③施策内事業の妥当性	第8期介護保険・高齢者福祉事業計画に基づいた事業であり、妥当である。
④実施可能な改善内容	住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体となった「地域包括ケアシステム」について、地域住民主体の取り組みを中心とした体制強化を検討する。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上		★	
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	第8期介護保険・高齢者福祉事業計画に基づき、コストを維持しながらサービス内容の見直し・充実を図り、令和5年度中に策定する第9期介護保険・高齢者福祉事業計画（令和6～8年度）に反映させることとしている。
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	03	01	04	01	3,098	3,805	11,471	8,210	5,389	→	→	74
	高齢者福祉総務費											
2	03	01	04	02	308,541	308,154	297,418	320,680	305,023	-	-	-
	高齢者福祉施設入所措置費											
3	03	01	04	94	14,056	14,589	15,769	0	0	→	→	66
	緊急通報体制整備事業											
4	03	01	04	03	64,144	42,528	25,824	73,738	69,050	→	→	83
	日常生活支援事業											
5	03	01	04	04	5,326	5,110	5,058	6,318	6,318	→	→	66
	老人クラブ支援事業											
6	03	01	04	95	3,678	3,050	2,979	0	0	×	×	40
	健康づくり入浴サービス事業											
7	03	01	04	05	13,138	12,434	12,322	6,127	6,740	→	→	60
	はり、きゅう、マッサージ助成事業											
8	03	01	04	08	2,495	2,927	1,582	3,040	3,155	→	→	84
	市民後見推進事業											
9	03	01	04	09	26	16	7	1	0	-	-	-
	高齢者住宅整備資金融資あっせん事業											
10	03	01	04	10	16,388	12,656	7,870	2,465	2,402	-	-	-
	社会福祉施設整備助成事業											
11	03	01	05	97	3,566	3,171	3,365	0	0	-	-	-
	高齢者センター費											
12	03	01	05	01	8,643	9,304	9,015	10,919	11,152	-	-	-
	高齢者生活支援ハウス費											
					5,356	6,253	6,220	7,815	6,740			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
13	03	01	05	02	1,715	1,537	1,572	1,792	1,856	-	-	-
	老人憩の家費											
まるごと福祉課					1,715	1,537	1,572	1,792	1,856			
14	03	01	05	03	686	664	652	818	725	-	-	-
	生きがい交流広場費											
大森市民サービス課					686	664	652	818	725			
15	03	01	05	04	5,692	2,744	2,744	2,744	2,744	-	-	-
	生きがい創作館費											
大森市民サービス課					5,692	2,744	2,744	2,744	2,744			
16	03	01	05	05	3,232	2,572	2,572	2,572	2,572	-	-	-
	健康福祉センター費											
十文字市民サービス課					3,232	2,572	2,572	2,572	2,572			
17	03	01	05	06	5,757	4,846	4,718	4,828	4,828	-	-	-
	地域福祉センター費											
大雄市民サービス課					5,757	4,846	4,718	4,828	4,828			
18	03	01	05	07	6,864	7,043	6,276	6,482	6,790	-	-	-
	老人福祉センターゆうらく館費											
山内市民サービス課					6,864	7,043	6,276	6,482	6,790			
19	03	01	05	12	72,125	72,926	68,934	0	0	-	-	-
	老人ホーム費											
まるごと福祉課					31,917	37,644	68,854	0	0			
20	03	01	05	08	9,129	8,561	8,791	9,237	9,237	-	-	-
	軽費老人ホーム費											
まるごと福祉課					9,129	8,561	8,791	9,237	9,237			
21	03	01	08	01	1,826,582	1,847,892	1,859,039	1,999,826	1,995,161	-	-	-
	介護保険特別会計繰出金											
まるごと福祉課					1,712,007	1,744,257	1,744,054	1,883,801	1,882,434			
22	03	01	08	02	541	386	383	800	800	→	→	60
	利用者負担額減免措置事業											
まるごと福祉課					135	97	96	200	200			
23	03	04	01	01	4,032	3,705	3,939	4,456	4,471	-	-	-
	国民年金事務費											
国保市民課					0	0	0	400	365			
24	06	01	09	10	2,423	2,089	921	1,310	1,340	-	-	-
	農家高齢者創作館費											
平鹿地域課					2,418	2,086	916	1,297	1,327			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
25	03	01	05	09	190,605	210,297	235,440	281,990	284,518	-	-	-
	市営介護サービス事業特別 会計繰出金 まるごと福祉課											
26	03	01	04	11	16,688	30,310	1,405	3,780	0	→	→	78
	地域介護・福祉空間整備等 施設整備事業 まるごと福祉課											
27	03	01	04	96	0	0	179,500	0	0	×	×	83
	高齢者福祉施設整備助成事 業 まるごと福祉課											
28	03	01	04	12	2,802	0	22,531	0	0	→	→	66
	地方創生臨時交付金事業 まるごと福祉課											

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成 (評価対象：令和 4年度)

施策名	0104	障がい者（児）福祉の充実
-----	------	--------------

施策担当課	市民福祉部・社会福祉課	
担当部長職・氏名	市民福祉部長 竹原 信寿	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	－	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	－	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0104	障がい者（児）福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	－	障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしています。

2. 取り組み方針

障がい者（児）が必要としているサービスを受けながら、暮らしたい場所で暮らしていけるように、サービスの提供体制を整備します。「障害者総合支援法」の基本理念である共生社会の実現のため、障がい児を支える取り組みの充実、共生社会を支える生活拠点等の整備の推進を重点事業とし、さまざまな角度から障がい児者を支援し、地域の課題に対応できる体制の整備を行います。

3. 主要事業の取り組み内容

障がい者（児）が安心して暮らしていける地域社会の構築をめざし、
 ①妊娠期から子育て期の支援体制の充実 ②障がい児の就学前の教育相談の充実 ③幼児期から児童生徒期への教育の充実 ④放課後等デイサービス事業 ⑤教育相談の充実 ⑥障がい者のグループホーム等の設置促進 ⑦自立支援協議会との連携 ⑧障がい者の住環境の整備 ⑨地域生活支援拠点の整備
 に取り組みます。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「障がい者（児）福祉の充実」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	72	72	72	72
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）後期計画変更			実績値	65.5	66.8	63		
2	地域生活へ移行することに伴う福祉施設の入所者数	成果	人	目標値	238	224	222	220	218
	※グループホーム等への移行により施			実績値	219	218	216		
3	日常生活用具給付等事業の利用件数	成果	件	目標値	2,588	2,440	2,445	2,453	2,480
	※年間の利用件数			実績値	2,341	2,359	2,269		
4	一般就労移行者数	成果	人	目標値	30	10	10	10	10
	※新規就労者数			実績値	15	11	2		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	1,135,977	1,187,968	1,236,491	1,282,680	1,255,997
	(b) 県支出金	545,121	570,244	582,514	621,258	606,375
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	107	91	136	141	144
	(f) 一般財源	642,890	638,521	611,998	683,820	665,417
事業費の小計		2,324,095	2,396,824	2,431,139	2,587,899	2,527,933

6. 施策の達成状況

①成果の分析	障害者総合支援法に基づき義務付けられた事業であり、制度の適正な運用によって適切な給付や処遇を実施しており、事業効果が出ている。
②施策の有効性	障がい者（児）が住み慣れた地域社会で安心して豊かな生活ができるよう、障がい者（児）の自立を支援する上で有効性のある施策である。
③施策内事業の妥当性	法令に基づく事業で構成されており、妥当性がある。
④実施可能な改善内容	令和6年4月に指定管理者制度により運営されている施設を譲渡することで、手続きを進めている。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上		★	
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	基幹相談支援センターを設置して現行の施策を維持しながら、ニーズの多様化や国の施策の動向を見据えて障がい者（児）やその家族等の課題解決に向けた事業を行っていく。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	03	01	02	01	48,163	51,835	28,468	5,167	5,110	-	-	-
	障がい者自立支援給付総務費 社会福祉課											
2	03	01	02	02	5	14	2	126	90	-	-	-
	自立支援協議会費 社会福祉課											
3	03	01	02	03	2,050,976	2,124,247	2,178,731	2,322,643	2,250,018	-	-	-
	自立支援給付費 社会福祉課											
4	03	01	02	04	57,799	62,674	57,939	72,354	75,882	↑	→	84
	地域生活支援事業費 社会福祉課											
5	03	01	02	05	13,705	12,176	14,914	20,000	22,000	-	-	-
	補装具費支給事業 社会福祉課											
6	03	01	02	06	63,974	71,836	73,695	74,167	82,676	-	-	-
	自立支援医療費給付事業 社会福祉課											
7	03	01	02	07	467	403	409	660	648	-	-	-
	すこやか療育支援事業 社会福祉課											
8	03	01	03	01	11,525	8,380	8,045	11,214	11,232	-	-	-
	障がい者福祉総務費 社会福祉課											
9	03	01	03	02	66,448	57,990	54,001	68,000	73,000	-	-	-
	特別障がい者手当等給付事業 社会福祉課											
10	03	01	03	03	52	74	292	276	276	-	-	-
	難聴児補聴器購入費助成事業 社会福祉課											
11	03	01	03	04	13	0	0	61	61	-	-	-
	小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業 社会福祉課											
12	03	01	02	08	5,738	5,630	5,630	5,630	5,630	↑	↑	87
	地域活動支援センター事業 社会福祉課											

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
13	03	01	03	06	3,410	0	3,080	4,290	0	×	×	84
	障がい者計画等策定事業											
	社会福祉課				3,410	0	3,080	4,290	0			
14	03	01	03	05	1,820	1,565	1,392	3,311	1,310	-	-	-
	障害者支援施設管理費											
	社会福祉課				1,820	1,565	1,392	3,311	1,310			
15	03	01	03	07	0	0	4,541	0	0	→	→	75
	地方創生臨時交付金事業											
	社会福祉課				0	0	0	0	0			

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成（評価対象：令和 4年度）

施策名	0105	低所得者福祉の充実
------------	------	-----------

施策担当課	市民福祉部・社会福祉課	
担当部長職・氏名	市民福祉部長 竹原 信寿	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0105	低所得者福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	-	住宅の確保が困難となるなどの生活困窮に至るリスクを回避し、すべての市民が自立した生活を確立して、いきいきと暮らすことができています。

2. 取り組み方針

生活保護制度の「運営の適正化、自立支援（就労支援の維持）、実施体制の強化」を進めます。また、生活困窮者の抱える複合的な生活課題に対応するため、関係機関等と連携しながら、自立相談支援機関による包括的な支援を推進します。低所得者の若者や子育て世帯の定住促進、高齢者・障がい者、ひとり親世帯等の住宅確保要配慮者に対する住宅需要への対応施策を展開し、市民がいきいきと暮らせる地域特性を考慮した良好な住生活の環境整備を計画的に進めます。

3. 主要事業の取り組み内容

すべての市民が自立した生活を確保するために

- ①生活保護法に基づいた生活保護受給者の自立に向けた支援
- ②生活困窮者に対する自立支援相談事業の実施
- ③公営住宅の適正管理

を実施します。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「低所得者福祉の充実」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	69.5	69.5	69.5	69.5
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）後期計画変更			実績値	62.8	64.3	60.1		
2	生活保護から就労により自立した世帯数	成果	世帯	目標値	10	15	15	15	15
	※稼働収入の増加による稼働収入の廃			実績値	6	17	23		
3	就労相談・援助による就労達成者数	成果	人	目標値	-	25	25	25	25
	※就労達成者数			実績値	19	27	23		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	886,368	1,414,620	1,871,892	808,747	846,003
	(b) 県支出金	10,253	231,880	55,635	10,000	6,000
	(c) 地方債	35,300	55,800	66,100	0	39,600
	(d) 使用料・手数料	97,642	98,567	90,515	90,776	93,647
	(e) その他特定財源	2,695	3,580	745	3,006	3,407
	(f) 一般財源	265,013	231,761	256,217	297,578	275,447
事業費の小計		1,297,271	2,036,208	2,341,104	1,210,107	1,264,104

6. 施策の達成状況

①成果の分析	指標から見た実績は目標にわずかに達していないが概ね順調に推移しており、生活保護法等の法令に基づいた事業で、制度の適正な運用によって成果は出ている。
②施策の有効性	法令等に基づいた施策の一環であり、有効性のある施策である。
③施策内事業の妥当性	法令等に基づいた事業で構成されており、妥当性がある。
④実施可能な改善内容	低所得者の中には障がいや病気など複合的な課題をかかえる場合が多く、複雑化してこじれる前に支援する体制が機能することで、重症化が予防できる。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	生活困窮者自立支援事業の窓口と様々な相談機関との連携を強化することで、制度の狭間でもれることのない相談支援体制を構築して行く。 公営住宅に関しては、市民ニーズとして新しい物件や交通の便の良い物件を好む傾向があり、入居希望者の状況に変化がみられることから、その在り方については検討が必要と思われる。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
1	03	01	01	05	331	110	116	252	192	-	-	-					
	行旅病者扶助費																
	社会福祉課				331	110	116	252	192								
2	03	03	01	01	53,408	61,928	104,652	27,419	19,106	-	-	-					
	生活保護総務費																
	社会福祉課				27,787	49,652	79,153	12,062	7,160								
3	03	03	01	02	23,025	20,747	19,835	22,561	22,275	→	→	84					
	生活困窮者自立促進支援事業																
	社会福祉課				7,215	5,630	6,025	6,741	6,716								
4	03	03	02	01	1,011,390	925,893	907,072	985,945	1,010,545	-	-	-					
	一般扶助費																
	社会福祉課				212,364	145,078	139,293	236,487	246,636								
5	03	03	02	02	45,190	45,231	43,833	46,911	49,557	-	-	-					
	施設事務費																
	社会福祉課				11,298	11,308	10,959	11,728	12,390								
6	08	05	02	01	100,744	102,215	110,042	116,675	97,054	-	-	-					
	公営住宅管理費																
	建築住宅課				407	68	18,782	22,893	0								
7	08	05	03	01	63,183	90,725	112,816	10,344	65,375	→	→	86					
	公営住宅整備費																
	建築住宅課				5,611	2,579	1,889	7,415	2,353								
8	03	01	01	08	0	572,034	1,042,738	0	0	×	×	86					
	低所得者生活支援事業																
	社会福祉課				0	17,336	0	0	0								

令和 5 年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成 (評価対象: 令和 4年度)

施策名	0106	福祉を支える人材の確保と育成
------------	------	----------------

施策担当課	市民福祉部・社会福祉課	
担当部長職・氏名	市民福祉部長 竹原 信寿	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
	④施策	0106	福祉を支える人材の確保と育成
	⑤目指す将来の姿	-	地域福祉活動やボランティア団体に参加する市民が増えています。また、地域での見守りや助け合いの活動が活発に行われています。

2. 取り組み方針

地域の生活課題解決のため、今ある公的なサービスなどを効率的に分配することはもちろん、市民一人ひとり、自治会、町内会、ボランティア団体、NPO、サービス事業所や福祉施設などの事業者、社会福祉協議会、行政が力を合わせて地域福祉活動の活性化に取り組みます。

3. 主要事業の取り組み内容

「自助」「共助」「公助」の連携した福祉活動推進のために
 ①地域福祉の推進を担う人材の育成
 ②住民主体による支えあいの促進
 ③地域福祉を支える団体との協働による地域福祉力の向上
 ④困りごとを抱えた市民に対する包括的な支援体制の推進
 に取り組みます。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段: 指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「地域福祉の向上」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	71.1	71.1	71.1	71.1
	※まちづくりアンケート(ウェイト平均の100点換算)後期計画変更			実績値	65.1	66.5	63.1		
2	ボランティア団体への登録団体数(社協登録)(66累計)	成果	団体	目標値	58	60	62	64	70
	※横手市社会福祉協議会への登録団体			実績値	54	51	48		
3	避難者要支援者の登録者名簿への登録率	成果	%	目標値	100	100	100	100	100
	※			実績値	41	47	51.9		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	18,623	19,632	20,725	20,396	20,330
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	420	420	420	420	420
	(f) 一般財源	147,632	159,646	155,709	152,283	160,577
事業費の小計		166,675	179,698	176,854	173,099	181,327

6. 施策の達成状況

①成果の分析	指標から見た実績は目標に達していないものの、適正に取り組んでおり一定の成果が見られる。
②施策の有効性	高齢化率の高い当市では、公助だけでは地域での生活を維持していくことが非常に難しく、地域における自助、共助を進める上で有効な施策である。
③施策内事業の妥当性	第3次横手市地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づいた事業であり、妥当である。
④実施可能な改善内容	地域での見守りなどの活動を担う人材の確保が困難になってきており、地域や関係機関と連携を図りながら、担い手の育成と確保に取り組んで行く必要がある。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上		★	
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	第3次横手市地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき事業を着実に進めながら、地域の課題解決に向けて取り組んで行く。
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
1	03	01	01	02	104,754	124,563	122,946	125,758	124,179	→	→	80					
	総務関係費																
2	03	01	01	03	32,073	33,092	34,276	33,974	33,945	-	-	-					
	民生委員児童委員費																
3	03	01	01	04	0	222	226	286	301	-	-	-					
	戦没者追悼式関係費																
4	03	01	04	06	1,177	6,271	5,510	3,300	9,600	→	→	30					
	敬老事業																
5	03	01	04	07	13,104	13,075	13,734	6,276	7,067	→	→	60					
	長寿祝金支給事業																
6	03	01	01	07	0	0	0	3,505	6,235	-	-	-					
	地域福祉計画等策定事業																
7	03	01	01	97	5,344	1,983	162	0	0	-	-	-					
	特別弔慰金事務費																
	社会福祉課				5,183	1,822	2	0	0								

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成 (評価対象：令和 4年度)

施策名	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
------------	------	------------------------

施策担当課	教育指導部・教育指導課	
担当部長職・氏名	教育指導部長 岡固 敦	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	-	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。

2. 取り組み方針

横手を愛する心と生きる力を育み、学校教育の充実を図ります。

3. 主要事業の取り組み内容

<ul style="list-style-type: none"> ○横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善の一層の推進による学力向上とICTを活用した情報活用能力の育成 ・不登校適応対策といじめの早期発見・早期解消 ・就学前教育・保育及び特別支援教育の充実 ○安全で安心して学べる教育環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・教育環境・教育設備の整備 ・学校給食施設・設備の充実と安全で栄養バランスのとれた学校給食の提供
--

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	学校が楽しいと思う児童生徒	成果	%	目標値	98	98	98	98
	※秋田県学習状況調査 (小4から中2生対象)			実績値	94.16	93.3	94.1	
2	「学校教育の充実」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	72.2	72.2	72.2
	※まちづくりアンケート (ウェイト平)			実績値	65.6	66.2	61.9	
3	不登校児童生徒の出現率	成果	%	目標値	0.6	0.68	0.75	0.83
	※不登校児童数/全児童生徒数×100			実績値	1.1	1.9	2.4	
4	ICTを使った授業が、よく分かって楽しいと思う児童生徒の割合	成果	%	目標値	-	60	65	72
	※児童生徒に対するアンケート			実績値		80	80	
5	授業においてソフトを活用した指導ができる教員	活動	%	目標値	-	50	57	66
	※ソフトウェアを活用した指導ができる小・中学校教員の割合			実績値		67	78	
6	学校給食食材の横手市産使用率 (主要15品目) (5年平均)	活動	%	目標値	45	41	42	43
	※学校給食物資使用調査			実績値	38.5	42.7	32.5	

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	2,916	3,639	17,731	4,952	4,991
	(b) 県支出金	2,655	8,363	5,433	5,950	2,269
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	22,715	19,807	19,608	27,217	27,517
	(f) 一般財源	262,563	251,239	244,403	256,772	261,665
事業費の小計		290,849	283,048	287,175	294,891	296,442

6. 施策の達成状況

①成果の分析	指標については、目標を下回る項目があるものの、状況は概ね達成している。県学習状況調査における「学校が楽しい」と思う児童生徒は94.1%（前年比+0.8）と高率である。不登校出現率については、小中学校全体で2.4と高く、今後も学校と連携した取組が必要である。ICTの授業活用については、児童生徒アンケート及び教員の指導力調査ともに目標を達成している。学校給食における地場産野菜（15品目）使用率は32.5%（前年比-10.2）となったが、今後も関係課・農家会と連携を図り、地場産使用率の向上に努めていく。
②施策の有効性	本市の児童生徒に対して、学校規模や学習環境、地域性、家庭環境・状況による差が生じないよう、平等かつ公平な教育を保障するとともに、個々のニーズに対応するという観点からも有効性が認められる。今後も各事業の趣旨を踏まえて、関連しながら継続的・計画的に推進すべきものとする。
③施策内事業の妥当性	児童生徒の実態や多様な教育的ニーズに応じた施策が講じられている。各事業の推進に当たっては、社会情勢の激しい変化に柔軟に、かつ迅速に対応していくことが求められる。児童生徒の取り巻く環境の変化を認識しながら、目的を明確にすること、成果と課題をしっかりと検証し、改善の方向や方策を明確にして運営に当たることにより、事業の妥当性は、より高まるものとする。
④実施可能な改善内容	各事業のそれぞれの目的を達成することにより施策全体の成果となって表れることから、継続して実施すべきものとする。学習指導要領を踏まえて、学習内容や教育環境も大きく変化している。情報を取捨選択・精査し、児童生徒が自立的に生き、社会形成に参画するための資質・能力の育成を図る施策を講じていく必要がある。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上		★	
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	少子化による児童生徒数の減少、多様な家庭環境など、個々の教育的ニーズに応じた教育・支援の充実が一層求められている。一方、学習指導要領の趣旨を踏まえ、未来社会を切り拓くための生きる力（資質・能力）を育む組織的・計画的な教育活動の推進やGIGAスクール構想によるICT導入が加速された中での情報活用能力の育成なども課題となっている。教育指導部の施策分野は、社会が変化しても厳しい時代に向き合いながら将来の横手市の未来を築いていく人を育てるといった観点からも重要な分野である。横手を愛する心と生きる力を育む教育を目指し、安全で、安心して楽しく学ぶことができる教育環境の整備と社会の変化に対応した市全体の共通した学校教育の充実を図る在り方を探っていく必要があると考える。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
1	06	01	03	10	1,851	1,902	1,539	2,085	2,699	→	→	76					
	食育・地産地消推進事業																
	食農推進課				1,805	1,902	1,539	2,085	2,699								
2	10	01	01	01	2,928	3,010	3,016	3,277	3,245	-	-	-					
	教育委員会費																
	教育総務課				2,928	3,010	3,016	3,277	3,245								
3	10	01	02	03	9,262	8,435	7,029	7,108	11,354	-	-	-					
	事務局総務費																
	教育総務課				8,851	7,359	7,029	7,108	11,354								
4	10	01	02	04	2,178	1,038	1,178	1,134	1,134	→	→	72					
	教育助成総務費																
	教育総務課				2,178	1,038	1,178	1,134	1,134								
5	10	01	02	05	38,557	38,963	48,984	53,573	53,152	→	→	79					
	外国語教育・国際理解教育 推進事業																
	教育指導課				33,439	34,475	42,582	46,997	46,360								
6	10	01	02	07	15,605	13,181	11,036	18,392	20,444	-	-	-					
	奨学金貸付事業																
	学校教育課				485	261	176	0	1,964								
7	10	01	02	09	41,239	38,789	64,066	40,228	40,736	→	→	81					
	学校保健管理事業																
	学校教育課				38,651	36,390	48,460	37,979	38,491								
8	10	01	03	01	6,312	18,669	7,822	7,199	7,149	→	→	79					
	教育指導総務費																
	教育指導課				6,312	18,669	7,822	7,199	7,149								
9	10	01	03	02	9,139	9,299	9,361	9,479	9,479	→	↑	79					
	教育相談・不登校適応指導 教室事業																
	教育指導課				9,139	9,299	9,361	9,479	9,479								
10	10	01	03	97	90	50	50	0	50	→	→	80					
	特別支援教育対策費																
	教育指導課				90	50	50	0	50								
11	10	01	03	04	2,827	3,134	3,076	3,111	3,111	→	→	79					
	就学前言語障害児指導事業																
	教育指導課				2,827	3,134	3,076	3,111	3,111								
12	10	01	03	03	80,376	84,442	84,492	88,099	88,099	→	→	89					
	学校生活サポート事業																
	教育指導課				79,910	84,070	84,041	87,657	88,099								

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
13	10	01	03	07	204	126	106	110	110	→	→	85					
	横手市いじめ防止等対策事業 教育指導課																
14	10	01	03	05	11	33	143	161	160	→	↑	79					
	次世代ものづくり人材育成事業 教育指導課																
15	10	01	03	08	1,887	1,945	1,962	2,084	2,084	→	↑	89					
	言語活動充実推進事業 教育指導課																
16	10	01	03	09	5,784	2,209	54	2,244	1,083	→	→	83					
	「横手を学ぶ郷土学」推進事業 文化財保護課																
17	10	01	03	06	572	415	461	482	482	→	→	73					
	スクールガード・リーダー配置事業 教育指導課																
18	xx	xx	xx	98	33,216	1,934	0	0	0	-	-	-					
	小学校指導要領改訂経費 教育指導課																
19	10	02	02	03	762	654	563	599	599	→	→	89					
	小学校通学援助費 学校教育課																
20	10	02	02	05	16,268	15,331	15,649	20,526	19,957	-	-	-					
	小学校要保護及び準要保護就学援助費 学校教育課																
21	10	02	02	04	3,154	3,565	3,663	5,616	5,330	-	-	-					
	小学校特別支援教育就学奨励費 学校教育課																
22	10	01	03	12	148	143	144	144	144	-	-	-					
	通級指導教室費 教育指導課																
23	10	03	02	04	13,288	11,876	12,069	18,198	17,614	-	-	-					
	中学校要保護及び準要保護就学援助費 学校教育課																
24	10	03	02	03	1,562	1,592	2,808	4,021	4,465	-	-	-					
	中学校特別支援教育就学奨励費 学校教育課																

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
25	xx	xx	xx	98	0	12,800	0	0	0	-	-	-					
	中学校指導要領改訂経費																
	教育指導課				0	12,800	0	0	0								
26	10	01	02	12	3,629	3,815	3,767	3,826	3,762	→	→	83					
	幼児教育推進事業																
	教育指導課				1,536	1,618	1,593	1,609	1,589								
27	10	01	03	11	0	5,698	2,712	3,195	0	→	→	85					
	ICT活用授業改善支援事業																
	教育指導課				0	0	0	0	0								
28	10	01	03	98	0	0	1,425	0	0	×	→	93					
	地方創生臨時交付金事業																
	文化財保護課				0	0	201	0	0								

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成 (評価対象: 令和 4年度)

施策名	0202	安全で安心して学べる教育環境の整備
------------	------	-------------------

施策担当課	教育総務部・教育総務課
担当部長職・氏名	教育総務部長 菊地浩昭

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0202	安全で安心して学べる教育環境の整備
	⑤目指す将来の姿	-	児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されています。

2. 取り組み方針

安全・安心して学べる質の高い教育環境を整備するとともに、学校施設等の適正な管理を行ないます。
--

3. 主要事業の取り組み内容

<p>安全で安心な教育環境を整備するため、</p> <p>①学校の長寿命化対策を計画的に進めていきます。</p> <p>②スクールバスの適正な運行管理を進め安全な通学を確保します。</p> <p>③学校備品・ICT環境の充実を図り質の高い教育を目指します。</p> <p>④給食センターの適正な維持管理と徹底した衛生管理を図っていきます。</p>

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段: 指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「教育環境の整備」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	73.4	73.4	73.4	73.4
	※まちづくりアンケート(ウェイト平均の100点換算)後期計画変更			実績値	67.1	67.7	63.5		
2	長寿命化対策事業を実施した小中学校数	活動	校	目標値	12	12	13	13	14
	※長寿命化対策を実施した小中学校数			実績値	12	12	13		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	1,511,570	411,341	11,899	21,445	1,445
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	2,522,100	516,700	567,800	540,900	843,600
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	337,232	320,006	305,899	326,298	308,577
	(f) 一般財源	1,307,737	1,189,222	1,192,424	1,205,965	1,293,780
事業費の小計		5,678,639	2,437,269	2,078,022	2,094,608	2,447,402

6. 施策の達成状況

①成果の分析	学校施設の長寿命化事業については計画的に着実に進めており、目標を達成している。 まちづくりアンケートの満足度については、「やや満足」のレベルでは目標達成とはならず、施策内事業の成果が市民に十分に伝わらなければ市民全体の満足度を上げることは困難といえる。
②施策の有効性	児童生徒数の減少、学校施設の老朽化が進む中で、長寿命化事業は安全で安心して学べる環境の提供を実現している。 スクールバス事業は、老朽化に伴う車両を更新しつつ効率的な運行を行い、児童生徒の安全な通学を確保している。
③施策内事業の妥当性	安全・安心な教育環境を実現するため、学校施設の適正な維持管理、安全な通学の確保、ICT環境の充実による質の高い教育、安全な給食提供のための衛生管理の徹底など施策の目的に沿った適切な事業構成となっている。
④実施可能な改善内容	スクールバス事業では、今後の児童生徒数の推移から適正な車両配置を行う必要がある。 学校給食センターは令和5年度から全センターにおいて調理配送業務の民間委託を始めており、委託業者への確実な業務の引継ぎ、適切な指導を行うことにより安全で安定した給食の提供を継続していく必要がある。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上		★	
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	老朽化した校舎の長寿命化対策は計画的に着実に進めている。今後もコストを意識したうえで対策方法も検討しながら進めていく事業である。 ICT環境整備については、今後、大型提示装置や統合型校務支援システム、GIGAスクールで整備した端末の更新などコストは拡大するが推進が必要な事業であり、コストを意識した事業展開が必要となる。 施策の目標である、安全・安心して学べる質の高い教育環境の整備、学校施設等の適正な管理のため、全体コストを維持しつつ成果の向上を目指していく。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	10	01	02	06	164,056	160,697	163,356	175,073	155,944	→	→	77
	スクールバス運行事業											
2	10	01	02	10	56,728	98,397	137,638	133,864	113,162	-	-	-
	小中学校IT環境管理経費											
3	10	05	02	02	48	12	18	54	54	-	-	-
	学校給食センター運営委員会費											
4	10	05	02	03	478,190	477,167	576,152	504,274	396,328	-	-	-
	学校給食事業											
5	10	05	02	04	143,022	141,643	143,810	231,142	246,101	-	-	-
	学校給食調理等業務委託費											
6	10	05	02	05	11,695	11,106	11,789	10,332	10,444	-	-	-
	施設維持補修事業											
7	10	02	01	02	339,723	278,862	282,926	285,766	252,353	→	→	83
	小学校管理費											
8	10	02	02	02	2,546	2,143	1,594	2,202	2,202	-	-	-
	小学校教育振興総務費											
9	10	02	02	06	97	287	906	2,195	2,311	→	→	75
	小学校各種大会派遣事業											
10	10	02	02	01	19,097	17,193	17,204	15,992	17,051	-	-	-
	小学校教育振興費											
11	10	03	02	05	1,826	6,784	8,678	13,070	13,762	→	→	75
	中学校各種大会派遣事業											
12	11	03	01	01	0	0	0	1	1	-	-	-
	学校施設災害復旧事業											
					0	0	0	1	1			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
13	10	03	01	02	151,985	148,647	170,363	241,253	138,894	→	→	83					
	中学校管理費																
	教育総務課				144,348	148,278	170,028	192,993	138,594								
14	10	03	02	02	1,095	1,362	1,098	1,367	1,367	-	-	-					
	中学校教育振興総務費																
	教育総務課				623	27	721	797	797								
15	10	03	02	01	11,828	11,252	11,413	11,715	11,643	-	-	-					
	中学校教育振興費																
	教育総務課				11,065	11,252	11,413	11,715	11,643								
16	10	02	01	03	102,465	229,729	534,349	395,056	1,001,227	→	→	78					
	小学校長寿命化対策事業																
	教育総務課				12,465	35,929	60,749	39,556	233,727								
17	10	01	02	98	645,250	22,375	16,728	0	0	↑	↑	80					
	小中学校ICT環境整備事業																
	教育総務課				53,786	21,345	14,670	0	0								
18	10	01	02	98	174,327	785,576	0	0	0	-	-	-					
	地方創生臨時交付金事業																
	教育総務課				68,506	77,865	0	0	0								
19	10	01	02	11	0	0	0	71,252	84,558	-	-	-					
	小中学校照明LED化事業																
	教育総務課				0	0	0	7,152	8,458								

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成（評価対象：令和 4年度）

施策名	0203	元気なまちを築く生涯スポーツの促進
------------	------	-------------------

施策担当課	教育総務部・スポーツ振興課	
担当部長職・氏名	教育総務部長 菊地 浩昭	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0203	元気なまちを築く生涯スポーツの促進
	⑤目指す将来の姿	-	市民一人ひとりがスポーツを通して、心と身体を豊かにし、健康で活力ある生活を送っています。

2. 取り組み方針

<p>市民が日常的にスポーツに取り組むことができるよう、関係団体と連携しながらスポーツ事業を展開し、将来を見据えて利用者のニーズに応じたスポーツ施設の改善や整備を推進する。</p>
--

3. 主要事業の取り組み内容

<p>①市民参加型健康増進イベント等を通じ「スポーツ」と「健康づくり」が一体となった生涯スポーツの普及促進を図るとともに全国大会等で活躍できる選手・団体の育成と競技スポーツ強化を促進する。</p> <p>②各種スポーツ大会等の実施、スポーツ合宿等の誘致に取り組み、スポーツ交流と観戦機会の充実を図ると同時に、地域活性化や交流人口の増加につなげる賑わいの価値づくりに活かす。</p> <p>③スポーツ施設・設備の適正な維持管理を実施し、機能や利用状況に応じた計画的な設備整備とスポーツ施設の適正配置を進めるとともに、施設の利用状況等を利用者にわかりやすく伝え、利用促進を図る。</p>

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「スポーツ・レクリエーションの振興」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	70.7	70.7	70.7	70.7
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）後期計画変更			実績値	65.6	65	61.4		
2	週1回以上スポーツをする成人の割合	成果	%	目標値	54	44.5	46	47.5	49
	※秋田県スポーツ実態調査			実績値	59.6	53.3	49.2		
3	スポーツイベントへの協力団体数	成果	件	目標値	増加	41	42	43	44
	※横手市スポーツイベント等への協力団体の数			実績値	8	25	20		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	188,300	261,000	94,900	235,100	135,030
	(d) 使用料・手数料	6,773	9,214	10,045	10,207	8,278
	(e) その他特定財源	1,951	1,588	2,959	2,473	2,777
	(f) 一般財源	254,044	274,060	260,683	303,125	279,541
事業費の小計		451,068	545,862	368,587	550,905	425,626

6. 施策の達成状況

①成果の分析	<p>指標の達成状況は、週1回以上スポーツをする成人の割合は目標値を上回っているものの、昨年度数値からは減少している。スポーツイベントへの協力団体数については昨年度を下回り、かつ目標未達成となっている。R4年度、新型コロナ感染対策の各種制限が徐々に緩和されてきた中で、感染対策を十分行いつつ、各大会、イベント開催に努めたが、急遽中止あるいは観客制限したのもあった。市民のスポーツ活動へのニーズが高まってきていると感じられるので、引き続き市民の活動の場を整えていかなければならない。</p>
②施策の有効性	<p>R4年度は、新型コロナ感染対策の各種制限が徐々に緩和され、各種大会、イベント開催がR3年度より増加した。また、各スポーツ施設においては、適正な維持管理と適宜補修に努めつつ、天下森スキー場をはじめ、主要野球場、陸上競技場の今後数年にわたる大規模改修を計画した。スポーツ活動は様々な面から市民の健康維持に大きな効果を発揮し、市民の快適な暮らしを支える原動力ともなるので、ハード、ソフト面からスポーツ環境を整え、各種スポーツ活動の活気を取り戻せるよう、本施策の各事業を進める。</p>
③施策内事業の妥当性	<p>各事業は第7次スポーツ推進計画のアクションプランと整合させながら実施している。</p> <p>コスト的に施設改修費の割合が大きいが、市民の健康増進、スポーツ振興、地域活性化などを網羅してバランスよく事業実施しなければならない。他方で、部活動地域移行、新横手体育館の運営、スポーツコミッション等、新たに検討すべき課題もあり、市民ニーズを的確にとらえ、持続可能な事業推進を念頭に各事業を進める。</p>
④実施可能な改善内容	<p>スポーツ関係事業については、コロナ禍の社会状況、市民の状況を勘案し、事業実施と感染対策を両立させながら実施してきた。</p> <p>ホストタウン事業は、東京オリンピック後、当初の目的を見直し、バドミントン普及、海外交流を引き継ぎつつ、スポーツのまちづくり事業に統合する。新横手体育館整備をはじめ各スポーツ施設大規模改修などは、関係各課、各団体等との協議、情報収集に努め、長期の実行計画に取り組む。</p>

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上	★		
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<p>R6年度も引き続き、第7次スポーツ推進計画の施策実現を具体的な目標としつつ、市民スポーツ活動がコロナ禍の影響から脱却し、従来以上に地域が活性化するように各事業を実施する。その過程では、スポーツ立市10周年を契機とした市民の意識高揚を図り、スポーツ協会、スポーツ推進委員会等、各団体と連携しながら、事業内容の見直しも行いつつ、より地域活性化につながることを目指していく。</p> <p>また、各スポーツ施設においては、今後の活用の方向性を明確化しつつ、それぞれの特性に応じて、適正な維持管理を行い、老朽化対応及び長寿命化につながる改修を行っていかなければならない。特に、天下森スキー場、十文字陸上競技場、主要野球場については今後数年にわたる大規模改修に着手していることから、一時的にコスト増となるが、スポーツ施設全体としては、スポーツ活動への効用を高め、安全で快適に利用できるよう計画的に改修を進める。</p>
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	10	05	01	01	7,295	10,227	16,083	10,188	9,220	→	→	89
	スポーツ振興総務費											
	スポーツ振興課				7,295	10,227	16,083	10,188	9,220			
2	10	05	01	03	2,110	2,986	7,615	8,144	8,583	→	→	75
	市民スポーツ振興事業											
	スポーツ振興課				2,110	2,986	7,615	8,144	8,583			
3	10	05	01	03	822	1,314	2,678	6,676	4,684	→	→	77
	スポーツのまちづくり事業											
	スポーツ振興課				822	1,314	2,678	6,676	4,684			
4	10	05	01	05	1,132	747	902	974	5,258	→	→	75
	スポーツ交流事業											
	スポーツ振興課				1,132	747	902	974	5,258			
5	10	05	01	07	52,749	49,850	47,614	59,999	47,893	→	→	80
	体育施設総務費											
	スポーツ振興課				52,396	48,873	46,840	59,217	47,309			
6	10	05	01	08	89,105	95,854	141,490	132,021	100,275	→	→	80
	屋内体育施設費											
	スポーツ振興課				85,712	92,314	104,457	128,377	96,418			
7	10	05	01	09	297,473	368,054	143,315	325,296	241,664	↑	→	77
	屋外体育施設費											
	スポーツ振興課				104,195	100,769	73,218	81,942	100,020			
8	10	05	01	06	337	4,324	7,011	7,607	8,049	→	→	83
	競技スポーツパワーアップ事業											
	スポーツ振興課				337	4,324	7,011	7,607	8,049			
9	10	05	01	98	0	0	1,879	0	0	↓	↓	57
	ホストタウン事業											
	スポーツ振興課				0	0	1,879	0	0			

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成 (評価対象: 令和 4年度)

施策名	0204	心を豊かにする生涯学習の推進
------------	------	----------------

施策担当課	教育総務部・生涯学習課
担当部長職・氏名	教育総務部長 菊地浩昭

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0204	心を豊かにする生涯学習の推進
	⑤目指す将来の姿	-	多様な生涯学習の機会が提供され、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができます。また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生を楽しんでいます。

2. 取り組み方針

市民が豊かな教養を身に付けるために、ライフステージに応じた学習機会の充実と支援を行います。また、優れた芸術にふれる機会や体験活動ができるよう将来を見据えた必要な施設の整備を推進します。

読書を通じ豊かな心を持ち自ら考える市民文化の育成に貢献し、郷土資料に触れることにより郷土を知り、郷土に誇りと自信を持つ市民づくりに寄与します。

3. 主要事業の取り組み内容

学びへの支援を充実し、学びによる「まちづくり・人づくり」と、学びの成果を活かす「循環型の学び社会づくり」を進めます。芸術文化の拠点を整備・活用し、優れた芸術にふれる機会や体験活動を推進していきます。

- ・学びの機会の提供と環境の整備
- ・子どもたちの各種体験活動や交流活動の実施
- ・学びの成果を地域活動参画や社会貢献に活かす環境づくり
- ・市民協働によるまちづくり活動との連携を図る
- ・芸術、文化活動を支援し、成果発表の機会と場の提供
- ・社会教育施設等の適正な管理
- ・市民が読書・研究・問題解決のために利用しやすい図書館の運営
- ・郷土資料の収集と整理により、多くの郷土を知る資料の提供

4. 指標の目標と推移

No	指標名	※下段: 指標の取得方法	種別	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「生涯学習の推進」に対する市民満足度	※まちづくりアンケート(ウェイト平均の100点換算)後期計画変更	成果	点	目標値	増加	71.5	71.5	71.5
					実績値	66	65.7	61.8	
2	生涯学習講座・教室の参加者数	※社会教育施設利用状況調査	成果	人	目標値	34,500	34,500	34,500	34,500
					実績値	17,928	17,739	22,848	
3	社会教育施設の利用人数(市民会館含む)	※社会教育施設利用状況調査	成果	人	目標値	550,000	450,000	450,000	450,000
					実績値	271,558	448,880	515,924	
4	図書館入館者数	※横手市図書館要覧	成果	人	目標値	241,000	176,000	176,000	201,000
					実績値	151,415	171,096	167,627	
5	人口に占める図書館利用カード登録者数割合	※横手市図書館要覧	成果	%	目標値	16.9	18.9	19	19.1
					実績値	18.2	18.1	17.8	
6	マンガを生かした特別授業参加者の満足度	※マンガを生かした特別授業の参加者アンケート	成果	%	目標値	-	90	90	90
					実績値	-	100	100	

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	13,875	4,443	1,987	2,000	2,000
	(b) 県支出金	602	1,618	2,029	2,282	2,020
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	6,260	6,244	10,506	7,343	12,890
	(e) その他特定財源	646	521	1,665	1,159	1,372
	(f) 一般財源	323,817	325,993	362,266	428,508	309,176
事業費の小計		345,200	338,819	378,453	441,292	327,458

6. 施策の達成状況

①成果の分析	<ul style="list-style-type: none"> どの事業についても再開に至るまでは十分な感染防止対策に配慮しつつ様々な工夫を凝らしている。指標の目標値を下回っているものもあるが、実績値の推移の状況から回復傾向にあると言える。 増田まんが美術館では全国規模の大会開催を始め様々な企画の展開が図られたほか、市内小中学校との教育連携が行われ高い満足度を得ておりマンガ文化の振興につながるものと期待する。 市民会館について、令和8年開館に向け移転立替が決定した。
②施策の有効性	市民一人ひとりが生涯を通して学び続けることのできる学習環境を提供し、市民と行政が一体となってふるさと横手に愛着と誇りを持ち、未来を切り拓いていく人づくりを実現していくため有効である。また、かねてから課題となっていた横手図書館の移転に加え、新たに生涯学習の拠点となる施設の整備は、市民へ文化的な刺激を与えるとともに、質の高いサービスの提供が見込まれる。
③施策内事業の妥当性	多様化、高度化する市民のニーズにきめ細やかに対応し、妥当な事業構成となっている。また、法令や包括協定等により実施している事業については、内容の充実を図りながら継続していく必要がある。
④実施可能な改善内容	地域づくりを目標とした循環型の学びや地域をまき込んだ家庭教育、読書文化の振興も重要視されている。様々な機関等とつながり、連携・協働の体制を強化するとともに、主役である市民の主体的な関わりをさらに促すよう引き続き検討が必要である。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上	★		
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度開館を予定している新公益施設Ao-naは、横手図書館を移転し機能を拡充させ、市民の様々な学びや活動を支援する。また、地域課題に対し専門的な情報の蓄積や横手の自然や歴史文化、風俗等の資料収集をより一層行いながら、だれにでも開かれた場所として、幅広い年代の人々がいつでも心地よく集う交流拠点として、市民の期待に応える取り組みを進めていく必要がある。 新たに移転建替が決定した市民会館については、関係課連携を強化のうえ準備を進めていく。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	02	01	07	06	567	568	550	524	569	-	-	-
	駅前公共施設管理費											
	地域づくり支援課				567	568	550	524	569			
2	10	04	02	01	2,348	4,226	3,793	4,145	4,364	-	-	-
	社会教育総務費											
	生涯学習課				2,348	4,226	3,793	4,145	4,364			
3	10	04	02	02	1,480	3,184	3,469	5,102	5,463	→	↑	88
	生涯学習推進事業											
	生涯学習課				1,018	1,641	1,658	2,953	3,518			
4	10	04	02	03	182	209	490	340	342	→	→	72
	二十歳のつどい開催事業											
	生涯学習課				182	209	490	340	342			
5	10	04	02	04	279	245	415	300	280	→	↑	87
	家庭教育支援事業											
	生涯学習課				139	170	197	167	205			
6	10	04	02	05	2,205	2,351	2,358	2,520	2,491	→	→	91
	秋田大学横手分校事業											
	生涯学習課				2,205	2,351	2,358	2,520	2,491			
7	10	04	02	06	67,318	68,022	63,146	0	63,001	-	-	-
	公民館費											
	生涯学習課				66,261	66,905	61,909	0	61,618			
8	10	04	02	07	7,468	5,084	5,019	0	5,529	-	-	-
	生涯学習センター費											
	生涯学習課				7,435	5,084	5,019	0	5,529			
9	10	04	02	08	43,863	33,900	68,921	0	43,595	-	×	74
	生涯学習施設費											
	生涯学習課				42,334	32,433	66,138	0	38,857			
10	10	04	04	01	1,803	2,129	3,050	3,548	3,022	→	→	77
	芸術文化推進事業費											
	生涯学習課				1,803	1,999	1,984	2,458	2,057			
11	10	04	04	02	22	122	122	886	890	→	→	77
	自主文化事業委託費											
	生涯学習課				22	122	122	886	890			
12	10	04	04	03	34,551	31,256	35,230	35,622	33,497	-	-	-
	芸術文化施設費											
	生涯学習課				30,440	27,342	28,294	28,256	26,352			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
13	10	04	03	02	3,785	5,311	4,208	79,660	4,045	-	-	-					
	図書館総務費																
13	図書館課				3,777	5,305	4,192	79,654	4,042								
	10	04	03	03	595	615	336	443	343	→	→	87					
14	読書活動促進事業																
	図書館課				595	615	336	443	343								
15	10	04	03	01	63,749	72,659	76,292	153,712	56,069	↑	↑	91					
	図書館費																
15	図書館課				63,681	72,628	76,259	153,672	56,041								
	16	10	04	04	04	103,401	103,658	105,774	120,838	103,958	↑	→	81				
増田まんが美術館費																	
16	文化振興課				101,010	99,115	103,687	118,838	101,958								
	17	10	04	01	02	0	5,280	5,280	15,157	0	×	×	87				
横手駅東口新公益施設整備事業																	
17	教育総務課				0	5,280	5,280	15,157	0								
	18	10	04	01	03	0	0	0	18,495	0	-	-	-				
横手駅東口新公益施設費																	
18	教育総務課				0	0	0	18,495	0								

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成 (評価対象: 令和 4年度)

施策名	0205	よこての伝統文化の継承と再発見
------------	------	-----------------

施策担当課	まちづくり推進部・文化振興課
担当部長職・氏名	教育総務部長 菊地浩昭

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり
基本計画	③政策	02	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
	④施策	0205	よこての伝統文化の継承と再発見
	⑤目指す将来の姿	-	市民が地域の歴史や文化を身近に感じ、横手に誇りを持って暮らしています。

2. 取り組み方針

<p>歴史的資源を活かした地域づくりを進めるため、その把握と周知・保存・活用を推進します。 地域の歴史的資源の周知を通じて市民の郷土への愛着と誇りを育みます。</p>

3. 主要事業の取り組み内容

<ol style="list-style-type: none"> 1. 重要伝統的建造物群保存事業 2. 歴史文化遺産保存活用地域計画及び歴史的風致維持向上計画に基づく歴史まちづくり事業 3. 後三年合戦関連遺跡の調査及び保存活用事業 4. 開発行為等で消滅する埋蔵文化財の調査及び保存活用事業 5. 指定文化財等の保存活用並びに指定候補物件の調査事業 6. 資料館施設での歴史的資源や地域の魅力の発信事業

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段: 指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「地域文化の振興」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	72.4	72.4	72.4	72.4
	※まちづくりアンケート(ウェイト平均の100点換算)後期計画変更			実績値	67	66.8	64		
2	資料館施設等の年間利用者数	成果	人	目標値	10,000	8,000	10,000	10,000	10,000
	※資料館施設等利用状況統計数値			実績値	2,613	3,119	5,203		
3	シンポジウム・公開講座等の年間参加者数	成果	人	目標値	900	500	500	500	500
	※シンポジウム・公開講座等参加者実績数値			実績値	180	350	260		
4	国・県・市による指定文化財等の数(累計)	成果	件	目標値	288	267	269	271	273
	※国・県・市による指定文化財等の件数			実績値	271	271	270		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	50,649	33,955	34,972	34,089	50,880
	(b) 県支出金	28,412	29,485	45,614	40,023	41,746
	(c) 地方債	33,700	8,500	0	0	8,100
	(d) 使用料・手数料	135	201	336	403	246
	(e) その他特定財源	8	262	172	160	210
	(f) 一般財源	58,390	64,736	88,475	81,439	74,582
事業費の小計		171,294	137,139	169,569	156,114	175,764

6. 施策の達成状況

①成果の分析	<p>新型コロナウイルス感染症予防対策等により指標の目標値には達していない項目が多いが、指定文化財数ではわずかながら上回っており、老朽化等による大幅な減少を防ぐことに成功している。今後の社会情勢を見ながら目標達成のために事業を推進していく。</p> <p>今後、国の認定計画である「歴史的風致維持向上計画」や「歴史文化遺産保存活用地域計画」に基づく取り組みを推進し、市内文化財の調査・保存・活用を実施していく。</p>
②施策の有効性	<p>国指定重要文化財の修理や国の史跡指定を目指す後三年合戦関連遺跡の調査の実施等は、市民にとっても地域に誇りを持つことができる文化財の活用や継承につながる事業である。</p> <p>市内にある多くの文化財を調査して保存し、それを資料館施設等で展示する等により活用することは、地域にとっても有効な施策である。</p>
③施策内事業の妥当性	<p>これまで重要文化財に消防設備を設置する事業への支援や伝統的建造物群保存地区内での防災対策、無電柱化などの事業を実施してきており、今後も修理修景事業を推進していく必要がある。また、金沢柵推定地の調査を継続中であり、地域にとって特別な歴史文化遺産を調査することは有意義な事業である。</p> <p>このほかにも文化財の調査、発見並びに保存・周知そして活用のための事業を行っており、それぞれ「横手の伝統文化の継承と再発見」を図るために必要な施策である。</p>
④実施可能な改善内容	<p>少子高齢化への対応として、児童生徒の文化財に対する関心の涵養及び無形民俗文化財の後継者不足の克服を目指し、小中学生を対象とした発掘調査ワークショップの開催及び無形民俗行事のデジタル化計画の策定を実施した。今後も文化財保護を巡る問題への対策を実施しながら、子どもから大人まで幅広い年代の多くの方々から関心を持っていただけるような企画と内容にしていきたい。</p>

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<p>歴史的な資源が豊かな本市においては、文化財を活かした地域づくりに積極的に取り組むことが有効であり、市民の期待も大きい。</p> <p>歴史的風致維持向上計画及び歴史文化遺産保存活用地域計画に基づき事業を実施することにより、市内文化財の調査、保護、活用を実施していく。</p>
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	10	04	04	05	66,638	45,559	48,597	44,645	53,929	→	→	78
	重要伝統的建造物群保存事業											
	文化振興課				3,883	5,386	17,516	17,361	4,829			
2	10	04	04	06	13,145	15,450	8,690	15,038	32,143	→	→	86
	歴史まちづくり事業											
	文化振興課				9,947	14,254	8,690	13,931	21,743			
3	10	04	05	01	10,122	12,298	13,874	14,149	12,178	-	-	-
	文化財保護総務費											
	文化財保護課				10,092	12,268	13,853	14,128	12,148			
4	10	04	05	02	2,001	2,001	1,782	2,503	2,001	→	→	78
	後三年合戦保存活用整備事業											
	文化財保護課				1,001	1,001	892	1,253	1,001			
5	10	04	05	03	35,318	35,925	57,044	53,249	49,075	→	→	88
	埋蔵文化財発掘調査事業											
	文化財保護課				7,540	6,384	8,450	8,799	8,879			
6	10	04	05	04	5,628	3,572	5,621	2,898	5,257	→	→	87
	文化財普及活動費											
	文化財保護課				5,628	3,441	5,453	2,748	5,047			
7	10	04	06	01	38,442	22,334	33,961	23,632	21,181	→	→	84
	資料館費											
	文化財保護課				20,299	22,002	33,621	23,219	20,935			

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成（評価対象：令和 4年度）

施策名	0301	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進
------------	------	-----------------------

施策担当課	まちづくり推進部・地域づくり支援課	
担当部長職・氏名	まちづくり推進部長 佐藤 勉	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0301	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	-	事故や犯罪、消費者が巻き込まれる悪質商法や特殊詐欺等の被害が減少し、市民がお互いに助け合いながら、安心して生活を送っています。必要な時には専門的な相談が受けられ、問題の解決に結びつく方法を速やかに見出すことができます。

2. 取り組み方針

<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全や犯罪に関する意識を高める機会、消費者トラブルに関する知識を深める機会を増やすほか、各種相談窓口の周知を図ります。 ・空き家対策を推進するため、空き家の状況を適宜調査し、より効果的な制度を構築すべく、市民や関係団体との連携を深めます。 ・市民が安全安心に暮らすため、社会情勢の変化や高度化に対応し、最新の情報を収集して相談業務に活用するとともに、出前講座や啓発等、市民がより相談しやすい体制を整備します。

3. 主要事業の取り組み内容

<ul style="list-style-type: none"> ・交通指導員・防犯指導員の活動の推進及び関係機関との連携、協力による交通防犯対策の取り組み ・特殊詐欺被害防止のため、消費者生活センターの活動 ・よこて安全・安心メールによる情報提供 ・第2期市空き家等対策計画に基づく特定空き家等の調査、対応
--

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
1	よこて安全・安心メール登録者	成果	人	目標値	4,940	6,327	6,927	7,227	7,527
	※よこて安心・安全メール年間登録者数			実績値	6,721	7,041	7,419		
2	空家等の苦情・相談等に対する対応割合	成果	%	目標値	-	-	100	100	100
	※R4年度～			実績値	-	-	100		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	1,218	708	5,249	76,378	8,625
	(b) 県支出金	352	5,928	257	185	220
	(c) 地方債	0	5,500	0	67,700	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	408	324	316	310	316
	(f) 一般財源	58,290	53,716	62,349	65,948	66,783
事業費の小計		60,268	66,176	68,171	210,521	75,944

6. 施策の達成状況

①成果の分析	<ul style="list-style-type: none"> よこて安全・安心メール登録者数は年々増加傾向にあり、事案発生後、迅速に情報を提供し注意喚起を促している。 空家等の苦情、相談等に対する対応割合は100%であり、問題の解決に結びつく方法を速やかに見出している。
②施策の有効性	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全対策、防犯対策、空き家対策、市民相談等、安全・安心な市民生活の確保のため必要不可欠な事業である。
③施策内事業の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の安全・安心を守るために必要な事業であり、妥当と判断される。
④実施可能な改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年3月に横手市交通指導員設置条例の一部を改正し、指導員の定年を75歳まで引き上げたことにより、一時的に隊員の減少を防げるものの、根本的な解決にはならないため、より募集告知などに力を入れるなど、新規隊員の確保に注力する必要がある。 多様化、複雑化する事案に対応するため、最新の情報収集や啓発活動に努めるとともに、関係機関と連携 情報共有しながら展開していく必要がある。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上		★	
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<ul style="list-style-type: none"> 市民の安全と財産を守るという、自治体の基本的役割を果たすための事業であり、継続した取り組みが必要である。 令和5年3月に一部改訂した第2期横手市空家等対策基本計画に基づく空家等の予防・適正管理・利活用等、総合的な対策事業を継続して行っていく必要がある。また、今後の法改正、国や県の動向を注視するとともに、市にとって効果的な施策について検討を進めていくためにも、コストも維持していかなければならない。
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	03	01	09	01	18,107	17,290	17,736	21,135	20,587	→	→	87
	交通安全対策事業											
2	03	01	09	02	3,737	3,622	3,671	4,465	4,470	→	→	87
	防犯対策事業費											
3	03	01	10	01	7,162	7,602	8,651	8,757	8,751	↑	↑	90
	市民相談事業											
4	03	01	10	02	5,959	4,549	19,011	156,324	21,371	↑	↑	86
	特定空家等対策事業											
5	03	05	01	01	830	410	150	870	870	-	-	-
	災害見舞金支給事業											
6	08	02	02	02	19,397	19,703	18,952	18,970	19,895	→	→	93
	交通安全施設整備費											
7	03	05	01	02	0	7,500	0	0	0	-	-	-
	災害弔慰金支給事業											
					0	1,875	0	0	0			

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成 (評価対象: 令和 4年度)

施策名	0302	美しい自然環境と快適な生活環境の保全
------------	------	--------------------

施策担当課	市民福祉部・生活環境課	
担当部長職・氏名	市民福祉部長 竹原信寿	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0302	美しい自然環境と快適な生活環境の保全
	⑤目指す将来の姿	-	水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息しています。まちの美観は損なわれることなく、河川などの豊かな自然環境が市民にやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できます。

2. 取り組み方針

	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校や事業所、環境関連団体と連携し、全市一斉クリーンアップ等を実施し地域の環境美化を推進します。 ・各種公害を監視し生活環境の保全に努めるとともに、森林や農地の適正管理を行い、環境保全機能や水循環機能の維持、向上を図ります。 ・下水道への加入促進や合併浄化槽による生活排水の浄化により、河川水の水質保護を図るとともに、定期的な河川水の水質検査を実施し、汚染状況の把握に努めます。
--	--

3. 主要事業の取り組み内容

	<p>美しい景観と快適な生活環境を保全するため</p> <p>①森林や農地の適正管理 ②環境保全機能や水循環機能の維持 ③生活排水の浄化による河川水質の保護 ④定期的な河川水質検査 ⑤不法投棄の監視 ⑥各種公害の監視・指導 ⑦道路交通騒音常時監視調査 ⑧市営墓地の整備を実施します。</p>
--	---

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段: 指標の取得方法	種別	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	市内河川3地点のBOD環境基準値の達成率	成果	%	目標値	100	100	100	100
	※河川の水質状況調査結果			実績値	100	100	100	
2	自動車騒音の環境基準達成率 (R4. 11. 24修正)	成果	%	目標値	98	97	97	97
	※自動車騒音面体評価による状況確認			実績値	94.8	95.4	95.4	
3	墓地整備率	成果	%	目標値	-	86.6	86.7	86.8
	※墓地整備計画に基づく整備率			実績値	85.9	86.62	86.62	
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	13,069	10,628	10,897	16,263	16,263
	(b) 県支出金	34,110	50,962	60,749	36,632	47,288
	(c) 地方債	109,300	63,700	130,700	631,700	2,200
	(d) 使用料・手数料	31,114	29,237	27,963	29,356	27,345
	(e) その他特定財源	21	0	1	1	1
	(f) 一般財源	181,622	203,164	244,922	273,119	390,956
事業費の小計		369,236	357,691	475,232	987,071	484,053

6. 施策の達成状況

①成果の分析	指標において市の取組みだけでは達成できない項目はあるものの、一定の成果が出ている。
②施策の有効性	市民ニーズの高い分野であり、必要不可欠な施策である。
③施策内事業の妥当性	事業内容や実施方法に検討の余地はあるものの、妥当である。
④実施可能な改善内容	循環型社会形成推進地域計画と横手衛生センター長寿命化総合計画をもとに、横手衛生センターと雄物川衛生センターの統廃合を計画的に進める。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	社会の変化や市民ニーズを的確に捉え、事業内容や実施方法の見直しを検討する必要があるものの、施設を含めた環境を保全していく経費は維持していく必要がある。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	04	01	01	03	5,106	5,116	4,138	6,939	7,045	-	-	-
	墓園費											
	生活環境課				1,186	2,199	1,386	2,707	2,964			
2	04	01	07	01	576	385	522	1,012	1,012	-	-	-
	環境保全管理事業											
	生活環境課				576	385	522	1,012	1,012			
3	04	01	07	03	8,586	9,000	8,932	9,511	9,551	→	→	87
	環境美化推進事業											
	生活環境課				8,408	8,610	8,444	9,112	9,156			
4	04	01	07	02	139	118	116	192	192	-	-	-
	生活衛生営業等事務費											
	生活環境課				0	0	52	0	0			
5	04	01	08	01	2,083	1,963	2,127	2,430	2,551	-	-	-
	公害対策総務費											
	生活環境課				2,083	1,963	2,127	2,430	2,551			
6	04	01	08	02	16,946	13,869	14,152	21,684	21,684	→	→	100
	休廃止鉱山坑廃水処理事業											
	生活環境課				1,700	1,470	1,439	2,711	2,711			
7	04	01	11	01	108,701	62,453	65,895	73,319	80,557	→	→	97
	斎場施設費											
	生活環境課				39,038	51,414	53,957	62,372	69,615			
8	04	02	03	01	162,216	180,773	217,243	228,019	201,637	→	→	97
	衛生センター費											
	生活環境課				99,692	119,958	156,037	162,319	189,537			
9	06	01	09	04	3,642	3,460	3,460	3,460	5,660	-	-	-
	自然体験型交流施設費											
	増田地域課				3,642	3,460	3,460	3,460	3,460			
10	06	02	01	04	1,540	1,612	1,761	4,770	4,628	↑	→	80
	緑化推進事業											
	農林整備課				1,540	1,612	1,761	4,770	4,628			
11	06	02	01	05	11,250	11,191	10,710	11,704	12,950	→	→	89
	森林病害虫等防除事業											
	農林整備課				3,082	2,960	2,678	2,931	3,767			
12	06	02	01	06	2,268	2,189	2,518	4,670	4,257	↑	→	94
	有害鳥獣対策事業											
	農林整備課				2,268	2,189	2,518	4,670	4,257			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
13	06	02	02	05	34,447	40,583	50,431	24,770	35,020	→	→	90					
	水と緑の森づくり事業																
	農林整備課				10,860	13	18	20	20								
14	06	02	03	01	3,573	3,246	5,099	3,622	3,714	-	-	-					
	いこいの森費																
	農林整備課				3,573	3,246	5,099	3,622	3,714								
15	06	02	03	03	285	304	327	369	352	-	-	-					
	やまばと山荘費																
	山内地域課				279	292	309	353	321								
16	04	01	11	02	0	14,849	86,415	585,012	93,243	→	→	85					
	斎場施設整備事業																
	生活環境課				0	49	5,115	6,912	93,243								
17	04	01	01	08	7,878	6,580	1,386	5,588	0	→	→	58					
	墓園整備費																
	生活環境課				3,695	3,344	0	3,718	0								

令和 5 年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成（評価対象：令和 4年度）

施策名	0303	災害に強いまちづくりの推進
------------	------	---------------

施策担当課	総務企画部・危機対策課	
担当部長職・氏名	総務企画部長 小玉幸平	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0303	災害に強いまちづくりの推進
	⑤目指す将来の姿	-	消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいます。

2. 取り組み方針

災害の発生を完全に防ぐことは不可能であることから、災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を基本とし、たとえ被災したとしても人命が失われないことを最重視します。

災害に対しては、「企業・団体の協力を得た公的機関の措置（公助）」はもとより、「自らの命は自ら守る行動（自助）」と「身近な地域コミュニティによる助け合い（共助）」が大切であり、市民の防災意識の啓発に努めながら、3つの力の連携による総合力で対応します。

3. 主要事業の取り組み内容

市民が安全に、安心して暮らせるまちをつくるために、

- ①災害発生時に避難支援が必要な方の避難方法や避難先を定めた個別計画の整備
- ②災害が発生するおそれがある個所への防災対策の推進
- ③消防・救急業務が円滑に推進できる体制づくり及び消防団員の確保と活動の支援
- ④防災訓練や防災講話等を通じた地域住民や自主防災組織及び関係機関の防災意識の向上と連携強化
- ⑤災害への備えの充実

を実践します。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「消防・防災体制の充実」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	75.2	75.2	75.2	75.2
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）後期計画変更			実績値	69.6	69.8	67.8		
2	耐震性貯水槽の設置数（累計）	活動	基	目標値	98	100	102	105	108
	※消防防災震災対策現況調査			実績値	97	98	102		
3	普通救命講習の修了者養成数(累計)	成果	人	目標値	49,500	50,000	52,000	54,000	56,000
	※修了証の延べ発行者数の実績			実績値	45,958	46,307	47,041		
4	消防団協力事業所数	成果	か所	目標値	59	60	61	62	63
	※登録事業所実績			実績値	62	62	62		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	20,207	18,717	18,276	33,842	40,062
	(b) 県支出金	2,526	1,034	20	24	20
	(c) 地方債	330,000	193,900	170,100	256,400	619,000
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	600	1,000
	(e) その他特定財源	11,083	10,345	9,191	3,065	3,638
	(f) 一般財源	382,999	326,535	374,966	359,566	384,464
事業費の小計		746,815	550,531	572,553	653,497	1,048,184

6. 施策の達成状況

①成果の分析	コロナ禍により自粛していた集会形式の救命講習会を、年度途中より感染対策を行いながら実施したが、救命講習会修了者数は前年より増加したものの目標値には至らなかった。一方、ハード面における事業は着実に進んでいる。
②施策の有効性	全国的に頻発化及び激甚化する自然災害に対し、ソフト・ハード両面における予防対策と発災時の迅速かつ適切な対応へのニーズは高まっている。また、感染症を考慮した対策も必須である。
③施策内事業の妥当性	ハード面における設備や器具等の整備、ソフト面での避難行動要支援者対策、住民の防災意識高揚、知識の習得に向けた研修や災害対応訓練などは平時から取り組まなければならない施策である。また、常備消防力の強化や消防団活動の充実等も安全安心な暮らしに欠かせない施策である。
④実施可能な改善内容	各事業において改善を図りながら継続する。 多様な媒体による防災情報の発信を受け、適切な避難行動へとつなげられるよう市民の防災意識の啓発に積極的に取り組む。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上	★		
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	常に先進的な事例や情報収集を行い、災害に強い横手市を目指す必要がある。 ハード面においては、限りある経営資源の中では計画的に事業を進めることで防災力を維持していくが、消防指令センターのシステム機器更新がありコストは拡大とした。また、ソフト面においては、高齢化、人口減少が進む中であっても、自助・共助を中心とした防災活動が行えるよう、防災講話等、啓発活動に取り組み地域防災力の強化を図る。
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	03	01	01	06	5,563	6,824	3,692	3,928	3,082	→	→	83
	避難行動要支援者名簿整備事業 まるごと福祉課											
2	04	01	01	05	4,871	4,871	4,792	4,713	4,713	-	-	-
	救急医療体制整備事業 消防本部救急課											
3	08	03	01	01	214	340	183	188	350	-	-	-
	河川総務費 建設課											
4	08	03	01	02	6,069	9,892	14,347	4,500	7,100	→	→	89
	急傾斜地崩壊対策事業 建設課											
5	08	03	02	01	1,084	1,035	1,071	1,018	1,067	-	-	-
	河川維持管理費 建設課											
6	09	01	01	02	116,884	109,121	130,729	141,011	116,693	→	→	97
	常備消防経費 消防本部総務課											
7	09	01	01	03	262,887	132,623	64,051	170,985	605,790	↑	→	94
	常備消防施設等整備事業 消防本部総務課											
8	09	01	02	01	130,361	126,055	129,701	137,694	137,653	→	→	94
	非常備消防経費 消防本部総務課											
9	09	01	03	01	15,411	14,519	15,131	19,273	19,453	-	-	-
	消防施設管理費 消防本部警防課											
10	09	01	03	02	83,080	63,160	109,280	126,464	128,248	→	→	94
	消防施設整備事業 消防本部警防課											
11	09	01	03	03	5,963	11,412	11,165	11,570	6,000	→	→	88
	水道事業(消防水利施設)費 消防本部警防課											
12	09	01	04	01	129	514	562	605	563	-	-	-
	水防管理費 危機対策課											

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
13	09	01	05	01	20,121	18,828	16,918	18,027	12,848	→	↑	94
	災害対策費											
14	09	01	05	02	1,356	1,327	4,686	1,614	1,501	→	→	93
	防災センター管理費											
15	11	02	02	01	28,659	0	0	3,000	3,000	-	-	-
	河川災害復旧事業											
16	09	01	05	96	2,600	5,301	4,702	0	0	→	→	86
	コミュニティ助成事業(地域防災組織育成)											
17	10	01	03	10	70	150	143	107	123	→	→	82
	防災・減災まちづくり学習事業											
18	08	03	03	01	55,607	44,559	9,801	0	0	→	×	93
	雨水排水対策事業											
19	09	01	01	98	0	3,108	7,305	0	0	→	→	90
	地方創生臨時交付金事業											
20	08	03	02	02	0	0	44,294	8,800	0	→	→	97
	河川改修事業											

令和 5 年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成 (評価対象: 令和 4年度)

施策名	0304	循環型社会の一層の推進
------------	------	-------------

施策担当課	市民福祉部・生活環境課	
担当部長職・氏名	市民福祉部長 竹原信寿	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0304	循環型社会の一層の推進
	⑤目指す将来の姿	-	市民一人ひとりが「もったいない」を心がけたライフスタイルを取り入れ、豊かな自然と快適な地域社会の共存が実現しています。

2. 取り組み方針

	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの統一分別ルール の周知徹底を図るとともに、事業系ごみの適正な出し方についての周知徹底も図り、ごみの総排出量を減少させ、環境負荷の低い地域社会の実現を目指します。 ・生ごみの堆肥化を推進するとともに、集団資源回収活動を奨励し、循環型社会の確立を目指します。
--	--

3. 主要事業の取り組み内容

	<p>ごみの減量化と循環型社会の確立を目指し</p> <p>①ごみの分け方・出し方のルールの徹底 (家庭系、事業系) ②リサイクル推進による資源化率の向上 ③3Rの啓発と推進 ④家庭系ごみ・事業系ごみの減量化 ⑤資源ごみの集団回収活動の奨励 を実施します。</p>
--	---

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段: 指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「環境保全政策の充実」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	76.1	76.1	76.1	76.1
	※まちづくりアンケート (ウェイト平均の100点換算) 後期計画変更			実績値	69.1	71	70.1		
2	ごみの総排出量	成果	t	目標値	28,877	30,201	29,233	28,265	27,297
	※家庭系ごみ・事業系ごみ・資源ごみ			実績値	29,540	29,744	28,422		
3	市民1人/1日当たりのごみの排出量	成果	g	目標値	915	941	929	917	905
	※1年につき11g削減 (H31⇒H30数値)			実績値	933	951	929		
4	ごみの資源化率	成果	%	目標値	19.8	21.5	22.2	22.9	23.6
	※1年につき0.8%増加 (H31⇒H30数値)			実績値	19.1	19.9	19.5		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	72,867	80,380
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	369,300	7,400	0	130,600	144,600
	(d) 使用料・手数料	226,225	227,566	227,339	228,564	243,135
	(e) その他特定財源	40,099	57,966	93,802	78,446	59,029
	(f) 一般財源	621,893	804,521	635,069	861,826	673,343
事業費の小計		1,257,517	1,097,453	956,210	1,372,303	1,200,487

6. 施策の達成状況

①成果の分析	ごみの排出量は、コロナウイルス感染症の影響で外出が制限されたことにより、家の片づけごみの持ち込みが増えた時期もあったが、現在は以前に戻りつつある。逆に不況により事業系一般廃棄物の持ち込みが減ったこともあり、全体的に見ても微量であるが減りつつある。指標の実績としては目標に達していない項目もあるが、成果は上がっていると判断している。
②施策の有効性	循環型社会を実現するためには必要不可欠であり、市民ニーズの高い施策である。
③施策内事業の妥当性	事業内容や実施方法に検討の余地はあるものの、妥当である。
④実施可能な改善内容	ごみの分別のほか、減量化や資源化を更に市民に意識し行動してもらえよう、出前講座などを開催し周知に努める。「プラスチック資源循環法（廃プラ新法）」へ対応するため、循環型社会形成推進地域計画とペットボトル等処理センター施設基本計画に基づき、施設の移転・機器の更新整備、機能強化を図り、令和5年度建築工事に着手する。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上	★		
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	「プラスチック資源循環法（廃プラ新法）」に対応するため、施設の移転・圧縮梱包機など機器の更新を図り、機能強化を図る必要がある。同時にプラスチック容器包装類やペットボトルを含むプラスチック製品の分別、収集運搬について市民へ周知していかなければならない。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	04	02	01	02	187	746	726	1,237	1,102	-	-	-
	清掃総務管理費											
2	04	02	02	01	363,525	368,802	393,180	405,150	396,031	→	→	94
	ごみ収集費											
3	04	02	02	02	361,297	450,777	445,655	472,737	460,754	-	-	-
	クリーンプラザよこて費											
4	04	02	02	03	52,200	184,022	35,557	64,458	30,140	→	→	97
	最終処分場管理運営費											
5	04	02	02	04	25,193	25,877	23,444	122,428	22,368	↑	→	88
	ペットボトル等処理センター費											
6	06	01	09	07	54,356	67,229	51,048	55,138	48,952	→	→	87
	地域資源循環施設費											
7	04	02	02	05	0	0	6,600	251,155	241,140	↑	→	88
	ペットボトル等処理センター整備事業											
					0	0	6,600	47,688	16,160			

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成 (評価対象: 令和 4年度)

施策名	0305	地球温暖化対策の推進
-----	------	------------

施策担当課	市民福祉部・生活環境課	
担当部長職・氏名	市民福祉部長 竹原信寿	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり
基本計画	③政策	03	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
	④施策	0305	地球温暖化対策の推進
	⑤目指す将来の姿	-	地域にある再生可能エネルギーが公共施設、個人住宅、事業所等において有効活用されています。

2. 取り組み方針

<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設での省エネルギー活動の推進と施設への再生可能エネルギー利用を継続します。 ・「クリーンプラザよこて」等で発電したクリーンエネルギー電力を市内小中学校に配電し、エネルギーの地産地消を図るとともに、温室効果ガスの排出量削減に努めます。 ・市民や事業所に対して、地球温暖化防止対策の推進を促す啓発を行います。
--

3. 主要事業の取り組み内容

地球温暖化防止対策の推進を図るため	①再生可能エネルギーの普及拡大 ②CO2削減に向けたエネルギーの有効活用推進 ③再生可能エネルギー設備導入事業の推進 ④カーボンオフセット地球温暖化対策事業 ⑤エネルギーの地産地消による温室効果ガスの排出削減 を実践します。
-------------------	--

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段: 指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「地球温暖化防止活動の推進」に対する市民満足度	成果	点	目標値	-	72.2	72.2	72.2	72.2
	※まちづくりアンケート(ウェイト平均の100点換算)後期計画変更			実績値	66.1	67	63.8		
2	市公共施設の再生可能エネルギー(地中熱利用)設備導入箇所数	成果	箇所	目標値	-	4	4	4	4
	※市公共施設への導入実績			実績値	-	1	-		
3	市公共施設の温室効果ガス排出量	成果	tCO2	目標値	24,122	16,500	16,300	16,100	15,900
	※省エネルギー法定期報告数値(H31⇒H30数値)			実績値	未確定	未確定	16,557		
4	電力の地産地消率(クリーンプラザよこて)	成果	%	目標値	-	63.2	63.4	63.6	63.8
	※ごみ発電量に対する市内公共施設での使用割合			実績値	-	77.2	77.4		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,673	458	1,406	1,653	1,730
事業費の小計		1,673	458	1,406	1,653	1,730

6. 施策の達成状況

①成果の分析	指標における実績は概ね目標を達成している。長期的な取り組みにより、その効果・結果が表れるものである。
②施策の有効性	豊かで美しい自然環境を守るとともに、SDGsの目標や地球温暖化防止への取り組みとして有効な施策である。
③施策内事業の妥当性	世界規模での対策が取りざたされているなか、当市の事業については今後さらなる工夫が必要であるが、現状では妥当である。
④実施可能な改善内容	世界情勢の変化により、電気料の値上げなどが加速化したことにより、再生可能エネルギー設備導入への補助事業が注視され、今後も見直しを行いながら社会ニーズに合った補助対象事業を検討していく。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上	★		
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	良好な自然環境を次世代へ引き継ぐことは、行政の責任として取り組まなければならないものとする。また、そのためには継続した長期的な取り組みが求められる。当市において、適当な再生可能エネルギーを見つけ出すことは容易ではないものの、横手市地球温暖化対策区域施策編を策定し、違った方向からの事業展開を考えながら、市民への意識付けを行っていく必要がある。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	04	01	07	06	1,493	263	1,211	1,386	1,386	→	→	77
	地球温暖化対策事業											
	生活環境課				1,493	263	1,211	1,386	1,386			
2	06	02	01	03	180	195	195	267	344	-	-	-
	カーボンオフセット地球温暖化対策事業											
	農林整備課				180	195	195	267	344			

令和 5 年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成 (評価対象: 令和 4年度)

施策名	0401	魅力ある農林業の振興
-----	------	------------

施策担当課	農林部・農業振興課	
担当部長職・氏名	農林部長 佐々木 健悦	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	—	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	—	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	魅力ある農林業の振興
	⑤目指す将来の姿	—	農業の担い手が育ち、地域内で農業を営む仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。

2. 取り組み方針

将来の横手市農業を支える担い手の確保・育成や営農定着支援と生産基盤の整備を進め、農業経営の基盤強化を図るとともに、地域の特性を活かした収益性の高い作物の生産や付加価値の高い農産加工品の創出に努めることで、地域農業の活性化を図り「日本一の複合農業産地」を目指します。

また、農業団体や大学等の研究機関などとも連携し地域課題の解決に努めるとともに、小規模農業者の支援や中山間などの条件不利農地の維持に向けた支援を含め、持続的な横手市農業及び農業・農村の維持に向け、農地や森林の地域資源を最大限に活用し保全・管理に努めます。

3. 主要事業の取り組み内容

- ①地域の中心経営体への農地集積に向けた取組強化と、圃場整備事業やかんがい排水事業などの農業インフラ整備の促進。
- ②経営所得安定対策を着実に実施するとともに、需要に応じた質の高い米生産と新規需要米などへの作付転換の推進。
- ③日本一の複合農業産地の実現と持続可能な農業産地の確立に向け、農地フル活用のための多様な経営体支援施策の推進。
- ④担い手確保や高齢化などの課題解決に向け、作業の省力化、効率化、農産物の高品質化のためのスマート農業技術の活用を推進。
- ⑤園芸振興拠点センター機能を活用し、担い手や労働力の確保と育成、営農定着支援、有望品目の選抜や6次産業化支援を図る。
- ⑥森林環境譲与税を有効活用し、民有林の整備、再造林による森林環境の保全と木育などによる人材育成を推進。
- ⑦県や関係団体と連携して有害鳥獣対策を的確に実施し、市民の安全確保と農畜産物などへの被害の軽減を図る。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段: 指標の取得方法	種別	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「農林業の振興」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	68.9	68.9	68.9
	※まちづくりアンケート(ウェイト平均の100点換算)後期計画変更			実績値	63.3	64	60.3	
2	新規就農者数(年間)	成果	人	目標値	30	30	30	30
	※業務取得			実績値	35	43	45	
3	農業産出額	成果	億円	目標値	257	304	308	312
	※業務取得(前々々年度推計値3月公表)			実績値	296	294	262	
4	農業法人数	成果	法人	目標値	100	122	124	126
	※業務取得			実績値	123	127	128	
5	担い手への農地集積率	成果	%	目標値	85	76	78	80
	※担い手農地利用状況調査			実績値	82.55	84.78	85.04	
6	ほ場整備率(30a以上)	成果	%	目標値	94	96.4	96.5	96.6
	※農業農村整備事業管理計画に基づき順調に推移した割合			実績値	96.1	96.8	97.3	

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	1,722	0	60,633	0	0
	(b) 県支出金	1,122,767	1,988,380	905,100	904,054	968,619
	(c) 地方債	429,900	576,100	367,000	214,300	305,900
	(d) 使用料・手数料	2,862	2,685	3,267	2,182	2,282
	(e) その他特定財源	525,594	838,193	833,127	864,977	846,810
	(f) 一般財源	641,420	1,000,077	845,489	740,728	798,546
事業費の小計		2,724,265	4,405,435	3,014,616	2,726,241	2,922,157

6. 施策の達成状況

①成果の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・農業産出額は令和2年度の大雪による雪害の影響で目標を下回ったものの、県内では野菜、果実が1位、コメ、畜産、花卉が2位などトータルで8年連続の1位となり、その他の指標はおおむね目標を達成し順調に推移している。 ・従前からの複合農業の推進施策や就農支援のほか、農業用施設や果樹への雪害復旧支援、小規模農家や中山間地域での営農継続支援などの各種事業の成果が表れているものと判断している。
②施策の有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・大雪被害や米価下落などの影響を受けながらも、作付面積は大きく減少せず営農が継続されている。 ・園芸振興拠点センターを核とした就農支援事業の充実や、県などと連携した経営支援、法人化支援の取り組みにより、将来を担う農業者の育成と確保が図られ、県内一の新規就農者を維持している。 ・大規模圃場や水利施設の整備などの生産基盤整備を推進するとともに、JAなどの関係機関と連携したアクションプランの実行により、高収益作物の振興と複合化の推進による農業所得の向上が図られている。
③施策内事業の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次農業振興計画に基づき、多様な経営体の育成、生産基盤の強化、地域特性を活かした農業の推進、ブランド化と産地づくりの推進、農林業・農村の多面的機能の発揮の5つの柱に沿って施策を実施している。 ・指標目標に対する実績はおおむね順調に推移しているが、今後も気象災害や社会情勢による農業経営への影響等を考慮し、事業構成や方向性について適宜検証を行い、見直しを図る必要がある。
④実施可能な改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・複合農業産地の更なる推進に向けて、社会情勢の変化などを的確に捉えながら県やJA等の関係団体との連携の下、各種支援事業の適宜見直しを行っていく。 ・担い手の確保・育成、労働力確保とともに、作業の効率化や高品質化、労働力確保を支援する事業の充実を図る。農業の新たな価値創造、所得確保に向けた6次産業化推進の取組支援を強化する。 ・森林環境の適正化や森林資源の利活用に向けて、森林環境譲与税の有効活用に努める。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上		★	
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍による米価の低迷や社会情勢不安による物価高騰、生産費の上昇などで、農業経営に厳しい状況が続く中、営農継続への支援と耕作放棄地の拡大防止を目的とした施策を柱とし、各種事業の見直しを行い成果の向上を目指すことによって、産地としての地位向上と地域の維持に繋げていく必要がある。 ・地域の中心経営体への農地集積が進み、経営体ごとの経営規模が拡大していることを踏まえ、市の基幹産業としての複合農業産地の確立に向けて、更なる農業生産基盤の整備と担い手となる経営体の育成・組織化の推進、スマート農業技術の普及による作業の効率化・省力化と農産物の高品質化が図られる取組への支援を強化する必要がある、 ・将来の横手市農業を牽引する担い手の確保と営農定着を図るため、幅広い年代層の就農支援に取り組むとともに、規模拡大や6次産業化などを含む意欲的な取組を後押しできるよう、農業者等が魅力を感じ、利用しやすい支援事業への見直しを行う必要がある。 ・森林が有する公益的機能の維持増進と森林環境の適正化、木材の利活用の促進に向けた施策などの推進に向けて、森林環境譲与税の有効活用に努める必要がある。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	06	01	01	02	22,546	22,666	21,809	22,735	23,221	-	-	-
	農業委員費											
	農業委員会事務局				22,546	22,666	21,809	22,735	23,221			
2	06	01	01	03	4,314	4,261	4,807	17,242	4,705	-	-	-
	農業委員会事務局費											
	農業委員会事務局				4,314	4,261	4,249	4,427	4,458			
3	06	01	01	04	2,317	2,585	2,714	2,863	2,829	-	-	-
	農業者年金受託事業											
	農業委員会事務局				427	45	432	639	448			
4	06	01	01	98	164	165	173	0	191	-	-	-
	公社特例事業											
	農業委員会事務局				0	5	1	0	10			
5	06	01	02	02	19,682	19,518	18,044	26,144	24,789	-	-	-
	農業総務事務費											
	農業振興課				19,682	19,518	18,044	26,144	24,789			
6	06	01	03	01	686	681	675	703	703	-	-	-
	農業振興センター事業費											
	農業振興課				686	681	675	703	703			
7	06	01	03	96	0	10,581	7,019	0	0	-	-	-
	農業振興地域整備計画策定事業											
	農業振興課				0	10,581	7,019	0	0			
8	06	01	03	02	3,245	2,519	3,088	3,048	3,208	→	→	75
	農業指導センター事業費											
	農業振興課				3,245	2,519	3,088	3,048	3,208			
9	06	01	03	03	567,120	907,020	931,238	913,784	989,745	→	→	87
	農業経営支援事業											
	農業振興課				3,979	6,967	14,904	25,104	32,600			
10	06	01	03	04	89,680	85,212	86,045	89,527	91,267	-	-	-
	直接支払交付金事業											
	農業振興課				22,719	21,798	21,858	22,733	23,168			
11	06	01	03	05	428,433	1,187,282	54,817	75,533	85,870	→	→	83
	作物振興事業											
	農業振興課				17,589	33,213	33,747	33,625	45,870			
12	06	01	03	06	72,201	64,357	57,191	70,387	74,316	↑	↑	90
	就農支援事業											
	食農推進課				12,431	11,300	6,984	12,610	12,636			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
13	06	01	03	07	4,308	3,054	26,450	34,812	5,000	↓	↓	84
	果樹振興事業											
	農業振興課				4,308	3,054	10,771	14,765	0			
14	06	01	03	08	8,462	5,962	25,680	17,841	12,140	→	↑	81
	横手農業ブランド創造事業											
	食農推進課				8,462	5,962	13,681	16,594	12,140			
15	06	01	03	09	2,528	2,998	15,338	2,296	1,500	→	→	77
	発酵文化のまちづくり事業											
	食農推進課				2,528	2,998	15,338	2,296	1,500			
16	06	01	03	11	838	476	762	1,223	1,144	→	→	76
	グリーンツーリズム推進事業											
	農業振興課				838	476	762	1,223	1,144			
17	06	01	03	12	272	192	247	247	247	→	→	79
	機能合体事業											
	農業振興課				0	0	0	0	0			
18	06	01	03	13	47,407	83,177	69,501	64,770	80,466	→	→	76
	果樹等自然災害復旧対策事業											
	農業振興課				47,407	83,177	69,501	64,770	80,466			
19	06	01	03	14	45,455	0	851	1,086	1,099	→	→	70
	地域活性化イベント費											
	農業振興課				45,455	0	851	1,086	1,099			
20	06	01	04	01	57,444	46,266	45,266	46,400	56,925	→	→	80
	産地づくり事業											
	農業振興課				57,444	46,266	45,266	46,400	56,925			
21	06	01	04	02	24,032	23,714	22,913	22,670	24,066	→	→	79
	経営所得安定対策推進事業											
	農業振興課				122	270	0	300	265			
22	06	01	04	03	11,466	11,298	11,316	11,545	11,545	→	→	87
	水田活用推進事業											
	農業振興課				11,466	11,298	11,316	11,545	11,545			
23	06	01	05	01	17,280	11,685	11,685	11,685	11,935	→	→	83
	農作物防除推進対策費											
	農業振興課				17,280	11,685	11,685	11,685	11,935			
24	06	01	06	01	1,607	885	6,814	1,263	1,291	↓	→	76
	家畜伝染病予防対策事業											
	農業振興課				1,607	885	6,814	1,263	1,291			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
25	06	01	06	02	1,431	1,449	1,499	1,575	1,575	→	→	68
	子牛生産奨励事業											
	農業振興課				1,431	1,449	1,499	1,575	1,575			
26	06	01	07	01	930	685	953	816	665	-	-	-
	農業経営利子補給事業											
	農業振興課				432	301	366	312	247			
27	06	01	08	01	12,869	16,757	13,143	14,600	13,489	→	→	90
	農地総務事務費											
	農林整備課				12,855	12,743	13,129	13,686	13,475			
28	06	01	08	02	2,640	2,640	3,130	2,775	4,675	→	→	85
	高度土地利用調整事業											
	農林整備課				825	825	950	825	1,400			
29	06	01	08	03	347,585	331,308	280,061	152,811	191,157	→	→	89
	農業生産基盤整備事業											
	農林整備課				24,375	19,993	18,145	26,936	8,057			
30	06	01	08	04	26,346	37,348	82,460	99,007	179,300	↑	→	93
	かんがい排水事業											
	農林整備課				7,346	19,248	45,660	36,007	69,800			
31	06	01	08	05	48,997	30,701	38,838	36,246	6,681	↓	→	93
	ため池整備事業											
	農林整備課				3,297	6,711	1,138	3,846	981			
32	06	01	08	06	2,474	2,539	2,596	2,845	2,845	→	→	83
	基幹水利施設管理事業											
	農林整備課				376	424	433	599	505			
33	06	01	08	07	1,345	1,313	1,313	1,365	1,330	→	→	79
	土壌汚染対策事業											
	農業振興課				1,345	1,313	1,313	1,365	1,330			
34	06	01	08	97	101	109	102	0	104	-	-	-
	農道整備事業											
	山内地域課				101	109	102	0	104			
35	06	01	08	08	369	394	398	398	398	-	-	-
	大戸堰管理費											
	平鹿地域課				369	394	398	398	398			
36	06	01	08	09	621,932	616,253	613,129	629,260	629,308	-	-	-
	多面的機能支払交付金事業											
	農林整備課				155,193	154,220	152,934	157,526	157,574			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
37	06	01	08	10	723	545	496	668	639	-	-	-
	市民農園費											
	農業振興課				588	404	375	528	499			
38	06	01	09	01	3,257	3,270	2,619	1,940	2,054	-	-	-
	就業改善センター費											
	農業振興課				2,486	2,668	2,220	1,880	1,950			
39	06	01	09	02	643	518	465	512	568	-	-	-
	生活改善センター費											
	山内地域課				642	518	465	511	567			
40	06	01	09	03	9,315	2,602	2,334	3,893	2,377	-	-	-
	大雄農業団地センター費											
	大雄地域課				7,587	2,590	2,325	3,891	2,375			
41	06	01	09	05	5,549	5,844	31,355	6,025	6,057	→	→	77
	農産物加工・特産品生産振興施設費											
	農業振興課				4,571	4,820	24,219	5,044	5,026			
42	06	01	09	06	441	485	198	444	450	-	-	-
	泉の里地区水環境施設費											
	平鹿地域課				441	485	198	444	450			
43	06	01	09	97	4,739	3,955	4,252	0	0	-	-	-
	農村体験学習施設費											
	平鹿地域課				4,556	3,895	3,491	0	0			
44	06	01	09	08	3,903	4,218	4,402	4,535	4,330	-	-	-
	牧場費											
	農業振興課				3,331	3,725	3,908	4,035	3,830			
45	06	01	09	09	5,470	4,585	5,376	6,044	6,094	-	-	-
	死亡獣畜保冷施設費											
	農業振興課				4,520	3,538	4,499	5,142	5,191			
46	06	02	01	02	3,333	2,810	2,974	3,316	3,368	-	-	-
	林業総務事務費											
	農林整備課				3,333	2,810	2,974	3,316	3,368			
47	06	02	02	01	4,599	1,863	2,684	1,417	1,508	-	-	-
	林業振興総務費											
	農林整備課				1,568	1,145	563	880	608			
48	06	02	02	02	1,648	1,934	1,689	2,529	1,800	→	→	83
	民有林整備育成事業											
	農林整備課				845	0	275	2,029	1,300			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
49	06	02	02	03	42,649	66,279	61,805	134,144	90,050	→	→	93					
	造林事業費																
50	06	02	02	08	12,900	13,400	11,000	0	11,000	→	→	86					
	林道整備費																
51	06	02	02	04	38,172	31,589	38,654	26,627	41,500	→	→	87					
	林道維持補修費																
52	06	02	03	02	4,591	4,027	4,501	4,027	4,027	-	-	-					
	国産材需要開発センター費																
53	11	01	01	01	1,650	0	1,562	2,000	2,000	-	-	-					
	農地農業用施設災害復旧事業																
54	11	01	02	01	593	0	29,701	3,400	3,400	→	→	97					
	林業施設災害復旧事業																
55	06	01	03	15	47,031	44,462	43,971	54,909	51,650	→	→	90					
	よこて農業創生大学事業																
56	06	02	02	07	13,312	15,027	34,783	7,200	0	→	→	83					
	林道施設長寿命化事業																
57	06	01	03	16	5,455	6,152	4,482	3,400	4,600	→	→	82					
	果樹産地体質強化推進事業																
58	06	02	02	06	3,668	45,761	32,699	60,380	68,344	↑	↑	91					
	森林経営管理事業																
59	06	01	03	95	1,264	200	1,701	0	0	→	→	83					
	インドネシア農業交流支援事業																
60	06	01	03	19	0	215,846	142,185	0	0	↓	↓	83					
	地方創生臨時交付金事業																

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
61	06	01	03	17	0	17,491	40,492	4,617	50,000	→	→	83					
	スマート農業普及支援事業																
	農業振興課				0	5,780	4,096	4,617	0								
62	13	01	03	08	7,434	6,191	19,062	3	4,112	-	-	-					
	森林環境基金積立金																
	農林整備課				7,434	6,191	19,062	1	4,112								
63	06	01	03	18	0	574,432	3,600	3,750	10,000	→	→	79					
	農業災害等緊急支援事業																
	農業振興課				0	311,161	3,600	3,750	10,000								
64	06	01	06	03	0	164	23,509	10,959	12,500	→	→	79					
	畜産経営支援事業																
	農業振興課				0	164	15,938	959	2,500								

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成（評価対象：令和 4年度）

施策名	0402	活気ある商業の振興
------------	------	-----------

施策担当課	商工観光部・商工労働課
担当部長職・氏名	商工観光部長 佐藤和志

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0402	活気ある商業の振興
	⑤目指す将来の姿	-	地域に根ざした事業者と新規の起業・創業者がともに発展しながら、市内商業が賑わっています。

2. 取り組み方針

○中小商業・サービス業について、個々の事業者の経営強化や商店街等の魅力向上を目指す活動を支援します。また、空き店舗の利活用を促進し、市街地の活性化と地域に根ざした商業の振興に努めます。
○横手市創業支援事業計画に基づき、市内商工団体等と連携し地域における創業者を支援することで開業率の向上を目指し、雇用の確保・地域の活性化を目指します。
○起業者の段階に応じた多様性のある起業家支援施設を有効活用します。

3. 主要事業の取り組み内容

①誘客効果を高め、賑わい創出や販売促進につながる取り組みや商店街の環境整備に対する支援を行います。
②商店街等の空き店舗を活用して開業を希望する方への支援を行います。
③各支援機関が実施している事業継承支援事業と連携し、円滑な事業継承を後押しします。
④商工業振興のための核となる事業を展開する団体への支援を行うとともに、事業資金を必要とする市内中小企業等に対し、融資あっせんや利子補給事業を行います。
⑤若年者等の地元定着や起業家育成のための拠点施設を有効活用し、関係団体等と連携を図りながら事業推進します。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「商業の振興」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	66	66	66	66
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）後期計画変更			実績値	59.5	61.2	55.1		
2	市内事業所数（卸業・小売業）	成果	所	目標値	1,037	1,281	1,273	1,265	1,257
	※経済センサス（H31はH28経済センサ			実績値	1,325	1,325	1,325		
3	起業・創業支援事業等活用による起業業者数	成果	人	目標値	8	15	15	15	15
	※起業・創業支援事業等活用による起業業者数			実績値	11	6	13		
4	商い賑わい創出事業・空き店舗利活用事業の年間活用数	活動	件	目標値	25	25	25	25	25
	※商い賑わい創出事業・空き店舗利活用事業の年間活用数			実績値	3	11	8		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	665,478	286,243	402,746	5,500	5,500
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	1,082	1,045	2,740	977	1,177
	(e) その他特定財源	700,341	711,783	706,259	762,786	869,786
	(f) 一般財源	174,083	253,379	105,602	165,994	165,944
事業費の小計		1,540,984	1,252,450	1,217,347	935,257	1,042,407

6. 施策の達成状況

①成果の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響も起因してか、市民満足度は依然として低い状態であった。 ・年度内にコロナ禍の波があったものの、徐々に回復傾向となり、起業者数も増加に転じた。 ・空き店舗利活用事業は目標値に届かなかったものの、一定程度の活用実績となった。 ・コロナ禍での支援策により、事業所数の減とはならなかった。
②施策の有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、現状に即した商業振興事業の取組が重要であったことから、事業所等の経営安定策の実施や地域経済活性化のための支援策強化を行った。
③施策内事業の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響による地域経済回復のため、商工団体や金融機関等関係団体との連携を密にしながら事業を推進することができた。
④実施可能な改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・経常的な事務経費などの縮小を図りながら、事業の統廃合を検討する。 ・市商工業振興計画の着実な事業実施と進捗、効果の検証を適切に行い推進する。 ・きめ細かな起業支援を行いながら、併せて起業後の支援（伴走型）事業にも取り組みながら活気ある商業の振興を図る。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上		★	
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりアンケートによる結果から、市民満足度が依然として低い状態であり、またコロナ禍であるため、更なる成果等が求められている。 ・コロナ禍により疲弊した地域経済の回復に対する支援策が必要である。 ・市商工業振興計画の着実な事業実施と進捗、効果の検証を適切に行うことで「まちに元気とにぎわい」を創出するとともに、事業承継ならびに更なる起業・創業への後押し支援策が必要である。
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	07	01	01	02	803	1,263	1,132	3,186	1,239	-	-	-
	商工総務事務費											
2	07	01	02	01	820,157	764,044	753,219	860,000	967,100	→	→	86
	金融対策費											
3	07	01	02	02	26,448	31,144	30,235	30,950	31,720	→	→	83
	地域商業活性化支援事業											
4	07	01	02	03	1,000	1,000	1,780	2,000	3,500	→	→	83
	商工団体連携地域活性化事業											
5	07	01	02	04	2,017	1,986	1,955	2,054	2,051	-	-	-
	市場運営事業											
6	07	01	02	07	0	91	2,070	265	285	→	→	86
	山内杜氏組合支援事業											
7	07	01	04	03	5,129	5,191	4,679	4,725	4,755	-	-	-
	顧客利便施設費											
8	07	01	04	06	1,282	1,357	1,440	1,554	1,480	-	-	-
	コミュニティーラウンジ管理運営事業											
9	07	01	04	10	4,354	4,699	3,605	4,146	3,900	-	-	-
	商店街振興施設管理事業											
10	07	01	02	24	293,504	0	399,528	0	0	↓	↓	84
	地方創生臨時交付金事業											
11	07	01	02	08	0	10,074	17,704	26,377	26,377	→	↑	87
	起業・創業支援事業											

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成 (評価対象：令和 4年度)

施策名	0403	活力ある工業の振興
------------	------	-----------

施策担当課	商工観光部・商工労働課	
担当部長職・氏名	商工観光部長 佐藤 和志	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0403	活力ある工業の振興
	⑤目指す将来の姿	-	起業家から学べる場を提供するなどの施策により、起業・創業が活発化され、地域経済が活性化しています。市内企業の技術力・開発意欲が向上し、産業の発展とともに安心して働ける就業環境が整っています。

2. 取り組み方針

○産学官金連携により、専門的な立場からサポートを行い、魅力と活力ある企業集積地の構築と、持続的な産業振興を図ります。
○競争力の高い企業育成のため、企業の生産性の向上と高付加価値化を推進し、新製品、新技術の開発を支援することにより、地域産業の活性化と雇用創出に取り組みます。

3. 主要事業の取り組み内容

①新産業創出のため、産学官金の連携を行う企業への支援を推進します。
②市の製造業を牽引する輸送用機械器具製造業や地理的条件がハンデとならないIT・ソフトウェア関連産業の振興のための支援に取り組みます。
③地元企業の事業継続・拡大のための生産性向上につながる設備導入等の取り組みを支援します。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「工業の振興」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	66.9	66.9	66.9	66.9
	※まちづくりアンケート(ウェイト平均の100点換算)後期計画変更			実績値	60.6	63.2	57.7		
2	市内事業所数(製造業) (単位：事業所)	成果	所	目標値	158	185	184	183	182
	※工業統計調査(市区町村編)			実績値	183	未確定	未確定		
3	製造品出荷額等	成果	億円	目標値	1,424	1,568	1,615	1,664	1,713
	※工業統計調査(市区町村編)			実績値	1,271	未確定	未確定		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	19,747	1,917	0	0	0
	(b) 県支出金	4,056	3,358	4,229	2,850	4,354
	(c) 地方債	50,000	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	2,340	1,999	1,147	70	1,844
	(f) 一般財源	107,994	99,546	284,716	172,900	121,220
事業費の小計		184,137	106,820	290,092	175,820	127,418

6. 施策の達成状況

①成果の分析	<ul style="list-style-type: none"> 街づくりアンケートによる結果から、重要度に対し依然として満足度が低い状態である。 市内事業所数（製造業）は増加したものの、製造品出荷額等については目標値に届かなかった。
②施策の有効性	<ul style="list-style-type: none"> 市内事業者が抱える課題解決に向けた支援と生産性向上への意識の醸成、動機づけに資する施策を積極的に展開することができた。（横手市企業振興条例に基づく各種支援や企業支援アドバイザーによる技術指導等）
③施策内事業の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 企業が集積している輸送用機械器具製造業をはじめとする製造業や、地理的、気候的に左右されないITソフトウェア関連産業は市内総生産額や雇用規模が大きく、本市経済のけん引役産業であることから、更なる成長を促進する支援が必要。
④実施可能な改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 生産性向上への意識の醸成、動機づけに資する施策の展開が必要。 国、県等の助成制度や各種セミナーの開催など、有益な情報の積極的な提供が必要。 企業支援アドバイザーや大学等との連携による商品開発や取引先マッチングなど伴走型深堀支援が必要。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<ul style="list-style-type: none"> 市商工業振興計画の着実な事業実施と進捗、効果の検証を適切に行うことで「挑戦する事業者を支援、まちを豊かに」するとともに、市内製造業等の更なる成長支援策が必要。 引き続き、地域企業が連携、協力して生産に取り組める環境づくりと、課題解決や競争力強化のきめ細かな支援が必要。 横手市企業振興条例に基づく各種支援や企業支援アドバイザーによる技術指導等の継続が必要。 国、県等の助成制度や各種セミナーの開催など、有益な情報の積極的な提供が必要。
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	07	01	02	05	76,295	79,694	164,334	89,180	89,327	↑	→	86
	工業振興費											
2	07	01	02	22	89,495	3,834	93,033	50,000	0	↑	↑	86
	成長産業支援事業											
3	07	01	02	09	3,727	3,898	3,960	6,220	6,220	→	→	73
	新製品・新技術開発支援事業											
4	07	01	02	10	9,117	15,887	24,355	27,000	27,000	→	→	83
	中小企業活性化支援事業											
5	07	01	02	11	1,088	1,048	1,178	1,200	1,200	→	→	83
	機能合体事業											
6	07	01	02	16	4,415	2,459	3,232	2,220	3,671	-	-	-
	工業団地管理費											
					0	0	0	500	0			

令和 5 年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成 (評価対象: 令和 4年度)

施策名	0404	観光・物産資源の発掘と発信
------------	------	---------------

施策担当課	商工観光部・観光おもてなし課	
担当部長職・氏名	商工観光部長 佐藤 和志	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0404	観光・物産資源の発掘と発信
	⑤目指す将来の姿	-	国内外への戦略的な観光・物産PRと情報発信が行われ、おもてなしの心が市民一人ひとりに根差しています。観光・物産施策による経済効果で雇用が生まれ、所得も上がり市民生活が潤っています。

2. 取り組み方針

<p>魅力ある地域資源の発掘と磨き上げ、それらを活かした国内外への戦略的な観光・物産の情報発信や誘客を推進することで「横手ブランド」の創造を目指します。</p>
--

3. 主要事業の取り組み内容

<p>①安全安心な観光地として受入体制の強化を図ります。 ②DMOと連携して、地域の観光で稼ぐ力を高め、「観光地域づくり」を進めていきます。 ③横手市増田まんが美術館を中核とした全市回遊滞在型観光を進めていきます。 ④海外の学校及び民間事業者との連携を強化し、国際交流の促進、インバウンドの増加に繋げていきます。 ⑤よこてfun通信の発行や横手応援拠店を通して、横手ファンを獲得し、交流人口の増加と横手製品の販売促進に繋げていきます。 ⑥フェア等の販売促進活動や商談機会創出等による販路拡大支援を通して横手製品の認知度向上と事業者の所得向上を図ります。</p>

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段: 指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「観光の振興」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	66.7	66.7	66.7	66.7
	※まちづくりアンケート(ウェイト平均の100点換算)後期計画変更			実績値	61	62.2	58.6		
2	市内年間のべ宿泊者数	成果	千人	目標値	265	250	253	256	261
	※市内宿泊者施設聞き取りによる宿泊			実績値	165	193	202		
3	市内年間の観光入込客数	成果	千人	目標値	4,000	3,000	3,630	3,740	3,850
	※各種イベント、観光施設の入込調査の実数			実績値	2,731	2,131	2,563		
4	よこてfun通信読者数	成果	人	目標値	-	11,000	11,500	12,000	12,500
	※よこてfun通信読者の実数			実績値	9,919	10,561	11,043		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	111,379	11,900	50,050	1,229	5,038
	(b) 県支出金	3,104	2,972	2,431	5,450	2,451
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	2,223	1,255	1,967	2,389	4,059
	(e) その他特定財源	2,812	1,350	1,471	2,636	3,145
	(f) 一般財源	451,449	460,095	503,512	489,253	451,530
事業費の小計		570,967	477,572	559,431	500,957	466,223

6. 施策の達成状況

①成果の分析	<ul style="list-style-type: none"> 観光客が団体から個人・家族へと変化した中で、多様化する旅行ニーズへの対応やWiFiやSNS等の活用により、市内回遊、滞在時間の延長に効果が出始めている。 対面による活動にシフトしたことで、市外の方々が横手の魅力に直接触れる機会を創出することができ、物産活性化やファン拡大などに一定の成果を上げている。
②施策の有効性	<ul style="list-style-type: none"> 民俗伝統行事を含め、地域の資源を活かした観光による地域づくりを行うことは、観光関連業種のみならず、地域の経済の活性化に有効であり、この地域に住むことへの誇りを内外に伝えていくことにも繋がる。 横手産品のPRや販促活動、商談機会創出による販路拡大支援は、市内事業者の事業継続や事業拡大に必要である。
③施策内事業の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 横手や横手産品の魅力を発掘・発信し、最終的には地域経済の活性化に繋げるための事業であり、適切な事業構成となっている。なお、今後の観光物産については、より一層各事業者、民間団体と連携して進めて行くことが必要となる。
④実施可能な改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 第3次観光振興計画の内容の具現化と期間内でのKPIの達成を目指し、適切にPDCAを回しながら観光業界の進化を促していく。また、必要なデータの収集分析に力を入れるとともに、国・県や先進自治体の情報にもアンテナを張り、行う政策がより相乗的な効果が出るように運用していく。 限られた経営資源を有効に活用するため、特定エリアでの集中的な事業展開を図っていく。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上	★		
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<p>○新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、経済活動が回復傾向にある中であって、観光・物産の取り組みを積極的に進めることによって地域経済好転のけん引となる必要があるとともに、物価高騰や事業の担い手不足の問題を解決し持続可能な仕組みを目指すためにも行政が支援していかなくてはならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史、文化、食、伝統芸能、マンガなど地域の資源をもっと活用し、地域の賑わいと活性化を生み出すように多種多様な分野と連携を強化していくことが必要である。 観光誘客や物産の売込みについては、「量」から「質」への転換を図りながらターゲットを明確にし、実際に来ていただいたり、買っていただいた方の満足度を高めることによりリピーターになっていただく方策を進めて行かなくてはならない。 2025年の大阪・関西万博を見据えて、インバウンドを含む誘客事業の強化に取り組む必要がある。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	07	01	02	06	1,791	667	489	626	678	-	-	-
	山内地場産品直売施設費											
	山内地域課				1,791	667	489	626	678			
2	07	01	02	11	3,108	2,972	2,432	2,456	2,456	→	→	77
	機能合体事業											
	横手の魅力営業課				4	0	1	6	5			
3	07	01	02	12	1,735	1,641	1,747	1,906	1,878	-	-	-
	横手の魅力営業総務費											
	横手の魅力営業課				1,735	1,641	1,747	1,906	1,878			
4	07	01	02	14	5,334	4,536	7,500	9,805	10,364	↑	↑	83
	横手産品販路拡大事業											
	横手の魅力営業課				5,334	4,536	7,500	9,805	10,364			
5	07	01	03	01	76,110	72,296	77,465	81,450	84,422	→	↑	81
	観光振興総務費											
	観光おもてなし課				67,292	72,083	77,252	78,237	84,209			
6	07	01	04	02	20,667	20,562	22,550	23,330	21,898	-	-	-
	横手駅東西交流施設費											
	観光おもてなし課				19,575	19,561	21,359	22,336	20,803			
7	07	01	04	04	6,012	5,588	5,886	6,243	6,360	-	-	-
	展望台費											
	観光おもてなし課				5,530	4,936	4,854	5,011	5,128			
8	07	01	04	01	52,473	52,810	53,913	52,138	51,851	-	-	-
	ふれあいセンターかまくら館費											
	観光おもてなし課				52,473	52,810	53,913	52,138	51,851			
9	07	01	04	07	4,191	4,191	5,764	4,191	4,191	-	-	-
	真人山荘費											
	増田地域課				4,191	4,191	5,764	4,191	4,191			
10	07	01	04	08	6,724	6,825	11,080	6,693	6,693	-	-	-
	ふれあい交流センター費											
	山内地域課				6,724	6,825	11,080	6,693	6,693			
11	07	01	04	09	16,937	15,328	19,682	16,242	16,177	→	→	71
	道の駅費											
	観光おもてなし課				16,937	15,328	19,682	16,242	16,177			
12	07	01	04	05	22,526	25,515	22,878	24,292	23,450	-	-	-
	増田のまちなみ観光施設費											
	増田地域課				21,870	25,040	22,071	23,262	20,750			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
13	07	01	05	01	27,609	44,389	45,090	29,038	25,015	→	→	65					
	温泉観光施設費																
	商工労働課				27,609	44,125	45,090	29,038	24,751								
14	07	01	05	02	1,128	197	67	1,861	1,990	-	-	-					
	源泉管理費																
	財産経営課				522	197	67	565	550								
15	07	01	05	03	156,144	149,344	137,099	155,840	153,058	→	→	56					
	市営温泉施設特別会計繰出金																
	商工労働課				156,144	149,344	137,099	155,840	153,058								
16	07	01	03	02	14,747	36,494	52,088	44,168	24,917	↑	↑	81					
	観光誘客推進事業																
	観光おもてなし課				14,235	24,594	42,530	42,679	19,619								
17	07	01	02	15	13,011	12,327	13,954	16,476	16,476	↑	↑	80					
	応援人口拡大事業																
	横手の魅力営業課				13,011	12,327	13,954	16,476	16,476								
18	07	01	03	04	3,000	2,529	6,700	1,240	0	→	→	72					
	よこて観光地域づくり推進事業																
	観光おもてなし課				3,000	2,529	6,700	1,240	0								
19	07	01	02	13	3,101	2,972	3,519	4,349	4,349	↑	↑	76					
	横手の物産活性化事業																
	横手の魅力営業課				3,101	2,972	3,519	4,349	4,349								
20	07	01	02	97	124,539	210,394	40,689	0	0	×	×	80					
	地方創生臨時交付金事業																
	横手の魅力営業課				21,277	57,918	2	0	0								
21	07	01	03	05	0	5,629	7,689	7,713	0	×	×	63					
	地域活性化起業人交流プログラム活用事業																
	観光おもてなし課				0	5,629	7,689	7,713	0								
22	07	01	02	20	0	10,105	11,592	900	0	↓	×	77					
	地方創生人材支援制度活用事業																
	横手の魅力営業課				0	10,105	11,592	900	0								
23	07	01	03	07	0	0	9,558	10,000	10,000	→	→	62					
	民間温泉施設支援事業																
	商工労働課				0	0	9,558	10,000	10,000								

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成（評価対象：令和 4年度）

施策名	0405	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策
------------	------	-------------------

施策担当課	商工観光部・商工労働課	
担当部長職・氏名	商工観光部長 佐藤 和志	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり
基本計画	③政策	04	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0405	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策
	⑤目指す将来の姿	-	企業立地の進展による産業集積により、多様な就業の場が確保されるとともに、将来を担う若年者の雇用の確保によって、多くの人が地元で活躍しています。

2. 取り組み方針

<p>横手市内に雇用の場を創出するため、秋田県や地元企業等と連携しながら新規企業を誘致するとともに、既存立地企業の事業拡大を目指します。特に若者の地元定着のため、多様な職場の確保と働き方改革の推進に取り組みます。</p>
--

3. 主要事業の取り組み内容

<p>①市、県、地元企業等の連携を図り共同で企業誘致を進めます。工業団地に「自動車関連産業」等の外貨を獲得できる業種の企業誘致を推進します。また、進出済み企業の経営持続と新たな地域内設備投資に資するよう、きめ細やかな支援を行います。</p> <p>②県、ハローワーク、商工団体等との連携により、求職者及び新規就職者の雇用拡大を図ります。</p> <p>③中学生、高校生、大学生向けの企業ガイダンスの開催、市内の企業情報・求人状況をワンストップで得られる就職情報総合ポータルサイトを通じて、地元企業及び今後操業予定にある県外企業の魅力を発信し、若者の地元定着を推進します。</p> <p>④多様な分野の新たな企業立地を目指すため、新たな工業団地造成を推進します。</p>
--

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「企業誘致の推進と雇用対策」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	62.5	62.5	62.5	62.5
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）後期計画変更			実績値	55.3	58.5	54.5		
2	操業中の誘致企業数	成果	社	目標値	60	59	60	61	62
	※横手市誘致企業一覧			実績値	57	58	57		
3	横手管内新卒者（高卒者）の県内就職希望者率	成果	%	目標値	65	65	65	65	65
	※新規高等学校卒業者の求職動向報告（ハローワークより）			実績値	59.2	76.6	69.5		
4	横手管内新卒者（高卒者）の県内就職内定率	成果	%	目標値	100	100	100	100	100
	※新規高卒者 求職・就職結締状一覧（秋田労働局調べ（HP））			実績値	100	99.4	100		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	80,607	568	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	38,900	24,100	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	269	323	365	150	90
	(e) その他特定財源	76,048	76,037	77,338	75,889	76,037
	(f) 一般財源	64,387	76,651	131,901	370,242	519,339
事業費の小計		179,604	257,718	210,172	446,281	595,466

6. 施策の達成状況

①成果の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化により新規高卒者数も年々減少してきている状況下、県内就職者数（率）も減少となった。 ・企業立地の進行により高度なスキルが要求されるような働く場が増加傾向にあり、大学生等の市内就職にも期待している。 ・横手第二工業団地への企業誘致が進んでいるが、誘致企業数の総数としては微増に留まっており目標には届いていない。社会状況や情勢変化を踏まえ誘致活動を進めていく必要がある。
②施策の有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用の場の確保は進んでいるものの、働き手となる労働人口の確保対策を再検討する必要がある。 ・当市の強みを生かした企業誘致や既存企業を支援することで、若者に選んでもらえる職場を創出することが重要である。 ・新たに誘致した企業と市内企業との連携した事業展開が期待できる。
③施策内事業の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、少子高齢化による生産年齢人口減少社会において、若者の地元定着に結びつけるためには魅力アップのため、更なるPRや事業展開が必要。
④実施可能な改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ活動への支援については、進学が多い大学等に絞った積極的な活用促進による地元回帰を目指すことが重要。 ・若者等の地元定着のため、県やハローワーク、商工団体等関係者と更なる連携が必要。 ・市内で今後操業予定にある県外企業のPRに力を入れ、スムーズに操業開始できるよう企業が求めるスキルを持った人材の確保をサポートしていく。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・市商工業振興計画の着実な事業実施と進捗、効果の検証を適切に行うことで「働く場を創出し、永く暮らし続けるまちに」、「横手の優秀な人材でまちを元気に」するため引き続きの支援、取り組みが必要。 ・企業誘致による多様な職場確保と、企業が求める人材確保への支援が求められている。 ・企業の成長に向けた支援や、企業誘致に力を入れ、大学生等のインターンシップ参加呼びかけや、高卒者への就職説明会等開催による市内就職を促す施策を強力的に行っていくことが重要。 <p>また、小、中学校の児童生徒へも地元の事業所の魅力を発信し、就業啓発による地元定着に結び付けが必要。</p>
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						コスト	活動	
	実施計画事業名称				事業費	事業費	事業費	事業費	事業費			
	担当課名				一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源			
1	05	01	01	01	96,280	96,415	96,687	91,928	96,967	→	→	83
	労政・雇用対策費											
2	05	01	01	02	2,441	1,832	1,191	1,651	1,702	-	-	-
	総合技能センター費											
3	05	01	01	03	4,040	4,572	3,806	4,737	4,737	→	→	83
	若年者等人財育成・地元定着支援事業											
4	05	01	02	01	26,084	25,909	29,126	32,084	20,645	-	-	-
	勤労者等福祉施設費											
5	07	01	02	18	1,279	2,827	2,887	3,014	3,502	→	→	75
	産業誘致対策事業											
6	07	01	02	17	1,236	2,071	3,905	5,647	5,443	-	-	-
	企業誘致対策費											
7	07	01	02	19	38,985	24,140	21,295	27,220	27,220	→	→	73
	IT・ソフトウェア関連産業企業立地優遇制度助成事業											
8	07	01	02	97	0	11,283	670	0	0	→	→	75
	地方創生臨時交付金事業											
9	07	01	02	21	0	0	50,605	280,000	435,250	↑	→	86
	工業団地整備事業											

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成（評価対象：令和 4年度）

施策名	0501	雪国の快適な暮らしの実現
------------	------	--------------

施策担当課	建設部・建設課	
担当部長職・氏名	建設部長 山本 信夫	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0501	雪国の快適な暮らしの実現
	⑤目指す将来の姿	-	道路等のインフラ施設においては、冬期間の歩行者や車の安全な通行が確保され、市民生活においても、市民と行政、事業所の協働等により安全で快適な生活環境が実現されています。

2. 取り組み方針

雪対策については限られた財源の中で効率を重視するとともに、総合雪対策基本計画に基づき市民の安全で快適な冬期間の暮らしを実現するための各種施策を展開します。
また、市民との協働の視点到留意し、行政のみでは解決できない課題の解決に取り組みます。

3. 主要事業の取り組み内容

雪対策の推進	
1)	道路除排雪の効率化を図りつつ、安全で暮らしやすい雪みちを確保します。
2)	地域との協働による除排雪の取組みを進めるとともに、流雪溝使用時など雪国におけるマナー徹底のための啓発に努めます。
3)	安全で快適な雪国生活を送ることができるよう、雪下ろしなどの負担が少ない住環境整備の支援を進めます。

4. 指標の目標と推移

No	指標名	※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	市の雪対策（道路除排雪事業）への満足度		成果	点	目標値	増加	65.3	65.3	65.3	65.3
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）後期計画変更	実績値			54.3	56.8	54.1			
2	道路除雪に関する早朝出勤日あたりの苦情件数		成果	件	目標値	0	0	0	0	0
	※業務取得（苦情件数／早朝出勤回数）	実績値			13.29	5.59	5.59			
3	除雪活動団体数（補助金交付団体数）		活動	団体	目標値	308	300	300	300	300
	※業務取得	実績値			301	303	302			
					目標値					
					実績値					
					目標値					
					実績値					
					目標値					
					実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	562,314	534,328	425,234	104,970	111,836
	(b) 県支出金	1,931	1,933	1,593	1,735	1,735
	(c) 地方債	51,100	89,200	149,000	76,900	51,500
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	13,535	14,370	13,628	13,645	14,059
	(f) 一般財源	2,342,566	2,279,070	1,918,257	1,339,321	1,136,253
事業費の小計		2,971,446	2,918,901	2,507,712	1,536,571	1,315,383

6. 施策の達成状況

①成果の分析	・結果的には昨年度と比較すると雪は少なかったが、油断せず、丁寧に事業を実施し、概ね目標を達成できた。
②施策の有効性	・冬期間における歩行者や車両等の安全な通行を確保するとともに、住民の快適な生活環境を実現するために有効な施策である。
③施策内事業の妥当性	・市民生活と産業を支える道路交通の確保と安全安心な雪国の暮らしの支援のために必要不可欠な事業であると考えます。
④実施可能な改善内容	「総合雪対策基本計画」のアクションプログラムを着実に実現していく。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上			
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が進む中でも現在の都市構造のままでは除雪路線の延長も未だ縮小できる状況ではなく、コストの維持はやむを得ないものとなっている。 ・市民も雪対策は重要と認識しており、「総合雪対策基本計画」アクションプログラムに基づき、雪国での安全で快適な暮らしの実現に向け着実に各事業を実行していくことが重要と考える。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	02	01	08	08	111	45	188	224	224	→	→	75
	雪となかよく暮らす条例推進事業											
	地域づくり支援課				111	45	188	224	224			
2	08	02	05	01	2,674,825	2,570,605	2,045,423	1,053,728	1,055,307	→	→	94
	道路等除雪費											
	建設課				2,212,876	2,168,973	1,724,118	1,052,578	1,054,157			
3	08	02	05	02	152,095	194,535	150,119	144,300	154,600	→	→	94
	除雪機械購入費											
	建設課				1,049	1,806	1,927	0	34			
4	08	02	05	03	108,813	103,225	196,784	84,369	61,665	→	→	94
	克雪施設(流雪溝・消雪パイプ・消融雪溝等)管理費											
	建設課				95,278	66,355	84,456	41,924	47,606			
5	08	02	05	04	22,494	24,884	26,689	22,050	17,947	→	→	90
	町内会等除雪活動費											
	建設課				22,494	24,884	26,689	22,050	17,947			
6	08	05	01	04	9,308	22,007	19,463	19,800	19,800	→	→	86
	雪国よこて安全安心住宅普及促進事業											
	建築住宅課				9,308	15,582	13,613	13,950	13,950			
7	08	05	01	05	3,800	3,600	2,840	5,840	5,840	→	→	87
	木造住宅耐震改修等事業											
	建築住宅課				1,450	1,425	1,060	2,335	2,335			
8	08	02	05	05	0	0	66,206	206,260	0	×	×	93
	雪捨場用地取得事業											
	建設課				0	0	66,206	206,260	0			

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成 (評価対象: 令和 4年度)

施策名	0502	快適な移動空間の実現
------------	------	------------

施策担当課	建設部・建設課	
担当部長職・氏名	建設部長 山本 信夫	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0502	快適な移動空間の実現
	⑤目指す将来の姿	-	誰もが安全に通行できる道路環境が整備され、また、広域交通網とのアクセス環境が向上して市内全域が高速交通体系の利益を享受できています。

2. 取り組み方針

道路・橋梁などのインフラ資産については、安全な交通を確保するためにも定期点検を実施し、施設の状況把握を行いながら適正な維持修繕や施設の更新を計画的に実施します。
また、限られた財源ですが、維持修繕に重点をおきながらも必要な道路整備などを計画的に実施します。

3. 主要事業の取り組み内容

- 1) 道路・橋りょう等の適正な維持管理と長寿命化
- 2) 主要幹線道路の整備促進
- 3) 生活道路や通学路等の整備

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段: 指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「道路網の整備」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	64.5	65.5	66.5	67.5
	※まちづくりアンケート(ウェイト平均の100点換算)後期計画変更			実績値	61.1	61.8	58		
2	道路維持管理の瑕疵により発生した事故に関する損害賠償件数	成果	件	目標値	0	0	0	0	0
	※業務取得			実績値	6	7	1		
3	横手IC及び横手北ICの1日あたりの平均利用台数	成果	台	目標値	-	6,470	6,470	6,470	6,470
	※業務取得(インターチェンジゲート通過台数)			実績値	5,130	5,136	5,611		
4	幹線市道路面状況調査の実施率	活動	%	目標値	-	40	60	80	100
	※業務取得(路面状況調査)			実績値	20.05	40.02	59.95		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	306,511	258,608	367,714	358,910	349,207
	(b) 県支出金	0	0	0	1,649	1,649
	(c) 地方債	417,800	490,100	584,800	807,900	857,000
	(d) 使用料・手数料	15,790	18,960	16,891	16,102	14,447
	(e) その他特定財源	9,705	8,576	8,631	8,584	8,555
	(f) 一般財源	525,029	521,568	526,651	669,366	730,083
事業費の小計		1,274,835	1,297,812	1,504,687	1,862,511	1,960,941

6. 施策の達成状況

①成果の分析	・目標値には達していないが、前年度と比較すると着実に成果が出ている。
②施策の有効性	・安全安心で快適な市民生活の確保と産業活動の推進のため、道路の整備と維持管理は有効かつ重要な施策であると考ええる。
③施策内事業の妥当性	・社会基盤である道路や街路等の整備とその維持管理は市の根幹をなし、必要不可欠な事業の一つであると考ええる。
④実施可能な改善内容	・老朽化による不具合が場合によっては利用者の生命に直結する橋梁等の構造物の長寿命化により重点的かつ計画的に取り組む必要がある。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上	★		
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	・社会全体が「新規整備」から「維持補修」へと大きく舵を切る中、当市においても安全安心で快適な市民生活の確保と産業活動の推進のためには、街路・道路の整備だけではなく維持補修や各構造物の長寿命化を計画的かつ効率的に進める必要がある。
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	08	01	01	02	11,392	11,922	13,299	14,165	15,201	-	-	-
	土木総務管理費											
2	08	02	01	03	15,400	19,360	18,920	20,000	20,000	→	→	97
	道路台帳補正費											
3	08	02	01	02	8,501	9,051	17,966	10,851	9,716	→	→	87
	道路橋りょう総務管理費											
4	08	02	01	04	1,010	1,157	1,050	1,351	1,351	-	-	-
	駅前自転車駐車場維持管理費											
5	08	02	02	01	210,231	233,921	207,841	287,041	322,757	→	→	94
	道路維持管理費											
6	08	02	02	03	80,238	104,581	126,810	120,775	120,775	→	→	87
	街路灯・防犯灯管理費											
7	08	02	03	02	369,640	280,603	302,868	506,050	736,141	↑	↑	97
	道路新設改良単独事業											
8	08	02	03	03	340,490	435,137	500,163	517,000	501,000	→	→	97
	社会資本整備総合交付金等事業(道路)											
9	08	02	04	01	219,368	83,031	278,307	231,100	230,000	→	→	100
	道路メンテナンス補助事業(橋りょう維持)											
10	11	02	01	01	8,592	6,001	0	4,000	4,000	-	-	-
	道路橋りょう災害復旧事業											
11	08	04	03	01	9,973	5,830	28,516	24,120	0	→	→	94
	地方街路整備事業											
12	08	02	01	05	0	0	8,947	126,058	0	×	×	90
	秋田自動車道4車線化対応事業											

令和 5 年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成 (評価対象: 令和 4年度)

施策名	0503	市民が利用しやすい公共交通の充実
------------	------	------------------

施策担当課	総務企画部・経営企画課	
担当部長職・氏名	総務企画部長 小玉幸平	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0503	市民が利用しやすい公共交通の充実
	⑤目指す将来の姿	-	市民が日常生活を営む上で支障なく移動手段が確保されています。

2. 取り組み方針

「乗って守る」という意識の共有のもと、地域住民や行政、交通事業者などの多様な関係者が協働・連携しながら、地域の足である公共交通の維持・確保を図るとともに、デジタル技術を活用した先進的な取組にも目を向け、人口減少社会においても持続可能な公共交通システムの構築を目指します。

3. 主要事業の取り組み内容

地域の足を確保・維持するため

①生活バス路線の運行維持に向けた事業者への支援

②路線バス網の間をカバーする横手デマンド交通や横手市循環バス、自家用旅客有償運送などの運行

③JR北上線利用促進や奥羽・羽越新幹線整備に向けた関係団体との連携活動を実施します。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段: 指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「公共交通機関の利便性の向上」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	64.5	64.5	64.5	64.5
	※まちづくりアンケート(ウェイト平均の100点換算)後期計画変更			実績値	58.8	59.3	53		
2	民間路線バス年間利用者数	成果	人	目標値	658,500	472,900	463,400	454,100	445,000
	※羽後交通(株)全営業所の路線バス			実績値	403,462	375,894	347,443		
3	循環バス 年間利用者人数	成果	人	目標値	41,500	43,700	43,700	43,700	43,700
	※【3月期】			実績値	30,086	36,367	41,505		
4	デマンド交通 年間利用人数	成果	人	目標値	48,200	39,700	39,700	39,700	39,700
	※【3月期】			実績値	35,645	36,150	34,874		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	2,280	0	16,460	0	0
	(b) 県支出金	13,721	12,517	17,509	17,445	14,493
	(c) 地方債	28,900	27,800	0	0	27,800
	(d) 使用料・手数料	756	714	686	847	847
	(e) その他特定財源	0	0	37	263	263
	(f) 一般財源	89,198	100,495	134,246	155,698	107,157
事業費の小計		134,855	141,526	168,938	174,253	150,560

6. 施策の達成状況

①成果の分析	市内における公共交通の多くにおいて利用者減が続いており、コロナ禍を経た市民の意識変化・行動変容を勘案した目標値に修正していく必要があると考える。その一方で、循環バスについては利用者の増が見られ、コロナ禍による行動抑制が緩和されてきた一面もうかがえる。
②施策の有効性	地域の足、市民のモビリティ確保の観点から、地域公共交通の果たす役割は非常に大きく、交通の確保維持・利便性向上は重要な施策である。
③施策内事業の妥当性	当市の公共交通は、可住面積が広くかつ集落が点在している地理的特性に適するよう複数の交通モードで構成されており、そのバランスを維持し事業を継続していく必要がある。
④実施可能な改善内容	その時々状況を見つつ各交通手段の在り方を改善していく必要はあると考える。注意すべき点として、複数の交通モードがバランスよく機能している現状を崩すようなことは避けなければならない。一つの交通モードに手を加えることで、他の交通モードにどのような影響が及ぶか、熟慮し判断していく必要がある。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	JR北上線については、「ほっとゆだ～横手」間の利用状況が特に厳しい状況にあり、令和 5年 4月の法改正を受け、沿線自治体である北上市、西和賀町との連携した取組みがこれまで以上に重要となってくる。路線バスをはじめとした地域公共交通については、横手バスターミナルを起点に放射状に走るバス路線網の間を、横手デマンド交通が面的にカバーしているほか、共助組織による自家用有償旅客運送など、様々な交通モードを組み合わせ展開している点が他市にはない大きな強みと捉えている。将来的には、自動運転等の新たな技術を取り入れた次の展開になっていくものと想定するが、ここしばらくは現在の交通形態をベースに取り組みを継続すべきという観点から、維持が妥当と考える。
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
1	02	01	07	03	126	100	203	254	273	→	→	84					
	鉄道整備・地域開発促進事業 経営企画課																
2	02	01	08	02	132,449	141,426	152,275	173,999	150,287	→	→	81					
	地域公共交通費 経営企画課																
3	02	01	07	98	2,280	15,144	16,460	0	0	×	×	90					
	地方創生臨時交付金事業 経営企画課																
					0	4,788	0	0	0								

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成 (評価対象：令和 4年度)

施策名	0504	地域拠点整備による市街地の活性化
------------	------	------------------

施策担当課	建設部・都市計画課	
担当部長職・氏名	建設部長 山本 信夫	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0504	地域拠点整備による市街地の活性化
	⑤目指す将来の姿	-	市街地整備事業などによる拠点整備により、良好な生活空間が確保されるほか、適正な土地利用の規制誘導による地域の資源を活かしたまちづくりが進められ、賑わいや地域の活力が創出されています。

2. 取り組み方針

人口減少が進行する状況にも関わらず拡大する市街地を、適正な土地利用規制と誘導政策によってコンパクトシティ化を図るとともに立地適正化を進め、市街地整備事業の推進により中心市街地の魅力を向上させ、にぎわい再生へつなげます。

3. 主要事業の取り組み内容

- ・市街地再開発事業と都市再生整備事業の推進
- ・開発許可審査基準の適正な運用と周知徹底
- ・三枚橋地区土地区画整理事業の清算事務の実施
- ・大型公共施設整備に係る調整と手続きの着実な実施

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「各拠点地区の整備」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	69.2	69.2	69.2	69.2
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）後期計画変更			実績値	63.6	64.7	61.7		
2	横手駅東口周辺における、賑わい再生を見据えた歩行者の増加率	成果	%	目標値	-	8	9	10	10
	※駅東口周辺の交通量調査			実績値					
3	三枚橋地区土地区画整理事業の進捗率	活動	%	目標値	100	100	100	100	100
	※事業完了予定までの進捗率			実績値	97	99.2	99.9		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	99,255	823,650	832,608	1,196,140	831,033
	(b) 県支出金	49,763	304,619	233,247	225,890	269,275
	(c) 地方債	0	500,100	720,800	1,466,900	105,500
	(d) 使用料・手数料	6,741	7,161	7,551	4,649	5,548
	(e) その他特定財源	29	0	0	21,259	1
	(f) 一般財源	87,546	107,795	97,242	166,868	716,470
事業費の小計		243,334	1,743,325	1,891,448	3,081,706	1,927,827

6. 施策の達成状況

①成果の分析	概ね目標達成に向けて着実に進捗している。
②施策の有効性	市街地の活性化と、持続可能で魅力ある都市形成のために必要不可欠な施策である。
③施策内事業の妥当性	便利で快適な暮らしを支える都市基盤整備を進めるための手段としての事業構成であり課題はない。
④実施可能な改善内容	基盤整備事業も事業終期を迎えることから、今後立地適正化計画の推進にあたっての次期事業検討が必要になる。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	令和7年度の事業完了を目指す横手駅東口周辺の開発事業は、立地適正化計画を推進する上で重要な要素であるが、すでに事業費の上昇を迎えていることからコストについても維持とした。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	08	04	01	02	5,065	6,537	9,635	4,255	5,136	→	→	97
	都市計画総務管理費											
2	08	04	01	03	1,652	1,256	2,756	2,838	4,697	→	→	97
	景観・屋外広告物対策事業											
3	08	04	01	04	4,972	4,398	5,414	6,129	5,651	-	-	-
	横手駅前広場管理費											
4	08	04	02	98	0	0	25,289	0	0	-	-	-
	土地区画整理事業特別会計繰出金											
5	08	05	01	02	4,272	3,858	4,080	4,388	4,200	-	-	-
	建築住宅総務費											
6	08	05	01	03	3,140	3,601	3,994	4,470	4,555	-	-	-
	建築確認事業費											
7	08	04	01	98	199,248	1,661,918	1,253,322	1,203,878	1,451,720	↑	↑	85
	まちなか再生推進事業											
8	08	04	07	02	0	19,921	578,008	1,778,900	230,006	→	→	87
	都市再生整備事業											
9	02	01	07	97	0	0	8,950	0	206,000	↑	↑	80
	副拠点エリア整備事業(十文字地域)											
10	08	04	02	01	0	0	0	76,848	15,862	-	-	-
	土地区画整理費											
	都市計画課				0	0	0	44,389	15,862			

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成（評価対象：令和 4年度）

施策名	0505	安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理
-----	------	-------------------------

施策担当課	上下水道部・経営管理課	
担当部長職・氏名	上下水道部長 柿崎政人	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0505	安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理
	⑤目指す将来の姿	-	安全で良質な水道水を必要な量、いつでも、どこでも、誰でも使っています。生活排水等が適切に処理されて、衛生的で快適な生活環境と、良好な水環境が維持されています。

2. 取り組み方針

【水道】	安全で良質な水道水を永続的に安定供給するため、健全な水道事業経営に資する業務の効率化を図りながら適正な水質の監視を行います。併せて将来にわたる安定的な事業継続のため、計画的な老朽管の更新、耐震化を図ります。
【下水道】	衛生的で快適な生活環境と良好な水環境を永続的に維持するため、効率的かつ持続可能な生活排水処理事業の推進と水洗化率の向上を図ります。

3. 主要事業の取り組み内容

【水道】	<ul style="list-style-type: none"> ・水道事業（水道事業会計）に対する繰出金の支出 ・非公営水道組合が実施する水質検査に対する補助金交付
【下水道】	<ul style="list-style-type: none"> ・合併処理浄化槽を設置する市民に対する補助金交付 ・都市下水路の整備及び維持管理 ・下水道事業（下水道事業会計）に対する繰出金の支出

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「上水道の整備」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	72.8	72.8	72.8	72.8
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）後期計画変更			実績値	66.6	67.2	65.8		
2	「下水道等の整備」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	70.4	70.4	70.4	70.4
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均）			実績値	64.3	65.5	64.5		
3	水道水がおいしく飲める水質の達成率	成果	%	目標値		92	92	92	92
	※検査実施浄水中、「おいしい水研究会」の数値基準を基とした割合			実績値	94.4	98.8	99.2		
4	下水道水洗化率	成果	%	目標値		84	84	86	87
	※下水道が利用可能な区域の居住人数と実利用者数割合			実績値	82.3	82.8	83.5		
5	水洗化人口	成果	人	目標値		59,663	57,712	58,250	59,054
	※下水道（公共等・集排・浄化槽）を利用している人数			実績値	56,578	56,539	56,184		
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	19,881	1,255	6,867	31,750	31,000
	(b) 県支出金	14,188	12,843	8,510	31,750	31,000
	(c) 地方債	39,600	45,600	61,700	137,000	15,000
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,659,403	1,493,043	1,503,529	1,488,670	46,469
事業費の小計		1,733,072	1,552,741	1,580,606	1,689,170	123,469

6. 施策の達成状況

①成果の分析	成果指標のうち、水洗化人口については人口減少の影響により目標値を下回っているものの、他指標については目標値を上回るか、前年度数値より改善し目標値に近い数値となっており、概ね成果が出ていると判断できる。
②施策の有効性	本施策は市民生活・社会活動の上で欠かせない安全で良質な水の供給と生活排水の適正な処理を継続的かつ安定的に維持するためのものであり、人口が減少する中であっても各世帯の環境に合わせた継続的なサービスの維持・提供が必要である。そうしたことから施策の有効性は極めて高い。
③施策内事業の妥当性	手段としての事業の構成は、安全で良質な水の供給と生活排水の適正な処理を継続的に維持していくために必要な事業のみであり妥当性は高い。非公営水道における水環境については巡回による技術的指導・水質検査助成により安全な利用に資する事業を実施、都市下水路管理については課題解決に資する事業執行ができており事業の効果は高い。また企業会計により事業を行っている水道事業、下水道事業に対する繰出金についても、年次計画内の範囲のもので過大ではない。いずれの施策内事業も妥当性に問題はない。
④実施可能な改善内容	特に上下水道事業における人口減少に合わせたサービスの提供体制（設備の維持更新・統廃合・他事業者との広域化、コスト縮減に資する事業経営の効率化など）

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<p>本施策は市民生活・社会活動の上で欠かせない安全で良質な水の供給と生活排水の適正な処理を継続的かつ安定的に維持するためのものであり、人口が減少する中であっても各世帯の環境に合わせた継続的なサービスの維持・提供が必要である。</p> <p>上下水道事業においては、事業環境の変化を踏まえた将来予測に基づく公営企業の一層の経営効率化・安定化を図ることで、適正な一般会計繰出金（補助金、出資金）支出に繋げ、施策目的の実現を図っていく必要がある。</p>
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	04	01	07	04	56,438	51,803	47,213	115,061	119,890	→	→	86
	浄化槽設置整備事業 下水道課											
2	04	01	07	98	11,563	11,122	12,521	0	0	-	-	-
	浄化槽市町村整備推進事業 特別会計繰出金 経営管理課											
3	04	01	07	05	178	94	43	735	735	-	-	-
	水洗化資金融資利子補給費 下水道課											
4	04	03	01	01	249,542	198,029	209,380	365,933	0	-	-	-
	上水道事業費 経営管理課											
5	04	01	01	07	1,076	782	830	1,437	844	→	→	72
	非公営水道費 健康推進課											
6	08	04	04	01	34,354	25,692	24,792	18,104	2,000	→	→	81
	都市下水道管理費 下水道課											
7	08	04	05	01	1,379,921	1,265,219	1,285,827	1,187,900	0	-	-	-
	下水道事業費 経営管理課											

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成（評価対象：令和 4年度）

施策名	0506	市民がくつろげる公共空間の整備
------------	------	-----------------

施策担当課	建設部・都市計画課	
担当部長職・氏名	建設部長 山本 信夫	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	安全で快適な住みよいまちづくり
基本計画	③政策	05	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
	④施策	0506	市民がくつろげる公共空間の整備
	⑤目指す将来の姿	-	多くの市民が、憩いの場や遊び場として公園や緑地を利用し、市民との協働により管理が行われています。

2. 取り組み方針

<p>各地域の公園が安全で快適に利用できるよう適切な維持管理を行うとともに、市民の声を反映した公園整備を目指します。</p>
--

3. 主要事業の取り組み内容

<ul style="list-style-type: none"> ・公園施設（主に遊具）の適正な維持管理と修繕 ・公園施設の長寿命化計画策定 ・市民サポーター、指定管理制度による公園の市民協働管理

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「公園・緑地の整備」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	65	66	67	68
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）後期計画変更			実績値	63.3	63.3	59.7		
2	都市公園・遊具の維持管理に関する苦情への対応率	成果	%	目標値	-	100	100	100	100
	※本庁及び各地域局に届けられる苦情			実績値	100	100	100		
3	市民協働により管理する公園数（公園101箇所中の協働管理数）	成果	か所	目標値	53	52	53	54	55
	※業務所得（指定管理及び公共施設市民サポーターによる管理公園数）			実績値	49	49	49		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	5,962	15,038	15,632	15,000	30,000
	(b) 県支出金	3,406	0	0	0	0
	(c) 地方債	18,700	15,700	9,700	15,000	30,000
	(d) 使用料・手数料	5,187	4,948	5,057	4,260	4,149
	(e) その他特定財源	14	18	1,027	16,524	278
	(f) 一般財源	120,491	126,508	148,399	118,072	142,236
事業費の小計		153,760	162,212	179,815	168,856	206,663

6. 施策の達成状況

①成果の分析	概ね目標値に向かって着実に進捗している。
②施策の有効性	市民の誰もがくつろげる憩いの場として、また、災害時等の避難場所として、整備ならびに維持補修を続けていく必要性は高い。
③施策内事業の妥当性	施設の長寿命化計画に基づき、老朽化施設等の計画的な改修や更新、適正な維持管理を実施するために必要な事業である。
④実施可能な改善内容	遊具や四阿などの建築物等の長寿命化計画は策定済みだが、公園内の橋りょうについてはこれまで計画に掲載されず長寿命化の対象としていなかったことから、今年度の改定作業により更新計画の対象とした。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	市民に対し安全安心な憩いの場としての公共空間を継続的に提供していくため、引き続き長寿命化計画に基づく施設の更新、適正な維持管理等を実施していく必要がある。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
1	03	02	01	14	3,711	3,084	2,326	3,334	3,650	→	→	87					
	児童遊園地維持管理事業																
2	08	01	01	03	303	291	299	380	425	→	→	83					
	公共施設サポーター制度事業																
3	08	04	06	01	36,816	33,882	33,920	34,000	65,000	→	→	97					
	社会資本総合整備事業																
4	08	04	06	02	112,930	124,955	143,270	131,142	137,588	→	→	88					
	公園管理費																
5					0	0	0	0	0	-	-	-					
	狹半内地域交流施設整備事業																
					0	0	0	0	0								

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成 (評価対象：令和 4年度)

施策名	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
------------	------	-------------------------

施策担当課	まちづくり推進部・地域づくり支援課	
担当部長職・氏名	まちづくり推進部長 佐藤 勉	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0601	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
	⑤目指す将来の姿	-	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。

2. 取り組み方針

市民だれもが地域で活動しやすい環境づくりに取り組み、市民活動の活性化を図るとともに、地域に関わるすべての方々の参画と協働によるまちづくりを進めます。将来にわたって持続可能な地域づくりを目指し、新たな地域コミュニティ体系の構築を図るため、地域住民による自主的な活動を支援するとともに、地域資源を活かした特色あるまちづくりを推進します。

また、中高生を含めた若い世代が本市の良さと価値を認識することは、人口減少社会が進む本市にとって大変重要です。若い世代が楽しいと感じ、興味を持って本市のまちづくりに関わろうと思える取り組みを進めます。

3. 主要事業の取り組み内容

- ・地域運営組織の活動支援、地域づくり活動補助金・町内会活動補助金・町内会館等建設補助金の制度周知
- ・地区会議運営支援事業の実施
- ・各地域における施設の管理、運営
- ・研修会の開催等による地区交流センター事業のブラッシュアップ

4. 指標の目標と推移

No	指標名	※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1		「市民との協働・活動支援」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	69.2	69.2	69.2	69.2
		※まちづくりアンケート(ウェイト平均の100点換算)後期計画変更			実績値	63.8	64.8	61		
2		自主運営組織数	成果	団体	目標値	19	20	22	24	26
		※自主運営組織数			実績値	18	20	22		
3		Y2ふらざ 年間来訪者数	成果	人	目標値	350,000	300,000	300,000	300,000	300,000
		※業務取得			実績値	179,025	183,840	186,152		
					目標値					
					実績値					
					目標値					
					実績値					
					目標値					
					実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	36,596	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	722,900	125,000	0	12,600	0
	(d) 使用料・手数料	5,805	6,967	8,511	20,279	8,273
	(e) その他特定財源	7,207	14,286	21,796	5,955	14,700
	(f) 一般財源	353,997	396,069	344,153	556,692	422,457
事業費の小計		1,126,505	542,322	374,460	595,526	445,430

6. 施策の達成状況

①成果の分析	<ul style="list-style-type: none"> 新たに黒川地区、三重地区において自主運営組織が設立され、22地区において自主運営組織による事業運営が開始している。また、R5年4月に横手市地区交流センター設置条例を制定し、市内28公民館の名称を地区交流センターと変更した。 Y2ふらざ利用者数も徐々に回復傾向にあり、コミュニティ施設として多くの個人や企業に利用されている。
②施策の有効性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の自主的な地域活動と生涯学習を奨励し、市民協働による総合的な地域づくり活動を推進する事業であり、人口減少、少子高齢化の進展への対応や地域コミュニティの醸成を図り市全体に公益をもたらす事業である。
③施策内事業の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティの維持向上を図り、地域資源を活かした特色ある地域づくりのために、市民の自主的な活動の支援は欠かせない事業である。
④実施可能な改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 自主運営組織への伴走型支援と未設立地区への効果的な立上げ支援 各種補助金制度の効果的な周知方法

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上	★		
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<ul style="list-style-type: none"> 地域課題の解決を目指す自主運営組織設立の全市展開を目指す。 横手地域の中央地区交流センターの自主運営組織設立に向けた道筋と方向性を示す。 地域おこし協力隊制度を活用した人材確保を拡充し、地域の活性化を図り、地域力の向上につなげる。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
1	02	01	07	07	4	9	44	94	94	→	→	74					
	協働推進事業																
	地域づくり支援課				4	9	44	94	94								
2	02	01	07	05	55,027	54,656	62,035	73,734	68,181	→	→	77					
	横手市交流センター費																
	地域づくり支援課				50,309	49,304	55,094	61,056	52,748								
3	02	01	08	01	483	426	565	16,137	16,137	→	→	66					
	地域振興総務費																
	地域づくり支援課				483	426	565	16,137	16,137								
4	02	01	08	09	2,063	2,063	2,106	2,113	2,113	-	-	-					
	大森町中心部活性化施設費																
	大森地域課				2,063	2,063	2,106	2,113	2,113								
5	02	01	08	06	28,919	28,651	35,291	35,536	35,536	→	→	84					
	地区会議運営支援事業																
	地域づくり支援課				28,919	28,651	35,291	35,536	35,536								
6	02	01	08	06	7,131	3,175	3,002	10,868	10,900	-	-	-					
	町内会館等建設補助事業																
	地域づくり支援課				7,131	3,175	3,002	9,400	9,400								
7	02	01	09	01	61,096	120,260	71,906	67,063	43,592	→	→	82					
	横手総合交流促進施設費																
	横手地域課				57,563	66,746	67,372	50,685	40,137								
8	02	01	09	02	22,019	10,798	10,633	0	9,191	-	-	-					
	地域センター費																
	増田地域課				21,669	10,420	10,181	0	8,752								
9	02	01	09	02	2,529	3,200	12,109	2,798	3,006	→	→	76					
	増田地区多目的研修センター費																
	増田地域課				2,241	2,978	11,896	2,498	2,706								
10	02	01	09	05	16,381	107,455	14,053	15,039	17,051	-	-	-					
	十文字環境改善センター費																
	十文字地域課				15,886	31,419	13,795	14,757	16,643								
11	02	01	09	06	2,778	1,957	2,744	2,500	2,528	-	-	-					
	十文字西スポーツ交流センター費																
	十文字地域課				2,673	1,849	2,642	2,394	2,422								
12	02	01	09	07	192	192	192	192	192	-	-	-					
	山内三又コミュニティセンター費																
	山内地域課				192	192	192	192	192								

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
13	06	01	09	11	405	932	1,046	1,243	956	-	-	-					
	集落多目的施設費																
	平鹿地域課				405	932	1,046	1,242	955								
14	02	01	09	04	2,101	2,207	2,509	2,903	2,515	-	-	-					
	大森コミュニティ交流センター費																
	大森地域課				2,077	2,183	2,479	2,883	2,495								
15	02	01	08	96	3,400	10,400	17,500	0	0	→	→	79					
	コミュニティ助成事業																
	地域づくり支援課				0	0	0	0	0								
16	02	01	08	95	59,548	72,409	87,342	258,236	141,908	→	→	87					
	地区交流センター費																
	地域づくり支援課				59,548	72,409	87,342	252,070	141,892								
17	02	01	09	05	3,058	1,914	1,778	0	2,035	→	→	75					
	雄物川福地コミュニティセンター費																
	雄物川地域課				3,010	1,757	1,561	0	1,969								
18	02	01	09	08	653	599	695	699	755	→	→	79					
	山内南郷コミュニティセンター費																
	山内地域課				652	598	694	698	754								
19	02	01	09	09	1,326	1,386	1,295	1,797	1,651	→	→	71					
	大雄コミュニティ交流センター費																
	大雄地域課				1,276	1,325	1,236	1,772	1,636								
20	02	01	08	03	17,530	18,372	19,079	26,933	28,047	→	→	76					
	地域づくり支援事業																
	地域づくり支援課				17,530	18,372	19,079	26,533	27,647								
21	02	01	08	04	7,713	9,337	15,320	29,415	29,415	→	→	76					
	地域づくり市民活動補助事業																
	地域づくり支援課				7,713	9,337	15,320	29,415	29,415								
22	02	01	08	05	2,215	1,755	2,185	9,000	9,000	→	→	84					
	町内会活動補助事業																
	地域づくり支援課				2,215	1,755	2,185	9,000	9,000								
23	02	01	03	05	0	6,243	11,031	23,934	16,200	→	↑	79					
	地域おこし協力隊活用事業																
	地域づくり支援課				0	6,243	11,031	23,934	16,200								
24	集落支援員活用事業				0	0	0	0	0	-	-	-					
	地域づくり支援課				0	0	0	0	0								

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点		
	款	項	目	事業						コスト	活動			
	実施計画事業名称												事業費	事業費
	担当課名									一般財源	一般財源		一般財源	一般財源
25	02	01	09	03	0	0	0	10,865	0	-	-	-		
	雄物川コミュニティセンター費													
	雄物川地域課				0	0	0	10,669	0					
26	02	01	09	12	0	0	0	4,427	4,427	-	-	-		
	農村体験学習施設費													
	平鹿地域課				0	0	0	3,614	3,614					

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成 (評価対象: 令和 4年度)

施策名	0602	男女が尊重し合う社会づくり
------------	------	---------------

施策担当課	まちづくり推進部・地域づくり支援課	
担当部長職・氏名	まちづくり推進部長 佐藤 勉	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0602	男女が尊重し合う社会づくり
	⑤目指す将来の姿	-	男女が互いを尊重しあいながら、家庭や職場、地域などの中で、一人ひとりが輝き、自分らしく生きられる社会が形成されています。

2. 取り組み方針

<p>「一人ひとりが輝き、自分らしく生きられるまち」を実現するため、市民、各種団体、企業及び行政などのすべての人々や組織が、共通認識の下に一丸となって男女共同参画社会の推進を目指します。</p>

3. 主要事業の取り組み内容

<ul style="list-style-type: none"> ・事業所、市役所職員を対象としたワークライフバランス研修(ハラスメント研修も含む)の実施 ・女性リーダー育成(女性活躍)セミナーの開催 ・市男女共同参画行動計画(第4次計画)に基づく事業の実施、実績評価 ・男女共同参画の意識啓発のため、研修、セミナー、イベント(フェスティバル)等の開催
--

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段: 指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「男女共同参画社会づくりの推進」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	68.6	68.6	68.6	68.6
	※まちづくりアンケート(ウェイト平均の100点換算)後期計画変更			実績値	62.5	63.8	60.8		
2	社会全体として男女共同参画社会になってきていると感じている市民の割合	成果	%	目標値	増加	65	65	65	65
	※まちづくりアンケート			実績値	54.4	56.5	61.5		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,374	1,219	1,246	1,663	488
事業費の小計		1,374	1,219	1,246	1,663	488

6. 施策の達成状況

①成果の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・家族経営協定を締結した農家世帯数は目標を上回って伸びている。また、男性職員の育児休業取得の実績が3人となった。 ・事業所、市役所職員を対象としたワークライフバランス研修の実施や、男女共同参画の意識啓発イベント男女共同参画フェスティバルの開催等により、地域社会においても徐々に男女共同参画とワークライフバランスの意識向上が伺えるが、地道な活動の継続が求められる。
②施策の有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・男女が互いにその人権を尊重しつつ、性別にかかわらず個性と能力を発揮できる社会を実現するために必要不可欠な事業である。
③施策内事業の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・男女ともに基本的人権を尊重し、様々な分野において対等な立場で参画できる社会を構築するための事業であり、今後も継続した取り組みが必要である。
④実施可能な改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画は、日常生活や職場での意識づけ、理解の積み重ねにより推進されるものであり、全市民・企業・団体等の協力を得ながら取り組む必要がある。 ・男性の育児休業取得の推進 ・ワークライフバランス研修やワークスタイル研修のテーマについて、多くの市民が興味を持ち参加したくなるようなテーマを設定する必要がある。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画とワークライフバランスを家庭や職場で多くの人が日常的に意識し推進することにより、横手市における男女共同参画社会の将来像である「一人ひとりが輝き、自分らしく生きられるまち」の実現を目指す。
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						コスト	活動	
	実施計画事業名称				事業費	事業費	事業費	事業費	事業費			
	担当課名				一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源			
1	02	01	07	08	373	142	388	463	488	→	→	80
	男女共同参画社会推進事業											
	地域づくり支援課				373	142	388	463	488			
2	02	01	07	09	1,001	1,077	858	1,200	0	→	→	77
	ワークライフバランス推進事業											
	地域づくり支援課				1,001	1,077	858	1,200	0			

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成 (評価対象：令和 4年度)

施策名	0603	情報を共有する環境の整備
------------	------	--------------

施策担当課	総務企画部・秘書広報課	
担当部長職・氏名	総務企画部長 小玉 幸平	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0603	情報を共有する環境の整備
	⑤目指す将来の姿	-	市民と行政との情報共有が図られ、市政への関心が高まっています。

2. 取り組み方針

<p>市民に伝わる市政情報を届けるため、断続的に改善を図ります。 世代や環境によって異なる情報取得手段に対応した効果的な情報発信を行います。</p>

3. 主要事業の取り組み内容

<p>市政への関心が高まり市民の積極的な参画を図るため、次の事項に取り組みます。</p> <p>①各種媒体を活用したわかりやすくタイムリーなイベント、行政サービス情報や政策情報の提供 ②市民の利便性向上に向けたICTの活用 ③コミュニティFMの安定した運用 ④地域活性化につながる情報発信 ⑤若い世代への有効な情報発信</p>

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「広報・広聴の推進」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	70.5	70.5	70.5	70.5
	※まちづくりアンケート(ウェイト平均の100点換算)後期計画変更			実績値	65.3	66	62.7		
2	横手市公式SNSの登録者数	成果	件	目標値	-	17,700	18,000	18,300	18,600
	※業務取得			実績値	19,128	20,388	22,335		
3	増田・山内地区ブロードバンド加入率	成果	%	目標値	38	38	41	44	47
	※業務取得(加入世帯実績)			実績値	22	32	45		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	57,100	0	0
	(d) 使用料・手数料	264	267	275	256	265
	(e) その他特定財源	24,018	19,114	17,311	17,591	17,377
	(f) 一般財源	96,534	100,569	150,854	112,198	106,800
事業費の小計		120,816	119,950	225,540	130,045	124,442

6. 施策の達成状況

①成果の分析	各情報発信媒体の特性に応じた情報発信を行っているが、市民の高いニーズに応じきれていない側面がある。満足度を高めるには、市民が求める情報を発信するとともに、発信媒体を有機的に結びつけて相乗効果をいかに発揮させるかが重要である。
②施策の有効性	市民への行政情報・災害情報の発信・提供という側面からも必要度の高い事業が多く、広報広聴活動は今後も質的な充実を図っていく必要がある分野である。本施策は有効である。
③施策内事業の妥当性	事業の構成自体には、問題点はないものとする。
④実施可能な改善内容	市報のあり方、ホームページの見直し、SNSでの発信内容の検討など、確実に理解しやすくより早い情報周知やPRについて、普段の改善を図っていく必要がある。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	注目も要望も高い施策分野である。市民のスマートフォンなどによる情報取得が浸透しているが、市報など紙による情報発信・提供は今しばらく必要不可欠である。より市政に興味を持ってもらえるよう新しい展望・展開を考えつつコスト削減を検討していく必要があるが、現状の施策展開においては維持とすべきである。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	02	01	03	01	2,768	3,091	3,237	3,709	4,555	-	-	-
	広報費											
1	秘書広報課				2,768	3,007	3,157	3,381	4,251			
	02	01	03	02	37,661	34,701	37,040	48,829	48,829	→	→	90
2	行政情報発信事業											
	秘書広報課				36,300	33,434	35,773	47,372	47,562			
3	02	01	03	03	34,501	34,360	34,292	34,744	34,780	-	-	-
	市政協力員事業											
総務課				34,501	34,360	34,292	34,744	34,780				
4	02	01	03	04	2,845	3,847	3,233	3,458	3,213	→	→	90
	横手市情報発信戦略プロジェクト事業											
秘書広報課				2,845	3,847	3,233	3,458	3,213				
5	02	01	10	04	35,580	23,429	29,278	32,592	26,727	-	-	-
	地域情報通信網管理運営費											
情報政策課				12,978	5,588	13,228	16,719	10,845				
6	02	01	10	05	7,461	20,522	118,460	6,713	6,338	→	→	83
	コミュニティFM中継局運営費											
情報政策課				7,142	20,333	61,171	6,524	6,149				

令和 5 年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成（評価対象：令和 4年度）

施策名	0604	市内外との交流連携の推進
------------	------	--------------

施策担当課	まちづくり推進部・地域づくり支援課	
担当部長職・氏名	まちづくり推進部長 佐藤 勉	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	みんなの知恵を持ち寄りみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	06	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
	④施策	0604	市内外との交流連携の推進
	⑤目指す将来の姿	-	市民が自分の住むまちに誇りを持ち、市の内外で活発に交流・連携の取り組みが行われることによって、地域に賑わいや活気が生み出されています。

2. 取り組み方針

他地域との交流は、新たな発想や体験、情報などを得る機会をもたらすものであり、いろいろな分野での交流や連携を推進し、地域の魅力発信や活性化につなげます。

人口の社会減少抑制と地域コミュニティの活性化などを図るため、関係団体との連携による情報発信の強化や総合的な受け入れ体制の充実により、首都圏等県外在住者の移住や交流を促進します。

3. 主要事業の取り組み内容

- ・ふるさと納税額の増加のため、魅力ある返礼品となるよう地元事業者を対象にセミナーの開催や受付サイトの充実化、広告の実施
- ・各首都圏ふるさと会への支援、首都圏ふるさと会連絡協議会との情報交換、情報共有
- ・移住定住促進事業、移住促進空家対策事業の実施
- ・応援人口との関係深化事業により、地域課題に対する具体的な応援活動やイベントによる応援意識の醸成、応援事業の企画・実施
- ・友好都市交流事業、国際交流事業の推進
- ・シティセールス事業の実施

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「他の自治体との連携・交流の推進」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	69.6	69.6	69.6	69.6
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）後期計画変更			実績値	63.3	64.7	61.5		
2	移住イベント等の参加・出展回数	活動	件	目標値	-	5	5	5	5
	※業務取得			実績値	2	1	5		
3	各ふるさと会会員数に対する総会出席者の割合	成果	%	目標値	増加	36	37	38	39
	※業務取得			実績値	0	0	0		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	450	1,650	2,325	6,900	3,750
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	50	50	50	0	0
	(f) 一般財源	202,889	191,480	198,652	298,686	299,520
事業費の小計		203,389	193,180	201,027	305,586	303,270

6. 施策の達成状況

①成果の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・移住件数（世帯数）は目標としていた12世帯を上回り、15世帯となった。 ・コロナ禍により、各ふるさと会総会は書面開催が続いたが、R4年度は8地域中、5地域において、対面での総会が開催された。徐々にではあるが、首都圏における活動も活発化してきている。
②施策の有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少抑制と地域コミュニティの活性化を図るため、関係団体と連携し部局横断の連携体制で取り組みを進めて行く必要がある。
③施策内事業の妥当性	<p>市内外との交流については、多くのチャンネルと多様な事業が必要であり、今後も継続した取り組みが必要である。</p>
④実施可能な改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税については、引き続き庁内プロジェクトチームによる返礼品のブラッシュアップや追加など横手市の魅力を全方向からのPRに努める。 ・ふるさと会を含めた応援人口の自主的な活動を後押しするするための支援が必要である。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上		★	
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・定住人口の減少が続く中、応援人口（関係人口）とのより深い関りにより地域の活性化を図る必要がある。それには、それぞれの応援人ロルートを持つ各部署が連携し、その活動をさらに活性化する必要がある。 ・ふるさと納税については、選ばれる、応援される横手市となるために、地元事業者、庁内関係部署との連携を強化し、新たな返礼品の開発やブラッシュアップが必要である。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
1	02	01	07	11	126	549	369	632	1,632	→	→	84					
	友好都市交流事業																
2	02	01	07	14	935	936	1,014	1,675	1,675	→	→	75					
	多文化共生推進事業																
3	02	01	07	10	2,534	4,043	4,962	11,641	7,441	→	→	83					
	移住定住促進事業																
4	02	01	07	13	195,904	183,675	183,760	277,490	277,490	→	↑	83					
	ふるさと納税PR事業																
5	02	01	07	12	1,391	2,005	4,611	7,407	7,716	→	→	83					
	ふるさと会支援事業																
6	02	01	07	16	0	1,972	3,125	1,670	1,670	→	→	80					
	応援人口との関係深化事業																
7	10	01	02	08	0	0	3,186	5,071	5,646	→	→	78					
	奨学金返還支援事業																
					0	0	3,186	5,071	5,646								

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成 (評価対象：令和 4年度)

施策名	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
------------	------	------------------------

施策担当課	総務企画部・経営企画課	
担当部長職・氏名	総務企画部長 小玉幸平	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	-	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、P D C Aサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。

2. 取り組み方針

<p>政策の重点化、施策の選択と集中、事業のビルド&スクラップ、事業効果の明確化を推進し、成果重視の行政運営に努めます。</p>
--

3. 主要事業の取り組み内容

<p>成果重視の行政運営を実現するため</p> <ul style="list-style-type: none"> ①行財政システムの運用 ②住民満足度の高い行政サービスの提供 ③ICT技術の活用による行政手続きや事務のデジタル化 ④選挙事務の適正な執行 ⑤監査の計画的・効率的な執行を実施します。

4. 指標の目標と推移

No	指標名	※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「横手市の取り組み全体」に対する市民満足度	※まちづくりアンケート(ウェイト平均の100点換算)後期計画変更	成果	点	目標値	増加	68.6	68.6	68.6	68.6
					実績値	62	63.7	61.4		
2	施策の成果指標の達成率	※業務取得	成果	%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	27.5	30.7	30.2		
					目標値					
					実績値					
					目標値					
					実績値					
					目標値					
					実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	8,993,245	112,895	520,841	42,388	18,687
	(b) 県支出金	66,700	70,780	61,373	40,653	20,131
	(c) 地方債	352,500	0	0	2,000	84,400
	(d) 使用料・手数料	25,211	27,860	31,623	27,547	28,594
	(e) その他特定財源	21,257	24,109	27,780	31,289	21,521
	(f) 一般財源	1,054,458	1,149,288	1,126,566	1,243,800	1,098,249
事業費の小計		10,513,371	1,384,932	1,768,183	1,387,677	1,271,582

6. 施策の達成状況

①成果の分析	指標達成率が低い状況にある。市の施策全体に対する評価を目標値として設定しており、当該施策内事業の成果を測る指標として機能しているか再考が必要。
②施策の有効性	成果重視の観点は施策実施における必須事項であり、効率的かつ市民満足度の高い行政運営を行うために必要である。
③施策内事業の妥当性	いずれも必要な事業であるが、事業内容の見直しを適宜行うことで改善につなげていく。
④実施可能な改善内容	実施計画ローリングによる修正、行政評価を基にした見直しを行う。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	事務系の事業に関しては、行革による効率化を進め、コスト縮減を図る。維持管理系の事業については、昨今の物価高騰などによりコスト増の傾向にあるが、極力振れ幅を抑える工夫を行う。トータルでの施策の方向性は維持としつつ、行政改革の推進などにより、成果重視の行政運営を行っていく。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	01	01	01	01	192,253	183,510	195,268	195,207	195,457	-	-	-
	議員人件費											
議会事務局					192,253	183,510	195,268	195,207	195,457	-	-	-
2	01	01	01	03	24,804	25,508	30,082	38,311	41,596	-	-	-
	議会管理費											
議会事務局					24,313	25,060	29,606	37,834	41,019	-	-	-
3	02	01	01	03	39,093	49,826	59,321	56,471	54,763	-	-	-
	非常勤職員人件費											
人事課					37,271	47,996	57,429	54,871	53,163	-	-	-
4	02	01	01	04	9,547	7,658	10,771	11,607	11,617	-	-	-
	一般管理費(人事事務)											
人事課					9,467	7,578	10,646	11,579	11,589	-	-	-
5	02	01	01	05	4,737	4,832	8,962	11,260	11,656	-	-	-
	一般管理費(秘書事務)											
秘書広報課					4,737	4,832	8,962	11,205	11,656	-	-	-
6	02	01	01	06	20,159	20,124	20,310	14,953	14,456	-	-	-
	一般管理費											
総務課					17,961	17,954	17,998	11,857	11,360	-	-	-
7	02	01	01	98	883	824	1,193	0	1,554	↓	↓	77
	行政経営品質向上プログラム推進事業											
経営企画課					883	824	1,193	0	1,554	-	-	-
8	02	01	01	08	125	36	88	1,232	1,232	→	↑	87
	行政改革推進事業											
経営企画課					125	36	88	1,232	1,232	-	-	-
9	02	01	01	09	265	246	143	385	295	-	-	-
	市制施行記念式典事業費											
総務課					265	246	143	385	295	-	-	-
10	02	01	02	01	44,663	46,598	46,923	57,632	57,726	-	-	-
	文書費											
総務課					44,579	46,407	46,854	57,577	57,667	-	-	-
11	02	01	06	02	127,482	96,240	90,774	100,255	171,037	→	→	91
	庁舎管理費(本庁舎)											
総務課					112,935	80,270	71,426	74,566	71,748	-	-	-
12	02	01	06	03	13,633	16,924	15,876	35,028	19,178	-	-	-
	庁舎管理費(条里南庁舎)											
横手地域課					12,998	16,640	15,555	34,770	18,920	-	-	-

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
13	02	01	06	04	35,556	32,206	32,904	43,993	25,745	→	→	94
	庁舎管理費(条里北庁舎)											
	消防本部総務課				34,646	30,429	30,872	42,878	24,634			
14	02	01	06	08	71,307	99,657	24,452	19,394	19,506	→	→	83
	庁舎管理費(増田庁舎)											
	増田地域課				70,283	98,700	23,489	18,455	19,319			
15	02	01	06	09	10,655	10,594	11,696	13,153	12,416	-	-	-
	庁舎管理費(平鹿庁舎)											
	平鹿地域課				10,295	10,174	11,341	12,803	12,002			
16	02	01	06	10	15,061	16,243	17,645	13,217	12,972	-	-	-
	庁舎管理費(雄物川庁舎)											
	雄物川地域課				15,006	15,778	17,348	13,196	12,951			
17	02	01	06	11	21,662	24,006	25,918	27,628	39,231	-	-	-
	庁舎管理費(大森庁舎)											
	大森地域課				20,940	22,962	24,779	26,770	38,531			
18	02	01	06	12	9,896	11,238	12,561	15,230	15,238	-	-	-
	庁舎管理費(十文字庁舎)											
	十文字地域課				9,757	10,996	12,307	15,043	15,056			
19	02	01	06	13	10,499	12,635	11,371	12,280	10,848	-	-	-
	庁舎管理費(山内庁舎)											
	山内地域課				10,214	12,345	11,007	11,884	10,548			
20	02	01	06	14	11,350	16,693	12,385	13,358	13,358	-	-	-
	庁舎管理費(大雄庁舎)											
	大雄地域課				11,244	16,577	12,236	13,264	13,264			
21	02	01	06	05	1,754	1,884	2,231	2,370	2,260	-	-	-
	庁舎管理費(県平鹿振興局 庁舎・農林部)											
	農業振興課				1,754	1,884	2,231	2,370	2,260			
22	02	01	06	06	2,578	2,667	2,934	2,942	2,671	-	-	-
	庁舎管理費(県平鹿振興局 庁舎・建設部)											
	建設課				2,578	2,667	2,934	2,942	2,671			
23	02	01	06	07	2,246	2,246	2,246	2,246	2,246	-	-	-
	庁舎管理費(水道庁舎)											
	総務課				2,246	2,246	2,246	2,246	2,246			
24	02	01	06	16	66,632	69,814	72,043	88,772	63,312	↓	↓	74
	公用車管理費											
	財産経営課				66,632	69,814	68,824	88,772	63,312			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
25	02	01	07	01	3,651	2,166	1,176	1,661	1,661	-	-	-
	企画総務費											
26	02	01	07	02	2,555	1,315	1,091	1,567	1,587	→	↑	94
	総合計画策定事業											
27	02	01	10	01	4,154	3,136	2,750	3,287	3,815	-	-	-
	情報化総務事務費											
28	02	01	10	02	189,744	199,084	272,017	219,079	176,952	→	→	87
	情報システム運用管理費											
29	02	01	10	03	96,307	115,140	132,095	245,371	195,490	→	→	87
	ネットワーク管理費											
30	02	01	11	01	3,967	3,063	4,299	3,650	4,753	-	-	-
	検査管理事務費											
31	02	03	01	02	17,233	17,152	16,136	18,437	16,081	-	-	-
	戸籍事務費											
32	02	03	01	03	8,768	9,076	9,260	10,950	10,139	-	-	-
	住民基本台帳事務費											
33	02	03	01	04	665	656	120	267	711	-	-	-
	印鑑事務費											
34	02	03	01	05	70	43	0	20	20	-	-	-
	自動車臨時運行事務費											
35	02	03	01	06	32	18	13	198	198	-	-	-
	中長期在留者居住地届出等事務費											
36	02	03	01	07	1,893	2,003	2,000	2,154	2,176	-	-	-
	旅券事務費											
					0	0	0	1,985	1,449			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
37	02	04	01	03	682	5,944	152	931	950	-	-	-
	選挙管理委員会総務費											
	選挙管理委員会事務局				680	593	151	930	949			
38	02	06	01	01	4,164	4,082	4,164	4,164	4,164	-	-	-
	非常勤特別職報酬(監査委員)											
	監査委員事務局				4,164	4,082	4,164	4,164	4,164			
39	02	04	02	01	582	508	577	768	900	-	-	-
	選挙啓発費											
	選挙管理委員会事務局				582	508	577	768	900			
40	02	04	03	01	0	0	8,586	33,419	0	-	-	-
	秋田県議会議員一般選挙費											
	選挙管理委員会事務局				0	0	0	0	0			
41	02	05	01	01	20	50	21	50	50	-	-	-
	統計総務費											
	総務課				20	50	21	50	50			
42	02	05	01	02	18	18	18	18	0	→	→	74
	統計調査員確保対策事業											
	総務課				18	18	18	18	0			
43	02	05	02	01	20	20	20	25	25	-	-	-
	学校基本調査費											
	総務課				0	0	0	0	0			
44	02	05	02	02	80	77	77	100	100	-	-	-
	秋田県年齢別人口流動調査費											
	総務課				5	2	2	0	0			
45	02	05	02	03	217	3,571	17	25	1,300	-	-	-
	経済センサス費											
	総務課				3	0	0	0	0			
46	02	06	01	03	890	840	887	1,899	2,248	-	-	-
	監査委員総務費											
	監査委員事務局				890	840	887	1,899	2,248			
47	02	04	01	01	1,170	1,170	1,170	1,170	1,170	-	-	-
	非常勤特別職報酬(選挙管理委員)											
	選挙管理委員会事務局				1,170	1,170	1,170	1,170	1,170			
48	02	03	01	08	55,849	47,290	28,201	42,700	18,429	-	-	-
	個人番号カード等交付事務費											
	国保市民課				0	0	0	570	0			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						コスト	活動						
	実施計画事業名称												事業費	事業費	事業費	事業費	事業費
	担当課名												一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源
49	02	04	92	98	0	0	43,485	0	0	-	-	-					
	参議院議員通常選挙費																
	選挙管理委員会事務局				0	0	91	0	0								
50	02	04	04	01	22,079	18,397	0	0	0	-	-	-					
	秋田県知事選挙費																
	選挙管理委員会事務局				291	0	0	0	0								
51	xx	xx	xx	98	0	40,944	0	0	0	-	-	-					
	衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費																
	選挙管理委員会事務局				0	0	0	0	0								
52	xx	xx	xx	98	0	84,204	0	0	0	-	-	-					
	横手市長及び市議会議員選挙費																
	選挙管理委員会事務局				0	84,204	0	0	0								
53	02	05	02	98	0	0	3,051	0	0	-	-	-					
	就業構造基本調査費																
	総務課				0	0	17	0	0								
54	02	05	02	04	0	0	488	4,815	0	-	-	-					
	住宅・土地統計調査費																
	総務課				0	0	0	0	0								
55	02	03	01	09	7,316	7,742	16,634	10,008	7,890	-	-	-					
	証明書等コンビニ交付費																
	国保市民課				6,626	6,388	10,478	7,113	6,668								
56	02	05	02	05	39	0	0	20	16,403	-	-	-					
	農林業センサス費																
	総務課				0	0	0	0	3								
57	xx	xx	xx	98	36,475	0	0	0	0	-	-	-					
	国勢調査費																
	総務課				0	0	0	0	0								
58	02	01	01	10	47,468	65,014	509,402	0	0	↓	↓	87					
	地方創生臨時交付金事業																
	経営企画課				20	2,668	22,329	0	0								
59	02	01	07	17	0	0	2,179	4,000	4,000	↑	↑	83					
	ICT活用サービス推進事業																
	経営企画課				0	0	2,179	4,000	4,000								

令和 5年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成（評価対象：令和 4年度）

施策名	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
------------	------	----------------------

施策担当課	財務部・財政課	
担当部長職・氏名	財務部長 小松 忠昭	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	-	限られた経営資源（ヒト（人材）・モノ（施設等）・カネ（財源））を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。

2. 取り組み方針

限られた財源の中で、最大限の効果を生み出す財政運営を目指します。横手市財産経営推進計画の一層の推進と、ローリング方式による計画の見直しを行いながら、公共施設の適正な再配置と計画的な維持管理で経費の適正化を図ります。

3. 主要事業の取り組み内容

- 事務事業のビルド&スクラップの徹底と財源確保による安定的な財政運営を図ります。
- 財産経営推進計画では、個別施設計画の推進による施設の長寿命化と公共施設の適正な再配置を図り、施設保有総量の圧縮に努めます。
- 債権管理推進委員会を活用し税収その他自主財源の収納率向上を図ります。
- ネーミングライツ基本方針に基づき、全庁的な取り組みを進めます。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	横手市財産経営推進計画の達成率	成果	%	目標値	100	100	100	100	100
	※			実績値	100	100	100		
2	将来負担比率	成果	%	目標値	100%未満	100%未満	100%未満	100%未満	100%未満
	※各年度決算			実績値	14.6	13.5	13.8		
3	実質公債費比率	成果	%	目標値	9.3	9.4	10	10.3	10.5
	※各年度決算			実績値	7	7.2	7.6		
4	市税収納率	成果	%	目標値	93.24	95.03	95.03	95.03	95.03
	※一般会計：現年分+滞納繰越分			実績値	94.48	94.67	95.01		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	353,000	0	0	755,000	1,465,000
	(b) 県支出金	22,525	18,095	17,460	20,437	25,810
	(c) 地方債	453,800	254,300	365,600	2,601,100	3,904,700
	(d) 使用料・手数料	9,519	4,392	158,125	58,953	4,474
	(e) その他特定財源	149,714	234,718	171,206	122,841	110,885
	(f) 一般財源	7,970,622	8,417,536	8,553,257	7,899,487	7,711,577
事業費の小計		8,959,180	8,929,041	9,265,648	11,457,818	13,222,446

6. 施策の達成状況

①成果の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・横手市財産経営推進計画で、維持とされている施設の方向性を考える市民ワークショップを開催し、16施設の方向性を確認した。公共施設の適正配置、保有総量の縮減に向けた取り組みとなった。 ・実質公債費比率は7.6%であり比率上は安全圏である。しかし、今後大型公共施設整備が本格化し、公債費のピークを令和7年度を見込んでおり、当該比率も比例して上昇していくものと捉えている。
②施策の有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の適正な維持管理に努めるとともに、長寿命化に対する有利な財源の確保、公共施設の有効活用による自主財源の確保、そのほか市民サービスの安定的な供給のため、有利な財源の確保や独自財源の確保に知恵を絞る必要がある。その取り組みの一つとして、横手市ネーミングライツ導入に係る基本方針を策定した。
③施策内事業の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・税をはじめとする基本的な歳入の確保、標準財政規模に見合う適正かつ効率的な財政運営と財産経営推進計画の推進、基金の効果的な活用など、本施策内事業実施の妥当性・重要性はより一層高まるものとする。
④実施可能な改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の在り方、適正配置について協議を行い、施設保有量の最適化に向けた取り組みを強化する。 ・一般財源の減少を前提とした事業のビルド&スクラップの取り組みを強化する。 ・自主財源の確保に対する取り組みを推進し、財政基盤の強化につなげる。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上		★	
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・普通交付税の算定は、合併算定替特例が終了し令和3年度から一本算定となった。これにより、今まで以上に横手市の標準財政規模を強く意識した行財政運営が求められる。 ・新型コロナ、ロシア・ウクライナ情勢の影響から資材物価高騰が続いており、市民生活や市内経済に大きな影響が出ている。さらに当市の最大の課題である少子化を克服し、人口減少に歯止めをかけるための大胆な施策展開が求められていることから、こうした財政需要にしっかり応えていく必要がある。 ・今後公債費が増大していく中、既存の事務事業に係るコストを可能な限り圧縮することと、ビルド&スクラップ意識の徹底、及び事業実施のための有利な財源の確保を継続する。合わせて令和5年度から導入したネーミングライツ制度を軌道に乗せ、自主財源の確保を図り、持続可能な財政運営に取り組む必要がある。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	02	01	04	01	4,199	4,040	4,040	4,616	4,416	-	-	-
	財政管理費											
	財政課				4,199	4,040	4,040	4,463	4,249			
2	02	01	06	01	111,021	97,005	80,150	120,452	74,746	→	→	83
	財産管理費											
	財産経営課				96,702	38,038	24,951	111,506	66,966			
3	02	01	06	15	15,049	14,017	13,426	12,494	12,360	-	-	-
	公共用地借上費											
	財産経営課				15,049	14,017	13,426	12,494	12,360			
4	02	01	05	01	4,349	4,196	4,451	7,421	7,255	-	-	-
	会計管理費											
	会計課				4,349	4,196	4,451	7,421	7,255			
5	02	02	01	02	34,080	25,769	29,015	33,619	34,598	-	-	-
	税務事務費											
	税務課				34,080	25,769	29,015	33,619	34,598			
6	02	02	02	01	77,344	60,323	80,182	89,971	54,405	-	-	-
	賦課事務費											
	税務課				74,423	57,324	76,854	87,159	51,362			
7	02	02	02	02	12,689	13,934	22,651	21,419	22,158	→	→	94
	徴収事務費											
	収納課				4,627	6,545	14,037	14,657	14,738			
8	02	02	03	01	37,443	31,160	32,491	40,145	48,442	→	→	91
	地籍調査事業											
	財産経営課				14,869	13,792	14,988	19,638	22,535			
9	12	01	01	01	6,067,893	6,324,155	6,497,078	6,791,161	6,791,161	-	-	-
	公債償還元金											
	財政課				5,934,857	6,154,987	6,239,202	6,637,459	6,698,467			
10	12	01	02	01	309,797	256,528	218,920	215,154	215,154	-	-	-
	公債償還利子											
	財政課				309,797	256,528	218,920	215,154	215,154			
11	12	01	02	02	8	1	0	1,000	1,000	-	-	-
	一時借入金利子											
	会計課				8	1	0	1,000	1,000			
12	12	01	03	01	0	11	0	1	1	-	-	-
	公債諸費											
	財政課				0	11	0	1	1			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
13	13	01	01	01	980,202	1,142,336	1,218,050	3,045	1,727	-	-	-					
	財政調整基金積立金																
	財政課				980,010	1,141,670	1,215,320	0	0								
14	13	01	02	01	143	241	840	1,143	1,203	-	-	-					
	減債基金積立金																
	財政課				0	0	0	0	0								
15	13	01	03	01	2	1	1	14	14	-	-	-					
	ふるさと水と土保全基金積立金																
	財政課				0	0	0	0	0								
16	13	01	03	02	0	0	0	1	1	-	-	-					
	子牛導入貸付事業基金積立金																
	農業振興課				0	0	0	0	0								
17	13	01	03	03	3	2	2	21	21	-	-	-					
	ふるさと振興基金積立金																
	財政課				0	0	0	0	0								
18	13	01	03	04	424	167	643	621	701	-	-	-					
	振興基金積立金																
	財政課				0	0	0	0	0								
19	13	01	03	05	223,870	197,079	222,489	242,608	238,143	-	-	-					
	ふるさと応援基金積立金																
	財政課				223,841	197,070	222,481	242,510	238,046								
20	13	01	03	06	1	0	0	1	0	-	-	-					
	農業災害復旧事業基金積立金																
	農業振興課				0	0	0	0	0								
21	14	01	01	01	0	0	0	55,774	50,000	-	-	-					
	予備費																
	財政課				0	0	0	55,774	50,000								
22	02	01	06	17	436,105	444,437	394,955	727,877	298,456	↑	↑	84					
	財産経営推進計画実施事業																
	財産経営課				42,805	227,037	118,855	335,777	135,256								
23	02	01	06	18	4,996	4,697	4,241	4,100	4,400	→	→	83					
	公共施設トイレ洋式化事業																
	財産経営課				4,996	4,697	4,241	4,100	4,400								
24	13	01	03	07	256,562	265,273	254,536	395	384	-	-	-					
	公共施設等総合管理推進基金積立金																
	財政課				196,010	228,334	249,896	0	0								

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
25	02	01	07	15	0	42,959	187,480	3,084,755	5,361,690	↑	↑	90					
	大型公共施設整備事業																
	大型公共施設整備室				0	42,959	102,580	116,755	155,190								
26	13	01	03	09	383,000	8	7	10	10	-	-	-					
	中小企業経営安定基金積立金																
	商工労働課				30,000	0	0	0	0								
27	xx	xx	xx	98	0	0	0	0	0	-	-	-					
	横手駅東口新公益施設整備事業																
	教育総務課				0	0	0	0	0								

令和 5 年度 施策評価シート

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 5年8月作成 (評価対象: 令和 4年度)

施策名	0703	戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実
------------	------	----------------------

施策担当課	総務企画部・人事課	
担当部長職・氏名	総務企画部長 小玉幸平	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて
	②基本目標	-	計画実現のために
基本計画	③政策	07	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0703	戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実
	⑤目指す将来の姿	-	職員一人ひとりが、市民（お客様）の立場で考え、柔軟な発想や創意工夫、実践力向上を図り、市民ニーズに対応しています。

2. 取り組み方針

地方公務員制度については、令和5年度からいわゆる定年延長制度が開始され、令和6年度には現行の一般常勤職員、再任用職員、会計年度任用職員のほか、60歳を超える常勤職員（役職定年制）や定年前再任用短時間勤務職員が新たに誕生し、市職員においても、その働き方が大きく多様化いたします。

人口減少や少子化に関する諸課題が山積する中で、様々な立場の職員がそれぞれの能力を十分に発揮できるようことが期待されており、市民起点の目線を常に意識し、柔軟な発想や新たな課題に果敢に挑戦する職員の育成に取り組みます。

3. 主要事業の取り組み内容

①職員研修の充実➤研修内容を吟味しつつ、多様な研修を積極的かつ効果的に実施し、職員の能力向上を図ります。

②職員の意識改革➤人事評価や昇任昇格試験を通じた人材育成を行います。

③新たな働き方への対応➤定年延長制度を円滑に実施するとともに、テレワーク等を推進します。

④職員の健康管理等➤レジリエンス向上やメンタルヘルス対策など職員の健康管理にきめ細かに対応します。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	「市職員の資質向上に関する取り組み」に対する市民満足度	成果	点	目標値	増加	65.1	65.1	65.1	65.1
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）後期計画変更			実績値	60	59	57.1		
2	職員研修実施のための内部講師数	成果	人	目標値	21	50	52	54	56
	※業務取得（東北自治研 研修講師養成）			実績値	47	50	52		
3	女性の管理職級昇任昇格試験の受験率	成果	%	目標値	40	40	40	40	37
	※業務取得（対象者に占める受験者の割合）			実績値	47.1	29.4	33.3		
4	年次休暇の平均取得日数の増加	成果	日	目標値	-	12	12.5	13	13.5
	※職員の年次休暇平均取得日数			実績値	11.5	12.7	12.1		
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(計画)	令和 6年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	402,310	299,965	176,870	13,700	16,601
	(b) 県支出金	178,161	175,663	173,774	139,114	143,576
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	16,572	2,000	143	1,628	262
	(e) その他特定財源	97,236	100,468	84,079	25,932	16,482
	(f) 一般財源	7,103,775	7,019,722	7,011,943	7,534,391	7,456,820
事業費の小計		7,798,054	7,597,818	7,446,809	7,714,765	7,633,741

6. 施策の達成状況

①成果の分析	「職員の資質向上に関する取組」に対する市民満足度は毎年度低い傾向にあるため、一義的にはその向上を図る必要性はあるが、本質的には本施策の成果にゴールはなく、時宜に即した効果的な職員研修を展開しながら職員一人ひとりの資質向上を通じた政策・政策の実現組織の構築を目指し続ける必要がある。
②施策の有効性	人口減少を始めとした山積する行政課題を解決し、時代に即した行政サービスを提供し続けるための要の一つである人材という経営資源を育成する施策であり、市民満足度の向上を図り続けるためにも長期的に取り組むべき施策である。
③施策内事業の妥当性	職員研修については不断の見直しをしながら継続し、内容を充実させていく必要がある。また女性職員の管理職登用などの女性活躍や職員の心身の健康管理にも重点的に取り組む必要がある。
④実施可能な改善内容	研修キャリアパス制度の導入や女性職員の管理職試験チャレンジ促進策などを検討する必要がある。

7. 令和 6年度に向けた施策の方向性

成果向上			
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	限られた経営資源のなか、より効率的・効果的な行政運営を進めていくためには、職員一人ひとりが心身ともに健康で、かつ、その資質向上を通じた組織能力の向上が必須である。 人材育成に関するコストは一定程度維持しながら、成果向上を追い求め続ける必要がある。
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

※表中「予算科目・大事業コード」は令和5年度予算におけるものであり、決算年度の科目と異なる場合があります

No	予算科目・大事業コード				令和2年度 (決算額)	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (計画額)	令和6年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	01	01	01	02	7,715,075	7,515,159	7,361,122	7,622,901	7,548,347	-	-	-
	人件費											
	人事課				7,020,796	6,937,063	6,930,632	7,442,751	7,371,632			
2	02	01	01	01	48,241	47,971	48,156	48,167	47,983	-	-	-
	特別職人件費(三役等)											
	人事課				48,241	47,971	48,156	48,167	47,983			
3	02	01	01	07	22,157	22,155	20,628	30,538	24,685	→	→	80
	職員研修及び厚生費											
	人事課				22,157	22,155	20,628	30,314	24,479			
4	02	01	12	02	60	89	29	536	535	-	-	-
	公平委員会総務費											
	監査委員事務局				60	89	29	536	535			
5	02	01	12	01	230	230	230	230	230	-	-	-
	非常勤特別職報酬(公平委員)											
	監査委員事務局				230	230	230	230	230			
6	10	01	02	01	12,291	12,214	12,268	12,393	11,961	-	-	-
	特別職人件費(教育長)											
	人事課				12,291	12,214	12,268	12,393	11,961			
7	02	01	07	98	0	0	4,376	0	0	×	→	80
	地方創生臨時交付金事業											
	人事課				0	0	0	0	0			